

315  
81

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

始



31  
8

T. MAKINO.  
LECTURES ON BOTANY.  
II. PLANT RECORD. 2.

師講學大科理學大國帝京東

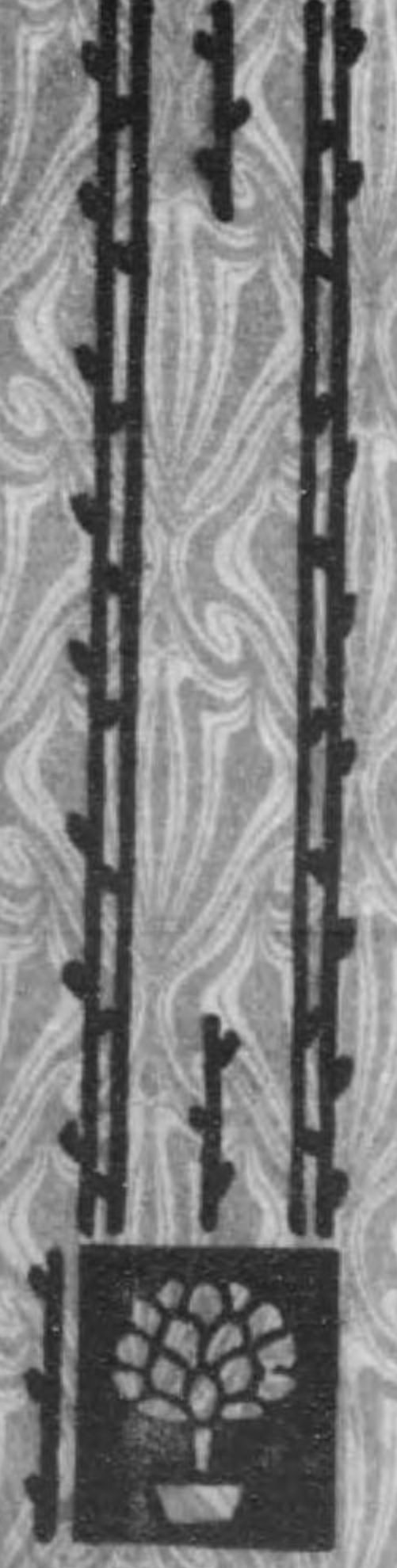
著 郎 太 富 野 牧

# 義 講 學 物 植

卷 二 第 二

學 載 記 物 植

篇 後



行發館興中京東

315-81

T. MAKINO.  
LECTURES ON BOTANY.  
II. PLANT RECORD. 2.

師講學大科理學大國帝京東

# 義講學物植

著郎太富野牧

卷二第

## 學載記物植

篇後

1913

京東

會學物博本日大

版藏

大正  
2. 7. 3  
丙交

# 植物記載學後篇

## 目次

第一章 植物體檢查法	一
第一節 記載學的觀察	一
實利主義者ノ植物ニ對スル誤解	一
觀察者ノ度量	一
化石植物ト現生植物	一
植物體ノ生活上ニ於ケル諸現象	一
植物體ヲ記相スベキ態度	一
生態上及ビ習性ノ觀察	一
觀察ノ大要領	一
形態ノ標準	一
記相上ノ觀察ト植物學研究法	一
觀察法ノ實例	一
はこべノ記相	一
觀察法ノ二種	一
記載上ノ要品	一
顯微鏡的觀察上ノ要品	一
第二節 生鮮植物體處理法	三
室内觀察	三
萎凋シタル植物ノ復活法	三
活カシ箱ノ必要	三
わいど氏箱	三
第三節 貯藏植物體處理法	六
貯藏シタル植物體ヲ檢査スル得點	六
貯藏植物體	六
記載的觀察ニ於ケル貯藏植物體ノ價值	六
植物乾腊品ノ研究上ニ於ケル價值	六
記載的觀察ニ於ケル乾腊品ノ處理法	六
乾腊處理上ノ要具	六
解剖的觀察上ノ注意	六
觀察結果ノ最大價值	六

自一  
至三

第二章 植物體記相法

〔自三四至一三〕

第一節 記載ニ關スル一般準備

三四

觀察ト記録……記載ノ方法……記載上ニ於ケル植物ノ種ト個體……文字ニテノ記載ト  
繪畫ニテノ記載……記載上ノ要訣

第二節 記載ニ於ケル寫生畫

三六

科學上ノ説明畫ト藝術上ノ繪畫……記載上ノ寫生法……寫生畫ノ實例

第三節 記載文

四〇

文字ニテノ記載練習……記載用紙ノ記入ト記載文……植物體記載用紙……きく科植物  
記載用紙……禾本科植物記載用紙……かやつりぐさ科植物記載用紙……しだ類植物記  
載用紙……植物體ノ記載練習ト植物學ノ學修……記載文

第四節 植物記載式

四三

本邦ニ出版セラレタル記載用紙……記載用紙ノ使用方法……脛球ノ誤用……尺度ハめし  
とる式宜シ……我が邦ニ出デタル完全ナル記載用紙

第一項 記載ノ順序及ビ其ノ用語

四七

常用ノモノ……きく科用ノモノ……かやつりぐさ科用ノモノ……禾本科用ノモノ

植物記載ト植物確認……植物記載ト術語ノ要素……植物記載ハ術語ヲ知ル捷徑……初  
學者ノ記載……専門學者ノ記載……記載ハ精ヲ要シ粗ヲ斥ク……植物體表示ノ無視  
……完全ナル記載方式……記載省略ノ許容

第二項 植物記載用紙

七三

普通用植物記載用紙……常用……きく科用……かやつりぐさ科用……禾本科用……普通用全備式植  
物記載用紙……常用……詳記用植物記載用紙……きく科用……かやつりぐさ科用……禾本科用

第三章 植物記載學用語ノ一斑

〔自一三四至一五〇〕

第一節 植物記載學術語彙

一三四

第二節 普通術語略解

一二五

植物記載學 後篇目次終

# 植物記載學 後篇

牧野 富太郎 著

## 第一章 植物體檢查法

### 第一節 記載學的觀察

實利主義者  
ノ植物ニ對  
スル誤解

固陋ナル實利主義者ハ、往々ニシテ植物體ハ造物主ガ、吾人人類ノ爲メニ特ニ創造シ給ヒシモノデアルトイフ様ナ考ヲ有シテ居ルガ、是ハ大ナル誤リデアアル。人ハ確カニ植物體ヲ自由ニ利用スル事ガ出來ル。併シ植物體ハ人ニ利用サルル爲メニ存在スルモノデハナイ。

或ル實利主義者ハ、植物體ノ生産物ニノミ重キヲ置イテ、自己ニ利得ヲ齎スモノヲ好ミ、直接自己ニ關係ナキ植物體ヲ疎ンジテ居ル。故ニ是等ノ人々ハ植物體ニ對スル注意ニ厚薄ガアリ、其ノ觀察眼ハ褊狹ノモノデアアル。

觀察者ノ度

總ベテ事物ノ真相ヲ會得シ、正確ナル知識ヲ獲得スルニハ、少クトモ注意ニ厚薄ガアツタリ、觀察ガ褊狹デアツタリシテハ不可能デアアル。寛大宏量ナル思慮ト、精覈細緻ナル觀察トハ、熟練巧妙ナル實驗ト共ニ、最モ必要ナルモノデアツテ、吾人ガ植物體ヲ觀察スルニモ、急流ニ注ガレタル油ガ、水面ニ文ナセルヲ瞥見スル如キ事ハ、斷ジテ之ヲ爲スベカラズシテ、廣ク多方面ヨリ深ク細カク之ヲ究メネバナラス。

輒近ノ植物學ガ種々ナル分科ヨリ成立シテ居ルコトモ、植物體ヲ多方面ヨリ觀察考慮シタ結果デアツテ、各分科夫レ自身ガ、一ノ植物學ヲ成シテ居ルノデハナク、一般植物學ヲ基礎トナシ、特殊ノ方面ニ異狀ノ發達ヲシタモノデアアル。即チ分科トハ、一般植物學ノ一部分ヲ占メタルモノニ過ギナイノデアアル。夫故ニ一ノ植物學分科ヲ修メヤウトスル者ハ、是非植物學全般ヲ會得シタル後其ノ特殊ナル方面ノ攻究ニ進ムベキデアアル。

植物記載學ノ最モ狹義ナルモノハ、實ニ植物體ノ記相デアアル事ハ、既ニ前篇ニ述ベテ置イタガ、著者ハ本書ニ於テハ、主トシテ植物體ノ記相ニ關シテ說述スル。夫ニ就イテ植物體ヲ如何ニ觀察スベキカトイフ事ガ、最初ノ問題トナルノデア

化石植物ト  
現生植物ト

ルガ、序ヲ追フテ其ノ概要ヲ述ベテ見ル。

現ニ化石植物トナツテ、僅カニ殘存スル、所謂古生植物體ニ關シテハ、其ノ性質上生活力ヲ有シテ居ル現生植物體ト、其ノ處理法ガ異ナラネバナラス道理デアツテ、著者ガ茲ニ植物體ト單ニ稱セルハ、所謂現生植物體ノ事デアアルコトヲ明カニシテ置ク。即チ古生植物體ノ研究觀察ハ、本書ニ於テハ關與セス事トスル。

サテ現生植物體ニ就イテハ、生活上ヨリ惹起サル、諸現象例へバ成長發育營養呼吸刺戟感應生殖繁孳及ビ種屬ノ變化等ニ相當ノ注意ヲ拂ハネバナラナイ。是等ノ諸現象ヲ正確ニ理解シテ居ツテコソ、初メテ植物體ノ記相ニ必要ナル觀察モ誤少ナク成シ遂ゲラルベキモノデアアル。

植物體ヲ記相スルニハ、他人ノ花ヲ拱手シテ眺メ、唯眼ニ映リタルマ、ヲ記ストイフ如キデハ、全然失敗スル外ハナイ。理ニ適ヒタル考察ト、事實ヲ闡明スルニ足ルベキ實驗トヲ基礎トシテ、植物體ノ全般ニ互リタル觀察ヲ行ヒ、是ヲ記載スル必要ガアル。斯クシテ植物體ノ形狀性質ノ特徵ヲ明カニシ、種ニ關スル知識ト、植物界ニ於ケル自然系統ニ關スル考察ノ暗示トヲ得ル事ガ出來ル。併シ植物ノ記相ニハ、十ガ十マデ完全ナル準備ガ出來ルモノデハナイ。其ノ

植物體ノ生  
活上ニ於ケ  
ル諸現象

植物體ヲ記  
相スベキ態  
度

生態上及び  
習性ノ觀察

觀察ノ大要  
領

最モ簡單ナル記相ニハ、植物體ノ外形ダケヲ確カムル場合モアル。尙ホ一步進  
ンデハ植物體ノ生活スル状態ヤ、生存ノ期間ヤ、其ノ他習性上ノ事ナドヲモ確カ  
メテ記載スルノデアル。即チ著者ハ是等初步ノ記載ヨリ講話ヲ進メタイ。

記載ニ際シテ、植物體ヲ觀察スルニハ、出來得ルダケ自然状態ニ生活スル植物  
體ニ接シテ、如何ナル境遇ニアルカヲ知り、植物體ノ形狀以外ニ其ノ周圍ノ狀況、  
例ヘバ湿度ノ有様、地勢ノ状態、日射ノ如何、所産地ノ土性、若シクハ水質其ノ他苟  
モ植物體ノ生活ニ直接關係アル事項ニ關シテハ、細大トナク觀察スルノデアル。

而シテ植物體ニ於テハ短期生ノモノカ、一年生乃至多年生ノモノナルカヲ最  
初ニ判斷シ、孤生スルカ簇生スルカ、或ハ各個體ガ單生スルカ叢生スルカ、其ノ成  
熟シタル植物體ノ大サハ如何、生活法、生活史、器官ノ分化等ハ如何、マタ器官ノ發  
達状態及ビ各器官ノ形式ハ如何等ヲ審カニスルノデアル。

植物體ノ各器官ノ形狀ノミヲ看テ、直チニ是ヲ記スハ蓋シ末ノ事デ、其ノ記相  
ニ誤アルカ否カハ唯夫ダケノ事ニテハ明カニサレ難イ。從ツテ其ノ記相ノ價  
値モ少ナイ道理トナルノデアル。

羊齒植物群及ビ種子植物群ノ形態ニ關シテハ、別ニ述ベテ置イタカラ、讀者ハ

形態ノ標準

記相上ノ觀  
察ト植物學  
研究法

夫等ニ就イテ知悉スルコト、ナルデアラウ。記相ニ於テハ形態學上ノ事實ヲ  
適用シ、主トシテ種屬の特徴ニ重キヲ置キ、形態ノ標準ヲ定メテ個體的ノ變化ヲ  
明白ニ知ル様ニスルノデアル。

植物體ノ形狀ヲ記載スルニ形態ノ標準ヲ定メテ置カスナラバ、徒ラニ區々々  
ル混雜ヲ來タス事トナリ、其ノ結果、統一ヲ缺ク事トナル。而シテマタ個體上ノ  
形狀ノミヲ認メテ記相ヲスレバ、觀察ノ焦點、即チ注意スベキ中心個所ヲ失スル  
憂ガ起リ易イ。

植物體ノ生活状態及ビ形狀等ヲ觀察スル時ニハ、材料ヲ出來ルダケ多ク求メ、  
比較法ニヨリテ其ノ最優性、即チ最大公約數的ノ特徴ヲ發見スル様ニ努メ、所謂  
通有性ヲ標準トスルヤウニ、爲サネバナラス。

記相上ニ於ケル總ベテノ判定ハ、最モ進歩シタル植物學ノ研究法ニ依ルヨ最  
モ穩當トスル。自我流ニ所謂獨斷ニノミ賴レル判定ハ、形態トイハズ、生態トイ  
ハズ、必ズ勞多キ割合ニハ收ムル功少ナキノミナラズ、往々大ナル誤謬ニ陥ル事  
ナキヲ保シ難イ。即チ植物體ノ記相ニハ、一般植物學ノ研究法ヲ補佐トシテ、總  
ベテノ現象及ビ形狀ノ觀察ニ於テ正鵠ヲ失セヌヤウニスルノガ何ヨリ肝要ノ



コトデアル。  
 話ガ少シク理窟ニ流レテ理解シ難イカモ知レヌガ、世ノ事物ハ萬事考ヘヤウ  
 ニヨツテ如何様ニモ取計ヒ得ルモノデ、其ノ根本トナル觀念ヲ確實ニスルコト  
 ハ、千ノ方法萬ノ實例ヲ舉グルヨリモ却ツテ效果アル場合ガアル。即チ抽象的  
 ナル理論ヨリモ、具體的ナル實例ノ方ガ實際上ニハ手引キトナルモノデア  
 就テ次ニ一二ノ實例ニ就キ、植物體ノ記相上如何ナル觀察法ガ、有效デア  
 述ベル。

觀察法ノ實例

ハコベトイフ草ハ、隨分到ル處ニアツテ、我國デハ古クカラ此ノ草ヲ種々ノ用  
 途ニ充テタカラ、比較的廣ク知ラレテ居ル。即チ春ノ七種<sup>ク</sup>ノ一トシテ、此ノハ  
 べ(ハコベ)トモイフ)ガ數ヘラレ、雖ニ喰ベサスル青草トシテ、マタ小禽ヲ飼フ餌  
 ニモ混ゼテ用ウル故、其ノ方面ノ人々モ亦能ク知ルトコロデア  
 トシテ、熱取リトシテ、漢法醫ニ使用サレテ居タカラ、今日ニテモ此ノハコベヲ揉  
 ミ、痛ム處ニ塗リ付ケル者ガ往々アル。山家ヤ田舎ニテハ、ハコベヲ燥<sup>ホ</sup>テ食スル  
 事モアル程ナレバ、老幼男女ノ別ナク、一般ニハコベヲ知ツテ居ル。今此ノハコ  
 ベヲ記相スルニ就イテ觀察ヲ試ミヤウトスルノデア  
 ルガ、如何ナル點ニ注意セ

ハコベノ記相

ハコベノハコベタル特徴ヲ捕ヘル事ガ出來ルデア  
 是ハコベハ上述ノ如ク一般ニ熟知サレタル草デア  
 ハ極メテ容易デア  
 シテ、墓地ヤ空地ナドニハ、殆ド一年中生ジテ居  
 ニ所謂雜草トシテ茂リ、農夫ニ嫌ハレテ居  
 態ヲ觀ルニ、僅カ一二株點々ト生ジテ居  
 ツテ居ルノヲ知ル事ガ出來ル。片日蔭ノ處  
 處ニモ生ジテ居ル。而シテ又比較的濕氣ヲ帶  
 ル事實ヲ確カムル事モ出來ル。  
 ハコベノ莖ハ、ト見レバ、綠色ノ圓柱形ニシテ柔  
 ノ方ガ頭ヲ扛ゲテ居ル。而シテ節ノ處ニ葉ガ二  
 方ノモノハ柄ガアルガ、花ガ着イテ居ル上ノ方  
 一條ノ細イ柔カイ、ソシテ短クテ白色ヲ呈スル  
 是ハ節毎ニ位置ガ異ナツテ居ル。草ノ高サハ種  
 モノモアレバ、一二尺ノ長サニ達シテ花ヲ着ケ  
 居ルモノモアル。而モ冬ノ嚴

寒中デモ雪ノ下ニ埋レナガラ青々ト生キテ居ル。莖ヲ切レバ中空デ圓筒狀ヲナシテ居ル。莖ヲ引キ切レバ、濕リタル細キ中軸狀ノ絲ガ、切口ニ連ナルガ、是レハ維管束ヲ伴フタ莖ノ内壁ノ離レタモノデ、筒ヲナシテ居ル。

枝ハ葉ノ腋カラ分レテ出テ居ルガ、普通一節カラ一枝ダケ生ジテ、成長シテ居ル。一節ニ葉腋ハ二ツアルノデアアルガ、其ノ一葉腋カラ枝ヲ出シ、他ノ葉腋カラハ何モ生ジテ居ナイ。ソシテ各節ガ其ノ様ニナリ居ルノデ、枝ノ生ズル葉腋ハ各方面ニ向ツテ、相互ニ異ツテ居ル。多數ノ莖ヲ比較シテ觀レバ、或ル程度ノ處ニ於テハ、節毎ニ一枝宛生ジテ居ルモノト、枝ヲ生ジテ居ル節ト、生ジテ居ナイ節ト、ガアルモノト、或ル場合ニハ一節カラ二枝ヲ生ジテ居ルモノ等ガアツテ、分枝法ハ一定シテ居ルモノデナイコトガ知レル。併シ最多數者カラ觀レバ、分枝ハ一節二枝ニシテ、殆ド毎節カラ芽ガ生ジ得ルモノ、様ニ認メラル、ノデアアル。

サテ、はこベノ壽命ハ、ドノ位ノモノカト、莖ト根トニ就テ検査スルニ、長イモノデ半歲位デアアル。十分發育シテ花咲キ實ヲ結ビ、植物體ノ能事終レリトイフ時ガ來レバ、徐々ト枯死スルノデアアル。根ハ柔クシテ細キ絲狀ヲナシ、叢生シテ居ル。假臥シタル莖ガ地ニ付イテ居ル場合ニ、基部ノ節カラ往々根ヲ生ジテ居ル

事ガアル。併シ匍匐シテ各節カラ不定根ヲ生ジ營養繁殖ヲナスノデナイ事ハ、右ノ如ク節カラ生ゼル根ノ弱イ事ト、無クテモヨイ様ナ状態トニヨツテ知ル事ガ出來ル。ソシテ根ハ全體ニ軟弱デ、衰ヘ易イノハ一見シテ此ノ草ガ多年生ノモノデナイ事ヲ明カニ表ハシテ居ルモノト云フ事ガ出來ル。越年スル事ハ、確カナル事實デアアルガ、又一年生草本トシテ、生活ヲ全ウスル事モ爭ハレナイ事實デアアル。一般カラはこベノ生存期間ヲ云ハウナラバ、『多年生デナイ草本』ト稱スルコトガ、或ハ正直ナノカモ知レス。何シテモ注意シテ觀察スレバ、越年スルモノト、一年內ニ生活ヲ完全ニ終ルモノトガアルコトガ分ル。是ハ著者ガ特ニ觀察シタ極メテ狭キ實例デアアルガ、嘗テはこベノ繁茂シテ居タ畑地ノ一隅、約一坪バカリノ區域ニ於テ、此ノ草ノ習性、觀察ヲ試ミタ事ガアツタ。其ノ時ハ十月ノ初霜ヲ見テカラノ事デ、大形ノはこベハ大抵枯凋シテ、幼植物ガボツトト生ジテ居ルトコロデアツタ。是等ヲ自然ノ成リ行キニ任セテ、人力ヲ少シモ加ヘズ、其ノ儘ニシテ置イタノデアアル。日向ノ場所デアアルガ、結霜モ可ナリ酷シイノデ、即チ或ルモノノ根ナドハ、浮立ツテ居タノモ見エタ。斯クテモ能ク生活力ヲ保持シ、生長ハ微々トシテ居タガ、多少新葉、嫩莖モ生ジテ居タ。雪降ル頃ニ

ハ雪ニ埋モレ、雪解ケノ少シ暖イ日ニハ、生氣溢ル、バカリノ有様デ、春ヲ迎ヘ、二月末ニハ白色ノ小花ヲ着ケ初メタ。此ノ頃ハ特ニ花序ト認ムベキ排列ハナク、葉腋ヨリ花梗ヲ抽キ一花宛咲イテ居タ。夫レヨリ暖氣ガ加ハルニ從ツテ、植物體ノ生育ハ旺盛トナリ、葉モ莖モイヤガ上ニ生ヒ茂ツテ、枝梢莖端ニハ明カニ花序ヲ認メ得ル様ニナリ、花ノ咲ク事モ多ク、實ヲ結ブ事モ多ク、熟シタル果實ハ、順次ニ種子ヲ散布シテ居タ。五月ヨリ六月ニハ新シキ幼植物ノ萌發スルモノモ數多アツテ、老植物體ハ漸次枯レテ來タ。夫レカラハ種子ヨリ萌發スルモノ、老衰シテ枯死スルモノ、相踵イデ起リ、はこべノ園ニハ、枯葉ト新芽トガ絶エズ見エテ、花モ實モ必ズ多少ハ發見サレテ居タ。併シ四月カラ五月頃マデノ様ニハ盛ンデナク、九十月ノ頃ニハ、幼稚ノ勢力強キモノダケガ、將來ニ望ヲカケテ、老衰ノモノ、多クハ、既ニ枯凋シテ居タ。此ノ觀察ハ實驗的デナカツタカラ、先年ノ秋ニ萌發シタはこべガ、其ノ翌年ノ春ニ花咲キ實ヲ結ビ、其ノ種子ガ萌發シタモノニ、早イノト晚イノトアツタガ、夫等ノ實狀ハ遂ニ審ニスル事ヲナサズニ終ツタ。故ニ其ノ年ノ秋、花咲キ實ヲ着ケテ居タモノハ、其ノ直系ニ於テ前年ノ秋發生シタモノ、子ニ相當スルカ、或ハ孫曾孫ニ相當スルモノナルカ、又ハ兄弟ノ關係ニ

アル種子ガ萌發遅レテ、種子ノマ、越年シタモノナリシカ、或ハ又他ヨリ來リシ種子ノ萌發シタルモノナルカ等ハ、明カニ知ル能ハズシテ終ツタ。何シテモはこべノ花ハ、一時ニ總ベテ咲キ、果實ヲ同一季節ニ熟サシムル者デナク、ダラト花季ガ長ビキ、果實モ從ツテ早キモノヨリ順次ニ熟シテ、種子ヲ散ラスカラ、夏秋ノ交ニハ老植物體ノ最モ晚キ花ト、其ノ子ニ相當スル新生植物體ノ最モ早キモノ、花トガ、開花季ヲ同ジクスルトイフ場合モアツタ。而シテ第二年目ノ秋カラ第三年目ノ春ニ生育スルはこべハ、初年ノ秋ニ萌發シタモノヨリ見レバ、第一第二第三代目位ノモノガ混淆シテ居タ。サレバはこべノ個體ノ壽命ハ、一代限リノモノデ、一年生ト云ヘバ、難ノナキコト、思惟スルノデアアル。

はこべノ葉ヲ觀レバ、其ノ形ヤ大サガ總ベテ同ジデナイ事ガ、直チニ知レル。芽出シ當時ノモノハ極メテ小サク、生育最モ宜シキ頃ノモノハ、最モ大キイ様ニ見エル。即チ下生葉ト中生葉ト上生葉トハ、多少ヅツ相違シテ居ル。而シテ大體ニ於テハ、其ノ形狀ニ似寄ツタ處ガアツテ、はこべノ葉トイフ觀念ハ、一株ノ下生中生上生ノ葉ヲ通觀スレバ、明カニ得ル事ガ出來ルモノデアアル。夫レニ數多ノ株ニ就イテ、下生葉ダケヲ比較シ、マダ中生葉上生葉等ニ就イテモ、多數ノ材料

ニ於テ比較觀察ヲスレバ、夫々纏マツタ觀念ガ得ラル、ノデアアル。  
 下生葉ニ於テハ、葉片ノ發達ガ不完全ニシテ、往々葉柄ノ上端ガ少シク廣クナ  
 ツテ居ル位ノモノモアル。葉片ノ見ルベキモノハ、卵狀三角形ヲ呈シテ、長サ二  
 三分、幅一・二分位ノモノ、若クハ稍圓狀三角狀ヲナシテ、銳頭截底ヲ呈シ、其ノ基脚  
 ハ少シク流レテ居ル。而シテ葉柄ハ比較的長クシテ、葉片ト同長位ノモノモア  
 ル。那邊マデガ下生葉デ、那邊カラ中生葉トナルカハ、明確ナル區劃ガアルモノ  
 デナイ。唯下生ノモノハ、長サノ割合ニ幅ガ勝ツテ、稍圓狀ヲ呈シ、其ノ葉柄ガ比  
 較的長イ。併シ中生葉ト見ルベキモノハ、幅ヨリモ長サガ勝ツテ、卵形ヲ呈シ、マ  
 タ橢圓狀卵形ヲモ呈スルモノデ、長サ一寸七分、幅一寸位ノモノモアル。銳頭デ  
 底部ハ稍圓形ヲナセドモ、葉柄ニ添ヒテ翼狀ヲ呈シテ居ル。葉柄ニハ白色ノ柔  
 キ細絨毛ガ生ジ、葉縁ハ出入ナク全邊デアアル。葉片ノ下部ノ兩面并ニ時トシテ  
 ハ葉縁ニハ、微毛ヲ生ジテ居ル。葉片ノ表面ハ、鮮綠色デ葉脈ガ凹入シ、裏面ハ葉  
 脈隆起シ、淡綠色ヲ呈シテ居ル。中生葉ト上生葉トハ、マタ其ノ間ニ明白ナル區  
 別ガアルノデハナク、葉柄ガ全クナイモノヲ假ニ上生葉ト稱スルノデアアル。葉  
 片ノ形狀ノ大體并ニ色彩等ハ、中生葉ト上生葉ト異ナル處ナク、大サハ徐々ニ減

ジテ卵形系統ノ形ヲ表ハシテ居ル。

葉ニ於ケル絨毛ハ眞ニ微々タルモノデ、上下兩面トモ、タゞ下部ノ中脈上ニ疎  
 ニアルバカリデアアルガ、葉柄ニハ今少シ澤山ニ生ジテ居ル。葉デモ莖デモ一般  
 ニ幼稚ナル部分ニハ、細絨毛ガ比較的密デアアル。莖ニ於ケル一條ノ絨毛ハ宿存  
 スル毛ガ密ニ生ジテ居ル部分ナデアアル。サレバ莖ニハ、絨毛線ガアル部ト、無  
 毛裸出ノ部分トガアル。一般ニ言フ時ハ、はこべノ莖ノ部分、葉ノ部分、花梗及ビ  
 萼ニハ絨毛ヲ有スルヲ以テ普通トスルモノデアアル。莖ノ大ナルモノハ凡一分  
 二・三厘ノ直徑ガアル。

莖ヤ枝ノ節ノ上部、即チ節間ノ基部ハ、少シク膨大シ、白綠色ヲ帶ビ、多少莖ノ他  
 部ヨリハ軟カイ。

花ハ必ズ花梗ヲ有シテ居ル。花梗ノ長サハ一定シテハ居ラスガ、二分位ノモ  
 ノヲ以テ普通トスル。花梗ニハ短絨毛ガ一道ヲナシテ一側面ニ密生シ、一梗一  
 花ニ限ラレテ居ル。

萼ハ綠色ニテ宿存性、萼片ハ五枚デ長卵狀舟形ヲナシ、鈍頭デアアル。其ノ大サ  
 ハ花時長サ一分餘、幅六厘位デ、果實ノ時ハ之ヨリ少シク大トナルデ、外面ニハ白

色ノ線毛密生シ、内面ハ平滑無毛デアアル。

花冠ハ白色ニテ、萼ヨリ短イモノデアアル。マタ稍頭ニ在テ勢力ノ衰ヘタル或ル花ニ於テハ、花冠ノ發達甚ダ悪シク、或ル場合ニハ花冠ノ痕跡ヲ存スル位ニテ、白色ノ花瓣ヲ現ハサヌモノモアル。普通ニ發達シタ白色ノ花瓣ニ就イテ觀ル時ハ、一見十枚アルガ如クニ思ハレ、花ヨリ花瓣ヲ分離シテ檢スレバ、花瓣ハ五枚ニテ、而モ各瓣ハ殆ド二小片ニ分レル程深ク分裂シ、僅カニ基部ニ於テ合着シテ居ルノデ、裂片ノ形ハ鈍頭ノ披針形ヲナシ、長サハ一分位、幅二厘位ヲ有スル。而シテ此ノ二裂片ハ、翼狀ニ約四十度ノ角度ニ開イテ居ル。花瓣ハ凋ミテモ散落セズ、現位置ニ殘ツテ居ル。

雄藥ハ花瓣ノ二倍數ニテ、十個ヲ常數トスルノデアアルガ、花瓣ガ罕ニ四枚、若シクハ六枚ノ場合ニハ、少シク不規則トナリ、其ノ數ハ八・九・十一・十二等種々アル。併シ多數カライヘバ、十個ヲ以テ普通ノモノト見做サネバナラス。花絲ハヨク發達シ、葯(小芽胞囊)ハ兩頭狀ヲナシ、廓大鏡ヲ以テ是ヲ檢スレバ、二室ヨリ成リ、内方ニ向ヘル側面ニ於テ縱裂セル所ガアル、即チ内向葯デアアル。葯ハ始メ赤紫色

デアアルガ、開裂後ハ暗紫色トナル。花絲ハ鉞形デ葯ノ背ノ上部ノ方デ葯ト着生スル。葯胞ハ橢圓體ヲナシ、葯隔ニヨリテ二室ガ結合サレテ居ル。或ル花ニ於テハ花絲ノ發達惡シク、而モ雄藥ノ數モ甚ダ減少サレテ居ルモノガアル。其ノ最モ少數ナルモノハ三個ニシテ、次ニハ五個デアアル。此ノ場合ニハ花瓣ノ發達十分ナラザルガ普通デアアル。

雄藥ハ花床(花托)ニ直生シ、基部ハ相合シテ一ノ環體ト成リ、萼片ニ對スル花絲ノ基部ノ外側ニ密腺ガアツテ、密液ヲ分泌スル。

雄藥ノ内方ニハ雌藥ガアル。雌藥ハ所謂花ノ中心ヲ占メテ居ルモノデ、子房ガ最モ發達シ、一體ニシテ卵圓形ヲナシテ居ル。其ノ頂端ニハ三本ノ白色ノ花柱ガ着イテ居リ、柱頭ハ花柱ノ内側上端ニ位シテ粗糙ノ組織ヲナシ、淡黄色ノ花粉ヲ抑留シテ居ル。雌藥ハ雄藥ヨリ遅レテ成熟スル。花柱ノ數ハ一般ニ心皮ノ數ヲ表ハスモノデ、此ノ合成雌藥ハ三心皮ヨリ成ツテ居ル。

子房ハ一室ニテ、中央圓錐狀ノ直立體ガアツテ中軸ヲナシ、其ノ表面ニハ白色粒狀ノ卵子ガ粟生シテ居ル。卵子ノ數ハ一定シテ居ナイデ、一子房内ニ十乃至

十八個許ヲ算スル。卵子ニハ短キ柄ガアツテ、之ヲ以テ中央ノ柱狀體ニ着生シテ居ル。

果實ハ蒴デ宿存萼ヲ伴ヒ、頂端ヨリ六片ニ開裂シ、種子ヲ放散スル。開裂前ノ蒴ハ稍、卵狀紡錘形ヲナシ、微カニ稜ガアル。平滑綠色デ、長サ二分餘ノモノガ普通デアアル。

種子ハ褐色、寧ロ黃褐色ヲ呈シ、表面ニ小突起多ク、粗糙デアアル。形ハ稍、腎臟狀ヲナスカ、或ハ略ボ圓形デアアル。種子ヲ長軸ニ沿ヒテ中央ヲ截斷シ、内部ヲ檢スレバ、胚ハ彎曲シテ粉狀ノ胚乳ヲ周匝シ、胚軸ガ比較的ヨク發達シテ居ル。

花粉粒及ビ卵子ノ構造及ビ受胎作用ニ就イテハ、別ニ觀察考究ヲ要スルカラ茲ニハ述ベヌコト、スル。

尙ホ花序ニ就イテハ、別ニ觀察ヲ試ミルベキモノデアアル。ハコベガ最初花ヲ着クル時ニハ、一定ノ花序ヲ構成シナイ。一見スレバ、莖ノ葉腋ヨリ花梗ヲ抽出シテ、一花ヲ生ズルモノ、如ク思ハル。サレドモ、少シク精細ニ觀察スレバ、莖頭ガ花トナリ、花ハ腋生デナク頂生デアアルノガ、普通ナルヲ知ルベキデアアル。而シ

テ生育旺ンナル時ハ花梗ニ着ケル葉(或ル意味ニ於テハ、苞葉トモ認メラル)ノ腋上ヨリ枝ヲ分出シ、只一枝ナル場合ニハ、花ハ恰モ腋生ノ状態ヲナセドモ、二枝即チ各葉腋ヨリ一枝ヅツ生ジタル場合ニハ、頂生花梗ハ異狀ノ位置ヲ占ムル様ニ思ハル、ノデアアル。今實物ヲ手ニシテ檢スルニ、二枝ノ股ノ處ニアタリ、其ノ側面ヨリ花梗ガ出テ居ルノヲ直チニ知ルコトガ出來ルガ、更ニ幼稚ナル苗ニ就イテ、其ノ實狀ヲ觀レバ明カニ一花梗ハ莖頭ニ頂生シ、花梗ノ基部ヲ占ムル二葉腋ヨリ、苗ノ芽ガ各自生ジカ、ツテ居ルノヲ認メル事ガ出來ル。後ニ至リ、其ノ二枝ガ成長シ、花梗ハ成長ガ定限サレテ居ルカラ、枝ノ發育ニ壓セラレ、枝又ノ中央ヨリ外方ニ押シ出サル、ノデアアル。

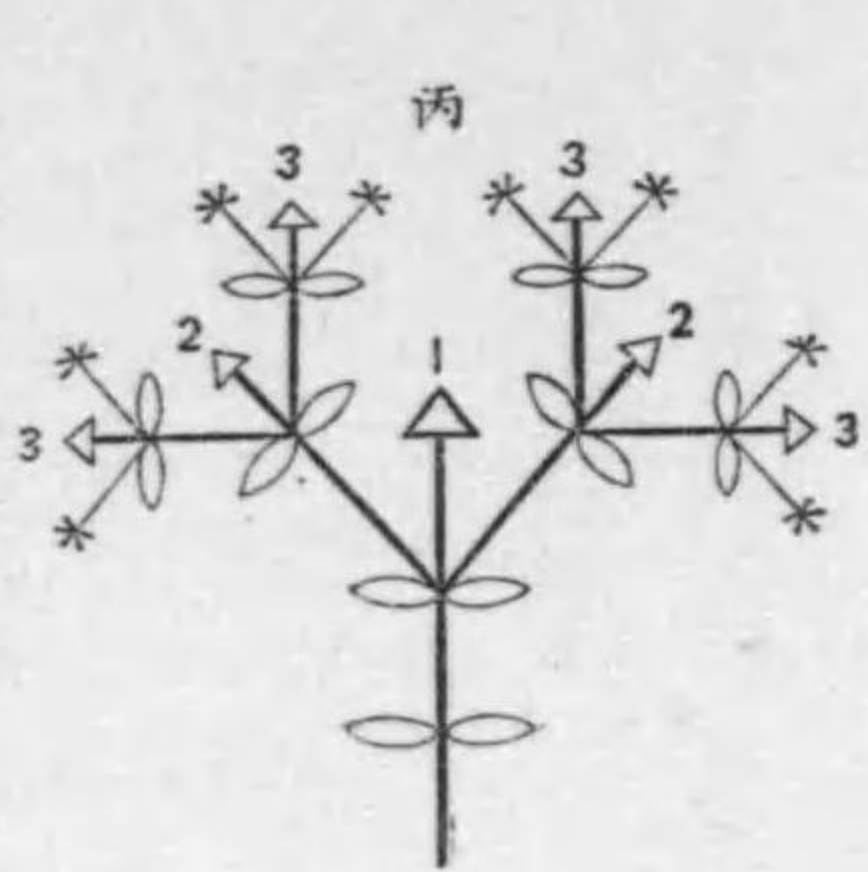
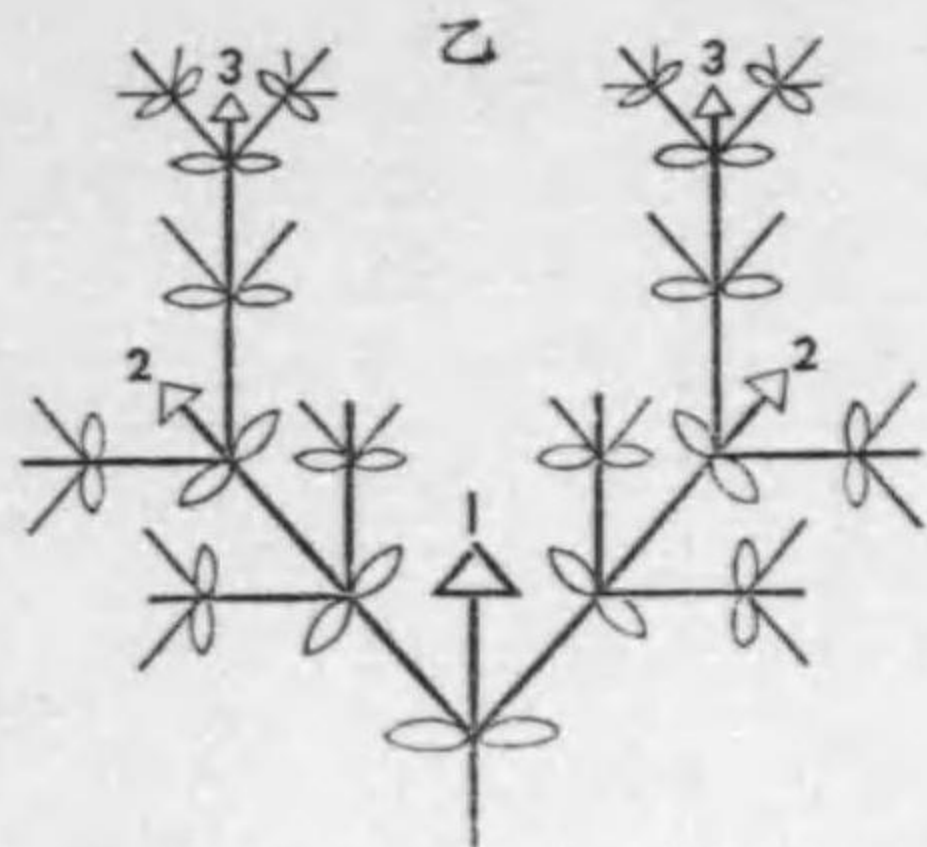
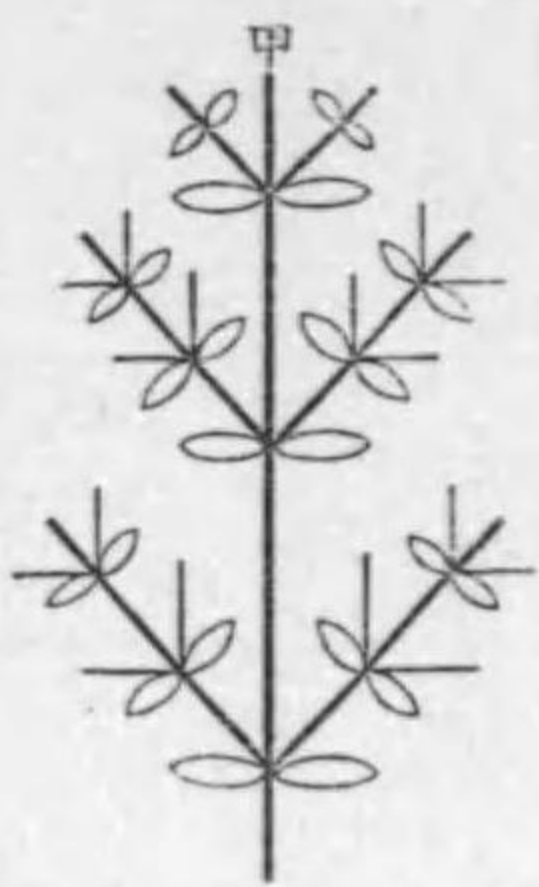
花梗ハ一般ニ受精作用ヲ終レバ、下方ニ向ヒテ屈垂スル。此ノ現象ハ一種ノ背日性ノ働クモノトモ見ル事ガ出來ル。果實ガ成熟開裂シテ、種子ヲ放散スル時ニハ、花梗ハ復タ直立シテ微風ニモヨク動搖シ得ル様ニナルコトハ、注意ノ價値アルコトデアアル。

花序ハ假軸ヲ以テ上進シ、三又狀ヲ繰リ返シテ居ル。而シテ中央ノモノハ最初ノ花トナリ、側生ノ二者ハ第二期ノ花トナリテ、無柄ノ綠葉ヲ着ケ、其ノ莖ガ發

育盛ナル時ハ、數對ノ所謂上生葉ヲ着ケテ居ルケレドモ、直チニ花トナル場合ニハ、只一對ノ葉ヲ着クルノミニテ、頂生花ヲ形成シ、其ノ葉腋カラハ各一個ノ芽ヲ生ジ、更ニ三又狀ヲ呈シテ、前狀ヲ繰リ返スノデアアル。其ノ狀ヲ模型的圖式ニテ示ス時ハ、大要左圖ノ如クデアアル。即チ甲ハ莖枝ノ營養作用ノ盛ナルモノデ、乙ハ花ヲ着ケ初メタル莖枝ノ狀、丙ハ顯著ナル花序ヲ構成シタモノデアアル。

是等ヲ比較シテ看ルニ、はこべノ花序ハ、分枝法其ノ儘ヲ襲イデ居ルモノデアアル。主軸ノ頂端ガ花トナツテ、其ノ成長ガ止マレバ、側生ノ腋芽ガ更ニ成長シ、ソレモ亦花トナレバ、其ノ側生腋芽ガ成長シテ遂ニ聚繖狀ヲ呈スルニ至ル。斯クノ如ク分岐ニ分岐ヲ重ネテ聚繖狀ヲナスモノヲ岐繖花序ト云フ。殊ニはこべノ如ク二分岐ヲ重ヌルモノハ、二出岐繖花序ノ名稱ガ與ヘラレテ居ル。

はこべヲ集メテ通覽スルニ、葉トイハズ莖トイハズ花トイハズ、植物體ノ形狀ニ差異ガ多イノヲ知ル事ガラレテ居ル。



(123ノ數字ハ開花ノ順序ヲ示ス)

出來ル。夫等ノ通有的ノモノヲ認定スルニハ、是非トモ植物學上ノ知識ニ負ハネバナラス。即チ類似品ノ識別ニ就イテモ、相當ノ知識ノ必要ヲ感ジル。

尙ホ検査ノ實例ヲ示セバヨイガ、はこべニ就イテ意外ノ長談議ヲシタカラ、他ノ實例ハ省ク事ニスル。

植物體ノ検査ニハ、唯肉眼ト素手トニヨルバカリデハ、所詮完全ナル事ハ出來ヌ。少シク精細ナ觀察ヲスルニハ、然ルベキ要具ヲ備ヘナケレバナラス。是等ノ點ニ於テ植物體觀察ヲ別チテ、肉眼的觀察ト器械的觀察トノ二種トスル。觀察ニハ經驗ト熟練トヲ必要トシ、考察上ニ誤謬ナキ様努ムベキハ、言フマデモナキ事デアアル。

植物體ヲ検査シ、且ツ其ノ結果ヲ記載スルニ必要ナル器具、及ビ備品ハ左ノ如クデアアル。

るうべ (廓大鏡、三枚れんずノモノガ、最モ便利デアアル)。  
びんせつと (尖頭ノモノ、大小二個以上)。

觀察法ノ二種

記載上ノ要品

解剖刀 (小形ニシテ、尖頭ノモノ、二個以上)。

柄付針 (數本。柄付針ハ自家ニテ造ル事ガ出來ル)。

尺 度 (卷尺ナラバ二めえとる、六尺位ノモノ、平尺<sup>ヒラジヤク</sup>ナラバ三でしめえとる、若クハ一尺位ノモノ、其ノ何レニテモみりめえとる、若クハ厘位マデノ目盛アルモノ)。

時計皿 (埋化學ノ實驗ニ使用スルモノ、數枚)。

蒸發皿 (直徑凡ソ三寸ノ淺キスワリノヨキ皿、舶來品宜シ。數枚)。

試験管 (太キモノ宜シ。數個)。

廣口瓶 (其口即チ硝子栓ノアルモノヲ宜シトス。數個)。

剃刀<sup>カミ</sup> (銳利ナル西洋剃刀ヲ便利トス。革砥ヲモ具フベシ)。

寫生用紙 (けん<sup>カミ</sup>と紙最モ可。觀察シタル事ヲ書キ留メ、マタ寫生畫ヲモ試ムルニ適シタルモノナレバ、何種ノ紙ニテモ宜シ。數ニ限りナシ)。

鉛筆 (寫生スルニ必要ナル鉛筆ニシテ、細部ヲ畫クニハ良質ノ硬キモノヲ選ブベク、ふあ<sup>カミ</sup>べる氏製ノH、B號、マタB號、并ニH號等宜シ)。

蒔繪筆 (寫生畫ニハ細畫ヲヨシトスル故、特ニ蒔繪筆ヲ以テ墨汁ニテ仕上ゲ

スル、ペン畫、水彩畫等モ或ル場合ニハ試ミラレルケレドモ、植物體ノ記相上觀察シタ事ハ、細カク而モ明瞭ニ畫クヲ宜シトスルカラ、何レニシテモ、其ノ心ヲ失ハヌ様ニナサネバナラス。繪具筆洗、繪具皿等ノ準備ヲ要スル)。

墨及硯 (墨ハヨク枯レテ良質ナルモノ、硯ハ堅クシテ滑カナモノ。墨汁ガ沈渣ヲ生ゼス様注意ヲ要スル。墨モ硯モ小形ノモノガ便利デアアル。或ハ上等ノ黑色製圖いんき<sup>カミ</sup>ヲ用ウルモ宜シ)。

ナイフ (中形ノモノ、鉛筆ヲ削リ紙ヲ切り、種々ノ雜用ニ使フノデアアルカラ、銳利ニシテ、堅牢ナルヲ選ブベキデアアル)。

字消ゴム (鉛筆ニテ下書キシタルモノヲ綺麗ニ消シ去ルニ用ウルモノデアアル。硬イノヨリハ軟カイモノ、方ガヨイ)。

此ノ他尙ホ畫ク事ト、筆記スル事トノ爲メニ、要スル文房具ヤ用紙ヤハ機ニ應ジテ備ヘル要ガアル。

而シテ、野外觀察ト室内觀察トニヨツテモ、多少ノ相違ハアルシ、ソレニ生鮮ナル植物體ヲ觀察スル場合ト、乾腊植物體ヲ處理スル場合トハ、取扱上ニ相違ガアル



顯微鏡的觀察ノ要品

ル。從ツテ要具ニモ異ナレルモノガ入ル。前ニ述ベタモノハ、一般的ノ要具デアツテ、而モ室内觀察ヲ標準トシタノデアルガ、野外觀察ノ場合ニハ、特ニ野冊のうとぶつく、精密ナル地形圖、土性圖、地質圖、磁石等ヲ用意スル必要ガアル。植物採集ヲ試ミル時ニ、特ニ植物體ノ觀察ヲナスハ大ニ效アルモノデアアル。鮮植物及ビ乾腊品ニ就イテノ處理法ニ關シテハ、後節ニ述ベルガ、茲ニ顯微鏡ヲ使用スル時ニ要スル諸物品ヲ記述スル。尤モ前述ノモノト重複ニナルモノハ略シテ置ク。

顯微鏡 (二百倍乃至八百倍位ノモノ、并ニ其ノ附屬品)

解剖用顯微鏡并ニ其ノ附屬品。

かめらるしだ及ビ視野寫生盤。

みくろとうむ (植物組織解剖學上ノ觀察、及ビ受胎作用ノ經過等ヲ觀察スルニ要スル。普通ノ觀察ニハ餘リ使用サレス)。

ばらふひん (軟キモノト、稍硬キモノトヲ備フベシ)。

にはとこノ髓 (成長宜シキモノヨリ得タルヲ選ブ)。

臺硝子及ビ蓋硝子 (成ルタケ薄キモノヲ選ブ)。

ふればらーと着色劑及ビ反應試藥 (種々)。

かなだばるさむ、ぐりすりん、あるこぼる(七十ばーせん)と乃至九十ばーせん

んとノモノ)及ビてれびん油等ヲ備ヘルコト。

點水器ハ特製ノモノヲ備フルモ宜ク、マタ細キ硝子管ニテ代用スルモ宜イ。

此ノ他清水若クハ蒸溜水ヲ貯フルふらすこ二三個ヲ要スル。

以上述ベタ器具類ハ、容易ニ求メ得ラル、モノデアアル。又植物モ、時間ト勞力ト、或ル費用トヲ惜マスナラバ、是ヲ得ルニ困難ナルモノデハナイ。唯最モ不足ヲ感ジ是ヲ充タスニ困難ヲ覺ユルハ、植物體ヲ眞面目ニ觀察セントスルノ才能ト識量トデアアル。是ハ一ニ各自ノ修養ト努力トニ俟ツ外ハナイノデアアル。

### 第二節 鮮植物體處理法

鮮植物體ヲ處理スルニ、最モ簡便ナルハ、植物體ガ自然状態ニ生育シテ居ルモノニ於テ、是ヲ見ルノニアル。併シ植物體ノ検査ニ要スル諸設備ノ都合上室外ニ於テ是ヲ觀察スルコトハ、室内ニ於ケルヨリモ極メテ不便ナル事ガ多イ。室内ニ於テ鮮植物體ヲ處理スルニハ、盆栽トナセルモノ以外ニハ、一般ニ生育

室内觀察

セル儘ノ植物體モ取扱フ事ハナシ難イ。少クトモ、生育セル場所ヨリ所要植物體ヲ分ケテ持チ來ラネバナラヌ。著生植物寄生植物水生植物等ノ或ルモノハ、所要植物夫自身ニハ少シモ手ヲカケズ、全體ヲ運搬シ得ルケレドモ、其ノ他ノ普通植物體ニ於テハ、全體ヲ完全ニ移ス事ハ、不可能ノ場合ガ多イ。其ノ甚シイモノニアリテハ、植物體ノ一部分ヲ切り離チテ持チ來リ、検査セネバナラヌ場合モアル。然ラズトモ、根部ナドニハ、往々傷ヲ負ハセテ研究室内ニ齎ラセラル、コトガ多クアル。

生鮮植物體ヲ検査スル爲メニ、植物ヲ採集スルニハ、言フマデモナク、採集罐(採集胴亂)ノ必要ガアル。而シテ採集シタル植物ノ生活力ヲ保タシムル爲メニハ、鉢植エニナスカ、或ハ花瓶ニ活クルカ、或ハマタ特ニ「活カシ箱」ナルモノヲ造リ、其中ニ入レテ置ク必要ガアル。就中「活カシ箱」ニ收メ置キ、處理スルコトハ、最モ安全ニシテ、且ツ便利ナル方法デアアル。

一旦採集シタル植物體ハ、縦合採集罐ニ入レテモ、往々萎凋スルコトガアルガ、是ヲ復活セシメナクテハ、生鮮植物體ノ検査ハ出來ナイ。即チコレヲ復活セシムルニ最モ簡便ナル方法ハ、人工ヲ以テ植物體ノ表面ヨリ水分ノ發散スル量ヲ少

萎凋シタル植物ノ復活法

ナカラシメ、比較的の多量ノ水分ヲ植物體中ニ吸收セシムルニアル。

過度ニ萎凋シテ、植物體ノ一部分ガ既ニ枯死シタルモノハ、此ノ復活法モ功ヲ奏シナイガ、一般採集植物ハ此ノ法ヲ應用シテ利アルモノデアアル。即チ其ノ復活セシメントスルモノガ、小形ノ植物體デアラナラバ、廣口瓶ノ底ニ少量ノ水ヲ容レ、植物體ノ根部若クハ基部ヲ水中ニ浸シ、蔭處ニ於テヨク栓ヲ閉ヂタルマ、數時間靜置スレバ、大抵ハ舊態ニ復スル。マタ或ハ水ヲ盛リタルコトニ、植物體ノ根部若クハ基部ヲ挿入シ、平盤上ニ載セ、是ヲ蔽フニ玻璃鐘ヲ以テスレバ、二三時間ノ後ニハヨク舊態ニ復シ得ルモノデアアル。併シ以上ノ如キハ、小形ナル植物體ノ少數ナル場合ニ於テノミ是ヲ試ミラルモノデ、少シク大形ナルモノ、或ハ多數ノ場合ニハ、斯カル小規模ノ裝置ニテハ、所詮間ニ合ハヌコト、ナル。然ラバ如何ニシテ可ナルカト云フニ、ソハ「活カシ箱」ヲ準備スルノデアアル。

活カシ箱ノ必要

「活カシ箱」使用ノ目的ハ、一旦萎凋シタル植物體ヲ恢復セシメ、數日間原状態ヲ持續セシムル爲メニアル。必ズシモ永キ時日ニ互リテ植物體ノ生活力ヲ保タシムル要ハナイ。サレバ採集シタル植物體ヲ栽植シテ「活カシ箱」中ニ納メズトモ、こつ又ハ花瓶或ハ各自ノ便宜ナル器具ニ水ヲ盛り、其ノ中ニ植物體ノ基部

ヲ挿入シ、活カシ箱中ニ納メ、霧ヲ吹キカケ、密閉シテ置ケバ、優ニ數日間ハ原状態ヲ持續スル。コレガ最も便利ニシテ、且ツ簡易ナル方法デアアル。

サテ「活カシ箱」トハ如何ナルモノデアアルカトイフニ、園藝上ニ使用スルわーど氏箱ヲ知レル者ナラバ、わーど氏箱ニ似テ土ヲ盛ラザルモノナリト言ハ、直ニ了解スルデアラウガ、今左ニ其ノ概略ヲ述ベテ、活カシ箱ノ活用ヲ諸君ニ薦メル。

「活カシ箱」ノ形状及ビ構造ハ、一定シテ居ル譯デハナイガ、著者ガ便利上製作セシメテ常ニ使用シ居ルモノハ、此ニ掲グル圖ノ如ク、四角ナ硝子箱デアアル。其ノ高サハ二尺内外、奥行ト間口トハ一尺六寸内外、四圍ト上面トハ硝子板ヲ用キ、木匡ナドハ木製デアアル。下部ニハかなりや籠ニ於ケル如ク抽斗ヲ備へ、掃除ニ都合ヨキ様ニシテアル。箱ノ中ハ水ヲ多ク用ウルカラ、亞鉛デ製シテ銹ヲ防ギ、且底部カラ水ガ漏レナイ様ニ造リ、四隅ハ蟻懸ケニ組ミ堅牢ニ造ル必要ガアル。而シテ一面ハ開閉自在ナル扉トナシ、植物體ノ出入レニ便利ナラシメテ置ク。且ツ「活カシ箱」ノ性質トシテ、ヨク密閉シ得ルヤウニ造リ、内氣ト外氣トノ流通ヲ力メテ微弱ニナサシムルヤウニスル。

室内ニ於テ生鮮植物體ヲ觀察スルニハ、此ノ「活カシ箱」ヲ使用スルノガ何ヨリ

便宜デアアル。即チ生活状態ニ於ケル植物體ノ特徴、即チ色彩、分泌、放香、刺戟、感應等何レモ貯藏シタル植物體ノ死骸ニ於テハ、遂ニ知ル事ヲ得ザル事項ヲ明確ニ確メ得ル事ガ出來ルノハ、該箱ノ有スル特色デアアル。

わーど氏箱

殊ニ植物體ノ寫生ヲナス時ニハ、此ノ「活カシ箱」ノ必要ハ大ニアアル。英國ノわーど氏ハ約六十年前ニ於テ、室内植物培養上、前述ノ「活カシ箱」ノ如キ硝子箱ヲ應用シテ、所謂わーど氏箱トイフモノヲ世ニ紹介シタ。是ハ硝子箱ノ底部ニ培養土ヲ盛ルベキ裝置ヲナシ、所栽植物ニ適スル土ヲ合成シテ之ニ盛り、箱内ニテ栽培ヲナスノデアアル。わーど氏ガ是ヲ考案シタノハ、らんどん市ノ人家稠密ニシテ煙煤甚シク、普通ノ方法ニテハ娛樂トシテ、少數ノ植物ヲ培養シ難キヲ嘆キ、且ツハ室内ニ極メテ簡易ニ比較的完全ナル植物培養場ヲ設ケンコトヲ考案シ、遂ニ種々ノ培養箱ヲ案出サレタノデアアル。其ノ内ニハじだ類植物ニ適スルモノ、高山植物ニ適スルモノ、水生植物マタハ熱帶植物ニ適スルモノ、晝室ニ適スルモノ、植物體ノ輸送ニ適スルモノ等ノ數種ガアツタ。晝室用植物培養箱ハ、わーど氏箱ノ最も普通ナルモノデアアル。

室内ニ於テわーど氏箱ノ如キモノヲ利用シ、自己ノ必要ナル植物ヲ培養シテ、

觀察ノ用ニ供スルコトハ、随分興味アル事デアアル。黄塵萬丈ノ都市等ニアリテ植物體ノ生育上ノ知識ヲ得ント欲スル者、或ハ植物培養ニ趣味ヲ有シ、植物體ヲ研究セント欲スル者等ニハ、此ノわいど氏箱ハ大ニ利用サルベキモノデアアル。

### 第三節 貯藏植物體處理法

植物體ヲ検査スルニ、何時デモ生鮮ナルモノノミヲ處理シテハ居ラレヌ場合ノアルコトハ、何人モ經驗スル所デアアル。マタ多數ノモノヲ比較研究スルニ生鮮ナルモノノミヲ蒐集スル事ガ出來ナク、却テ平常心ガケテ貯藏シ置ケルモノニ就イテ、其ノ検査ヲ試ミル方ガ、便利ナルコトモ能ク經驗スル所デアアル。

生鮮ナル材料ニ就イテ記載學上ノ検査ヲスルコトガ便宜多キハ、今更言フマデモナイガ、微細ナル個所ヲ解剖シテ、廓大鏡若クハ顯微鏡ニテ検査ヲスル場合、或ハマタ組織上ノ吟味等ニ於テハ、生鮮ナルモノヨリモ却テ貯藏シテ置イタモノヲ取扱ツタ方ガ、遙ニ好結果ヲ得ルモノデアアル。

抑モ貯藏植物體トハ如何、曰ク之ニ二大別ガアル、即チ一ツハ腐敗ト虫害トヲヨク防ギテ乾カシ貯ヘタルモノ、他ノ一ツハ液體藥品中ニ藏シテ、是ヲ貯ヘタルモ

貯藏シタル植物體ヲ検査スル得點

貯藏植物體

ノデアアル。前者ニハ植物體ヲ其ノマ、乾燥セシメ、唯僅カニ破損セス様ニ注意シタルバカリノモノモアルガ、マタ相應ノ壓搾ヲ加ヘ、ナガラ適當ナル方法ニテ乾カシタモノモアル。ノミナラズ、虫害ヲ防グ爲メニ、特ニ昇汞溶液ヲ塗り、或ハ全體ヲ之レニ浸シテ復ビ壓シ乾カシタモノ等種々アル。而シテ後者ニハあるこほる、ふおるまりん、若クハぐりすりん等ニ漬ケタモノガアル。純良ナルぐりすりんニ漬ケタモノハ、其ノ保存法サヘ宜シケレバ、あるこほるヤふおるまりん中ニ漬ケタモノヨリモ、研究上ニ都合ガヨイ。あるこほる漬ケニシテ置イタモノハ、組織解剖上ノ研究ニハ、最モ歡迎サル、モノデアアル。

是等貯藏植物體、即チ狭キ意味ニ於ケル植物標品ニ關シテハ、別ニ講述スルコト、スル。

サテ是等貯藏植物體ニ就テ、記載學上ノ觀察ヲスルニ、生活上ノ諸現象ハ勿論知ル事ガ出來ナイガ、形態上ノ事項ハ極メテ細微ノ點マデ是ヲ知ル事ガ出來ルモノデアアル。ぐりすりんニ漬ケタモノハ色彩、香氣等ヲ失ツテ居ルケレドモ、大サ、形狀等ハ殆ド原状態ヲ保持シテ居ルカラ、吟味上最モ都合ガ宜イ。あるこほるニ漬ケタモノハ、ふおるまりんに漬ケタモノト同様ニ、ぐりすりんニ於ケルモ

記載的觀察ニ於ケル貯藏植物體ノ價值

ノヨリ變質ノ度ガ強ク、組織ガ固定シテ居ルカラ、ふればらわとヲ製スルニ甚ダ便利デアアル。サレバトテ外形ノ検査ニ大シタ不都合ガアルトイフ譯デハナイ。是等液體藥品中ニ貯藏スル事ハ、經費ノ都合ト、且ツハ容器ニ定限アル事トニヨリ、如何ナル植物體ニテモ總ベテあるこほるヤふおるまりん若クハぐりすりん等ニ漬ケテ置クト云フ譯ニハ行カヌ。即チ或ル少數ノ種類及ビ植物體ノ或ル部分ノミガ之ニ適スルノデ、其ノ他ノ大多數ノ種類及ビ大部分ノ植物體ハ、所謂乾腊品トシテ、貯藏サレルノデアアル。而シテ乾腊品ノ検査ニ就イテハ少シク講述セネバナラス。

植物乾腊品  
ノ研究上ニ  
於ケル價值

乾腊品ヲ製作スル動機ガ、植物體ノ研究ニアツテ、所謂研究材料ヲ蒐集スルコトガ目的デアラナラバ、研究上ノ經驗カラシテ、材料ノ選擇ト製作上ノ注意トハ勿論完備シテ居ル筈デアアル。故ニ斯ノ如クニシテ製作サレタ乾腊品ナラバ、直チニ植物體ノ検査ニ使用サル、資格ヲ有シテ居ルニ違ヒナイ。若シ然ラズシテ唯徒ラニ賣ランガ爲メニ造ラレタモノヤ、或ハタゞ名稱ヲ覺エル備考ノ爲メニ造ラレタモノヤ、又ハ子供ラシキ誇リノ爲メニ、娛樂的ニ造ラレタモノデアツタナラバ、之ヲ植物體ニ關スル研究上ノ經驗ニ徵シテ、其ノ良否ヲ識別シ、然ル後

記載的觀察  
ニ於ケル乾  
腊品ノ處理  
法

研究材料トシテ、十分ニ價值アリト認メタ場合ニノミ、夫レヲ採用スベキデアアル。植物體ノ検査上ニハ、乾腊品ノ美醜ハ、左程重要デハナイ。併シ其ノ研究ノ完全ナルト、不完全ナルトハ、直チニ以テ其ノ乾腊品ノ採擇可否ヲ判ズベキ重大事項トナルノデアアル。

乾腊品ノ完全ト、不完全トハ、實ニ植物體研究上ノ商量ニヨル事デ、乾腊品トナツタ植物體夫レ自身ニアル價值デハナイ。完全ナル乾腊品即チ植物體ノ特徴ヲ十分ニ具備シテ居ルモノヲ、記載學上觀察スルニハ、第一ニ其ノ植物體ノ生育スル處ト生活ヲ營ム時期トヲ考ヘ、第二ニ全體ノ大サ及ビ形狀ヲ確カムルニアル。第三ニハ各器官ニ就テ詳細ナル觀察ヲ試ムルノデ、若シ植物體ガ小形ナル場合ニハ、清潔ナル洗面器ノ如キモノニ溫湯ヲ盛り、其ノ中ニ植物體ヲ全部浸シ、是ヲ膨軟ナラシメ、形態上ノ觀察ヲ行フガ宜イ。又常綠性ノかし類ノ如キモノハ熱湯ニ入ル、ガ宜イ。若シ又植物體ガ大形デアツテ、其ノ或ル一部分ノミ處理スル如キ場合ニハ、唯觀察上必要ナル部分ノミヲ溫湯若シクハ熱湯中ニ浸シ、原形ニ復サシメ、之ヲ適當ナル方法ニヨリ取扱フノデアアル。器官ノ微細ナル部分ヲ處理スルニハ、蒸發皿或ハ試験管中ニ清水ト共ニ入レ、あるこほるらんぶ若

乾腊品處理  
上ノ要具

シクハ瓦斯火炭火等ニテ煮沸シテ、組織ヲ柔クシ、形狀ヲ原狀ニ復サシメテ觀察  
 ノ用ニ供シ、且ツハ解剖ヲ行ヒ、鏡檢ノ材料トモナスベキデアアル。鏡下ニ觀察ノ  
 際、小淺皿ヲ用キ之ヲ水中ニテ檢査セバ、甚ダ明瞭ニ檢了スルコトガ出來ル。  
 乾腊品ヲ處理スルニ就イテ、特ニ要スル器具ハ、左ノ如クデアアル。  
 蒸發皿（數枚）。 蒸發皿臺（金網付）。 試驗管（數個）。 みるこぼるらん  
 ぶ（附まつち）。 工業用みるこぼる。 珐瑯質洗面器。 其ノ他すとらふ  
 ヤ火桶等ハ、特ニ備フルニモ及バナナイガ、實驗上ニハ必要デアアル。  
 微細ナル器官、例ヘバ細微ノ花細微ノ果實種子、胚胞子囊群、胞子囊、若シクハ内  
 部組織構造等ニ就イテ觀察スルニハ、解剖顯微鏡ヲ使用シテ、解剖シナガラ鏡檢  
 スルノデアアルガ、あるこぼる漬ノ材料、マタハ組織解離劑ヲ加ヘタルモノハ、例外  
 トシテ、乾腊品ヨリ其ノ材料ヲ求メタ場合ニハ、最初所要ノ局部ダケヲ切り離チ、  
 前ニ述ベシ様ニ是ヲ蒸發皿若シクハ試驗管ニテ煮ルノデアアル。併シ是ハ決シ  
 テ煮過ギテハナラス。要トスル處ハ、華氏ノ八十度位ノ湯中ニ數分浸シタル程  
 度ノモノヲ使用スル様ニ、注意スレバ宜イ。  
 毛茸ヤ蜜腺乃至ハ胞子囊群、胞子囊若クハ胞子ヲ鏡檢スルニハ、生鮮材料ノ或

解剖的觀察  
上ノ注意

物ガ固定シタル後デナケレバ、解體ハ行ハレヌガ、略言シテ一般ニハ羊齒植物群  
 ノモノデモ、種子植物群ノモノデモ、肉眼ニテ識別シ得ル限り、肉眼ニ信賴シテ刀  
 ヲ執リ、マタ針頭ヲ使用シテ局部ヲ解剖シ、夫レヨリるうペ或ハ解剖顯微鏡ノ低  
 度ノ鏡力ニヨリテ解體ノ歩ヲ進メ、鏡下ニ於テ針尖ヲ以テ觀察スベキ主體ヲ明  
 カニ引出シ、鏡度ヲ高メテ是ヲ觀察スベキデアアル。初學者ハ往々序ヲ追フトイ  
 フ事ヲ忘レテ、突飛ナル觀察ヲ試ミルモノデアアルカラ、不結果ニ終ル様ナ事ガア  
 ルノデアアルカラ、此ノ點ハ大ニ注意セネバナラス。強度ノ顯微鏡ニテ觀察セネ  
 バナラヌ程細微ノ物體ノ大サヤ長サヲ測ルニハ、みるこぼるめーとるト稱スル尺度  
 ノ裝置ニヨルノデアアルガ、普通ハ大抵みるこぼるめーとるニテ測ルノデアアル。

觀察結果ノ  
最大價值

科學的研究ノ觀察ニハ結果ノ最大價值ヲ求ムベキモノデアアツテ、同様ノ實驗  
 ヲ數度繰リ返シテ試ミ、種々ノ原因ニヨレル差誤ヲ出來ルダケ少ナクシ、數字ヲ  
 以テ示スモノハ精細ナル統計表ニ現ハシテ見テ、最モ優勢ナルモノヲ確メ、夫ヲ  
 標準トスルノデアアル。マタ形狀ニ於テモ、同種ノモノヲ出來ルダク多ク觀察シ  
 テ、其ノ最モ共通ニシテ優勢ナルモノヲ以テ標準ト定メ、他ヲ并記スルヤウニス  
 ルノデアアル。初學者ハ殊ニ是等ノ觀察實施法ヲ十分ニヨク會得サレン事ヲ希

望スル。

## 第二章 植物體記相法

### 第一節 記載ニ關スル一般準備

記載ヲ目的トシテ植物體ヲ處理シ、マタ檢査スル方法ニ就イテハ、大略前章ニ之ヲ述ベタ。マタ其ノ結果ヲ如何ニ收ムベキカニ就イテモ、既ニ之ヲ説イタ。サレバ更ニ如何ニ「記載ヲナスベキカ」ニ就イテ講話ヲ進メル。

觀察ト記錄

植物體ノ形狀ヤ性質ヲ觀察シテ、インデペンデント個體トシテ、スペシフィック特徴ヤラ、種トシテノ標準的的特徵ヤラヲ知悉シタナラバ、是ヲ記錄ニ留メル。記錄スルトイフコトハ、言フマデモナク、重要ナルモノデアアル。觀察研究上ニ幾多ノ考慮ト注意トヲ要シ、誤ナカラシメ期スル以上、其ノ結果ヲ收録スルニ當リテモ、亦當ヲ失セザル事ガ最モ重要デアアルコトハ、理ノ當ニ然ラシムル處デアアル。

記載ノ方法

記載ノ方法ハ、大別シテ繪畫ニヨルモノト、文字ニヨルモノトノ二者トスル。繪畫ニ於テハ寫生ヲ貴ビ、文字ニヨルモノニ於テハ寫實ヲ主トスルノデアアル。其ノ何レニシテモ、觀察上ノ結果ガ個體ヲ主トスルモノカ、或ハ種ヲ代表セシム

記載上ニ於ケル植物ノ種ト個體

ルモノナルカヲ確定シナクテハ、記載スルコトハ出來ス。多クノ場合、寫生畫ニ於テハ、植物體ノ全形若クハ緊要ナル大部分ノ形狀ヲ或ル個體ヨリ摹シ、他ノ微細ナル器官ノ形狀大サ、或ル時ニハ色彩等ヲ他ノ個體ヨリ摹寫スルノデアアル。而シテ是ニハ個體的ノ特徴ヲ表示シタモノデアアルトモ云ハズ、サレバトテ特ニ種ノ代表的特徴ヲ示シタモノトモ明記セヌノガ、一般ノ慣例デアアル。併シ是ハ相應ニ考ノアル人ナラバ、植物體ノ個體ト種トイフモノニ、或ル差異ノアル以上、其ノ事實ヲ明カニスルニ何ノ躊躇モナサズデアロウ。然ラバ寫生畫ニ於テハ、實物ニ忠實ナラザルベカラザルヲ以テ、植物體ノ全形ヲ摹寫スルニハ、或ル個體ヲもでるトナス筈デアアルノニ、斯クテハ繪畫ニハ種ノ代表的特徴ヲ寫シ得ザルニアラズヤト反問スル人ガアルカモ知レヌガ、夫ハ種トイフモノヲ良ク考ヘ知ツテ居タナラバ、種ヲ代表スルニ足ル個體ガアルベキヲ合點スルニ相違ナイノデアアル。即チ多數ノ個體中ヨリ最モ代表的ノモノヲ選擇シテ、其ノ物ヲもでるニスレバ宜イノデアアル。斯クテ個體ヲもでるトシ、種ノ代表的特徴ヲ寫シ出ス事ガ出來ルノデアアル。解剖圖若クハ微細ナル器官ノ廓大圖及ビ稍、大ナルモノノ縮小圖等ハ、各自ニ實物ニ法リテ、比例大ヲ明カニシ、且ツハ明確ヲ主トナスベ

キモノデアルカラ、其ノ材料ノ選擇、觀察上ノ處置等ニ十分意ヲ用フベキコトハ云フマデモナイガ、是ヲ寫生スルニモ、其ノ特徴ガ個體的ナルカ、或ハ種トシテナルカヲ明カニナスベク留意シテ、其ノ表示スベキ精神ヲ没却セザランコトガ肝要デアル。

文字ニテノ記載ト繪畫ニテノ記載

文字ニヨリテ記載スル場合ハ、寫生畫ニ於ケルト、少シク趣ヲ異ニシテ居ル。即チ文字ノ吟味及ビ其ノ使用法、換言スレバ、文字ニ關スル知識ト、文章ヲ綴ル事ニ關スル知識トヲ、十分ニ會得シテ居ラネバナラス。而シテ記載上ニ於ケル慣例語等ニ就イテモ、十分ニ通曉シテ居ルコトガ肝要デアル。記載上ノ慣例語、即チ術語ニ關シテハ、第三章ニコレヲ詳述スル。

而シテ繪畫ニ表示サレタモノハ、其ノ繪畫ニ現ハサレタルヲ知ルコトガ出來ルガ、文字ニヨツテ表示サレタ事ハ、文字ノ解シ様ニヨリテハ、決シテ一定ゼル事ヲ現ハスモノデナクナル場合ガアル。殊ニ變化多キ形狀、色彩等ニ就イテ、文字ニテ表示スルニハ、種々ノ困難ガアル。故ヲ以テ文字ノ解釋ヲ嚴密ニシ、ヨク選擇シテ以テ使用セネバナラスノデアル。

文字ニテ記載スルニモ、繪畫ニテ記載スルト同様ニ、其ノ觀察研究及ビ個體ト

記載上ノ要訣

種トノ區別等ヲ行フハ、勿論ノ事デ、マタ寫實法ヲ誤ツテハナラスノデアル。

記載上ノ技術及ビ注意ニ就イテハ後ニ説明スルガ、繪畫ノ場合ニテモ、文字ノ場合ニテモ、虛實ノ呼吸ヲ忘レテハナラス。マタ記載上緊要ナルモノト、然ラザルモノトノ、識別ヲ明白ニセナケレバ、徒ラニ冗繁ニ互リ却テ要領ヲ失スル事モアル。自然及ビ事實ニ忠ナルト同時ニ、自己ノ見識ニモ亦忠ナルヲ要スルノデアル。彼ノ己ヲ欺カズ詐ラズ、マタ飾ラザル美德ハ、植物記載上ニモ遂ニ必要缺クベカラザルモノデアル。植物學ヲ攻究スルニ、多數ノ參考書ヲ繙キ、且ツ多數ノ參考圖畫等ヲ看ル事ハ極メテ重要ナルコトデアルガ、自己ノ觀察ニ基ヅイテ、記載ヲ試ムルニ、先輩ノ諸說ヤ繪畫ヲ摹擬シ、或ハ剽竊ナドシテ居ルヤウニテハ、到底生命アル研究ハ覺束ナイ。寧ロ先輩ノ既ニ試ミラレタ事ニ就イテ正當ナル批判ヲ下スベキ見地ニ立チテ、自己ノ記載ヲ成シ遂グル底ノ意氣ヲ要スル。現今殊ニ多ク見ル彼ノ賣ラン哉主義者ノ著述ニ於ケル植物體ノ記載ナドハ、一ニ此ノ點ニ於テ往々ニシテ、言語道斷ノモノガアル。讀者ハ先ヅ植物體ノ記載ヲ試ミルニ當リ、須ラク以上ノ覺悟ト、準備トヲ要スル。



### 第二節 記載ニ於ケル寫生畫

科學上ノ說  
明畫ト藝術  
上ノ繪畫

記載ニ於ケル寫生畫ハ、美術ニ於ケル寫生畫トハ聊カ其ノ選ヲ異ニスル。即チ前者ハ植物學上ノ一種ノ說明畫ノ性質ヲ有シテ、眞ト實トヲ生命トシ、後者ハ全然藝術上ノ價值ヲ有シテ、美若クハ情緒ヲ生命トシテ居ル。尤モ是ハ兩者ノ顯著ナル相違點デアツテ、繪畫トシテノ約束ハ、兩者トモ同一ナルコトハ勿論デアル。即チ吾人ノ視力ニヨリ認メラレタルモノガ、描寫ノ技術ニヨリテ、繪畫トナリ現ハサル、モノデアルガ、併シ如何ニ實物ニ忠ナル者ト雖モ、實物其ノ儘ヲ寫ス事ハ不可能デアル。又形狀、色彩等ノ點ニ於テモ、吾人ノ心理狀態ノ反應ニヨリテ繪畫ニ表現サルベク、實物自身ニ具備スルモノト、全然同ジキモノハ、是ヲ繪畫ニ求ムベカラザルモノデアル。

繪畫ニハ氣分トカ感じトカイフ一種ノ直覺性ノモノガ潛ンデ居ル。是レ繪畫ヲ描ク人ガ、既ニ有情ニシテ、是ヲ看ル人亦有情ナルガ故デアル。

縦合理ヲ主トシタル植物體記載上ノ寫生畫ナリト雖モ、植物其ノ物ニ對シテ吾人ノ心ガ動カサル、以上其ノ繪畫ニモ必ズ一種ノ氣分ガ現ハル、ハ、當然ノ

事デアアル。唯記載上ノ寫生畫ハ、美術上ノモノニ於ケル程氣分ノ表現ガ強クナイノト、細微ノ點マデ學術上ノ或ル拘束ニ支配サレテ居ル事トガ、別趣味ヲ發揮シテ居ルノデアアル。

植物體記載上ノ寫生畫ハ、總ベテニ於テ、最モ明確ナルヲ要スル。植物ノ系統的特徵ハ發生上組織上生殖器官及ビ營養器官等ノ構造及ビ形狀ニ表ハレテ居ルモノデアアルカラ、是等ヲ精細ニ且ツ忠實ニ寫生スルハ、最モ緊要ノ事デアアル。

記載上ノ寫  
生法

寫生ヲスルニハ植物體ヲ不自然ナラス位置ニ据エテ、一目シテ其ノ植物體ノ顯著ナル特徴ヲ見得ル様ニ處理シテ置キ、寫生中ハ植物體ト眼トノ關係位置ヲ猥リニ變ベス様ニ注意スル。又詳細ニ觀察スル時ニハ、十二分ニ意ヲ注ギテ、形狀ガ崩レ、自然狀態ヲ失フガ如キ事ナキ繪ヲ畫クベキデアアル。想像ヲ以テ植物體ヲ作ル如キハ、決シテ爲スベカラザルコトデアアル。

寫生圖ハ心理上ノ關係ヨリ、兎角實物ヨリ大キクナリ勝チノモノデアアルカラ、一々實測シテ、成ルベク實物ノ大サト比例ヲ保チ畫ク必要ガアル。而シテ實物大ニ畫キ得ルモノナラバ、勉メテ實物大ニ寫スヲ上策トスル。皺褶ヤ縮卷ハ眞ヲ寫ス事ガ必要デアアルガ、刺毛ノ如キハ其ノ實數ヲ畫カズトモ宜イ。唯其ノ要

寫生畫ノ實例

領ヲ失ハナイ程ノ注意ヲ要スル。蒔繪筆ヲ以テ畫ク場合ニハ、鉛筆ニテ精確ニ下繪ヲ畫キ、後ニ一定度ノ濃キ墨汁ヲ使用シテ仕上ゲヲスル。薄キヲ望ム場合ニハ畫ク線ヲ細クシテ、淡色ノ墨汁ハ用キナイ。下繪ノ鉛筆痕ハ、墨ガヨク乾イタ時ニ字消シテ消シ去ルノデアアル。けんとの紙ナレバ、地ガ剛キ故、紙面ガ毛バダツコトナク、甚ダ都合ガ宜シイ。

彩色等ヲ施ス時ニハ、成ルベク實物ノ天然色ニ酷似シタル色ヲ現ハスコトニ苦心ヲ要スル。

寫生畫ノ實例ニ就イテハ、拙著『大日本植物志』、『日本植物志圖篇』、并ニ『新選日本植物圖說』等ニヨツテ一覽セラレタイ。今此ニ『大日本植物志』ヨリ縮寫セルちやるめるさうノ一例ヲ示サウ。

### 第三節 記載文

文字ニヨリテ植物體ヲ記載スルニハ、一定ノ學術語ニヨク通曉シテ、記載上ノ用語ヲ十分ニ推敲セネバナラスガ、植物體ノ處理法ヤ觀察法ハ、寫生畫ニ於ケル場合ト同様デアアル。

文字ニテノ記載練習

寫生畫ニ學習ノ順序ガアツテ、最初ハ簡易ナル形狀ヲ寫生シ、馴ル、ニ隨ヒ、順次複雑精緻ナルモノヲ巧ミニ寫生シ得ルガ如ク、記載文ニモ練習ノ必要ガ大ニアル。先ヅ大體ヲ記ス事ニ馴レ、次ニ局部ノ稍、複雑シタル状態ヤ性質ヲ記ス事ヲ學ブ。即チ疎ニ進ミ入ツテ細密ナルヲ捉フルノデ、夫レニハ植物記載用紙ヲ使用スルガ最モ便利デアアル。是ニヨツテ記載スル範圍及ビ順序ノ大略ヲ知り、自己ノ才能ニ堪フル程度ノ觀察ヲ行ヒ、以テ記載ノ練習ヲ積マバ、徐々ニ記載文ニモ通ジ得ルモノデアアル。

記載用紙ノ記入ト記載文  
植物體記載用紙

記載用紙ヲ使用スルハ、初學者ガ記載文ヲ練習スル爲メデ、一般ノ植物記載文ト云フハ、一定ノ型ニヨツテ認メラレテ居ルモノデアナイ。而シテ記載用紙ニハ記載スベキ要領ニ法ツテ欄ヲ設ケ、マタ表ヲ以テ示シテ居ルガ、是等ハ其ノ考案者ニヨツテ一様デアナイ。普通程度ニ於ケル記載ハ、主トシテ所謂植物本體ニ就イテノ觀察結果ノミヲ採ツテ居ルノデアアルカラ、普通ノ記載用紙モ亦一般ニ其ノ程度ニ準ジテ定メラレテ居ル。其ノ爲メ特殊ノ形態構造ヲ有スル植物群ニアリテハ、特殊ノ體裁ニ依レル記載用紙ヲ定メル方ガ便利デアアル。即チさく科トカ、らん科トカ、或ハかやつりぐさ科禾本科しだ類等ノ植物體ニハ、夫々顯

大きく科植物  
記載用紙

著ナル一般特徴ガアルカラ、夫等ノ特徴ニ基ヅイテ記載用紙ヲ考定シ、使用スル  
事ガ最モ都合ガヨイ。

大きく科植物ノ記載ニハ、所謂大きく科植物記載用紙トシテ、次ノ如キ記入欄ノ設  
ケアルモノヲ使用スル。植物ノ一般性質、根、莖、葉、葉柄、花序、頭狀花、  
總苞、總苞片、花床、穎狀苞、舌狀花、管狀花、冠毛、聚成葯、柱頭、瘦果、  
胚、產地、採集年月日、其ノ他分類學上ノ位置、備要等。

禾本科植物  
記載用紙

禾本科植物ノ記載用紙ハ、植物ノ一般性質、根、匍枝、稈、葉、葉鞘、小舌、  
小穗、花、穎、稃、芒、鱗被、葯、柱頭、穎果、種子、產地、採集年月日、其  
ノ他分類學上ノ位置、備要等ノ各記入欄アルモノヲ要スル。

つやつりぐ  
さ科植物記  
載用紙

かやつりぐさ科植物記載用紙ニハ、植物ノ一般性質、根、匍枝、葉、葉鞘、  
花序、總苞、小穗、花、穎、花蓋、葯、柱頭、瘦果、種子、產地、採集年月  
日、其ノ他分類學上ノ位置、備要等ノ記入欄ヲ要スル。

しだ類植物  
記載用紙

しだ類植物記載用紙ニ於テハ、植物ノ一般性質、地下莖、葉柄、葉、葉脈、  
囊雄、胞子囊、胞子、產地、採集年月日、其ノ他分類學上ノ位置、備要等ノ記  
入欄ヲ設ケル。囊堆トハ、胞子囊群ヲイフノデアアル。

植物體ノ記  
載練習ト植  
物學ノ學修

是等普通植物向キノ記載用紙ハ、別ニ刊行ノ企劃アルヲ以テ、其ノ時亦植物記  
載用紙記入法ヲ説明スル。何レニシテモ多數ノ植物體ヲ處理シ、記載ノ練習ヲ  
スル事ハ、植物學ヲ修ムル上ニ大ニ利益ガアルモノデアアル。諸君ハ大ニ此ノ記  
載用紙ニヨツテ手ホドキヲ得ラレン事ヲ希望スル。

記載文

文章體ノ記載ハ、新撰日本植物圖說、大日本植物志并ニ植物學雜誌ニ連載セル  
拙著日本植物考察(歐文)ヲ參考スレバ、大ニ自得スル處ガアロフ。記載文ノ要訣  
ハ適當ニ簡ニシテ明、ヨク諸植物體ノ特徴ヲ發揮セシムルニアル。ガ、餘リ簡ニ  
失シテ、其ノ眼ニ映ズル植物體ノ諸部ヲ遺漏スル様デハ何ニモナラス。世ニハ  
タゞ簡明々々ト呼ビテ、却テ此ノ弊ニ陥ルモノガナイデモナイ。ソレハ昔ノ未  
開簡單ノ世ノ事、今ハ夫レデハ事ガ足りス。記載ハ苟モ吾人ノ眼底ニ映ズル標  
徴ハ一モ逃サズ、上下表裏ニ論ナク、悉ク記スベキモノデアアル。即チ其ノ記載文  
ヲ讀ミ、之ニ基ヅキテ想像ノ畫ガ畫ケル位ノ程度ニ文ヲ行レバ、誠ニ結構至極デ  
アツテ、實際ソレ位ニ出來テ居ナケレバ、效力ガ甚ダ薄イノデアアル。

### 第四節 植物記載式

本邦ニ出版  
セラレタル  
記載用紙

今實際ノ使用ニ供センガ爲メニ、此ニ植物ノ記載用紙ノ書式ヲ掲ゲル。讀者ハ是レニヨリテ始メテ略ボ完全ナル記載用紙ノ式ヲ得ルノデアアル。從來我邦ニ於テ世ニ出デタル記載ノ用紙ハ、今ヨリ十餘年前ニ原ト東京帝國大學ノ植物學教室デ使用シ居ツタ、アブガー氏ノ Plant Analysis ト題セル書ヲ三好學氏ガ譯シテ、書肆敬業社(今ハ)ニ出版セシメタモノガ、一番良カツタ(其ノ他ハ皆遠)ガ、今ハ全ク絶版ノ有様デアアル。併シ該用紙ハ普通ノ植物ハ記載シ得レドモ、さく科カヤつりぐさ科若クハ禾本科ノ如キ特別ナル植物ヲ記載スルニハ、不備ノ點ガアツテ用ウルコトガ困難デアツタ。今茲ニ掲グルモノハ、此等ノ植物ヲモ遺憾ナク記載シ得ルヨウニ考案シタモノデ、使用者ニハ十分便利ヲ與ヘ得ルコトガ出來ルト信ズル。且ツ又之ヲ精粗ノ兩様ニ分チ置キタルヲ以テ、初學ノ人々ハ粗即チ普通用ノ方ヲ使用シ、進歩シタル人々ハ精即チ詳記用ノ方ヲ使用スレバ宜シイノデアアル。

記載用紙ノ  
使用法

植物ヲ検査シテ、其ノ事項ヲ用紙ノ表中ニ記入スル用語ハ、次ノ表中ニ羅列スルカラ、検査者ハ此ノ表中ノ用語ニ見テ、其ノ適中セルモノヲ抽出シ、之ヲ記載用紙ニ記入スレバ宜シイ。而シテ其ノ用語ノ解釋ハ、卷尾ニ附シタル術語彙欄ニ

胚珠ノ誤用

詳記シテアルカラ、之ヲ見レバ自ラ其ノ意味ヲ識ルコトガ出來ル。記載用語ノ普通ナルモノハ、此ニ殆ド漏レナク網羅シテアルガ、併シ其ノ用語ハ決シテ此レデ盡キテ居ル譯デハナク、尙ホ此處ニ擧ゲテナイモノガ澤山アル。夫等ハ他日一括シテ『植物記載用語』ト題スル一書ヲ公ニスル積リデアアル。

著者ハ此ノ書デ子房内ノ Ovary ヲ卵子(世間普通ニ胚珠トシ、)トシ、卵子内ノ Nucellus ヲ胚珠(世間普通ニ珠心トシテ居ル。)トシテ居ル。是ハ本來シカセネバナラスノデアツタガ、明治六年ニ出版セル小野職モトヨシ氏譯ノ『植物學淺解』ニ始メテ之ヲ誤譯セシ以來、今日迄之ヲ其ノ儘襲用シテ、一度モ正ニ反ヘシタ人ヲ見ナイ。今日世間慣用ノモノヲ取換ヘルコトハ、至極不便ナルノミナラズ、其ノ間ニ混雜ヲ惹起シテ煩ニ堪ヘナイ困難ハアルガ、サリトテ其ノ誤ナルコトヲ知リツ、之ヲ用ウルハ、他人ハ知ラズ、著者ハ我學問スル心ニ訴ヘテ、學問上ニ斯カル情實ヲ容ル、ヲ許サナイカラ、長キ世ノ一時ノ不便ハ之ヲ忍ビ、強テ Ovary ヲ卵子、Nucellus ヲ胚珠トシタ。胚珠并ニ卵子ノ譯字ハ、原ト咸豐年間支那ニテ出版セル漢譯ノ『植物學』ニ出ヅル所デ、即チ其ノ文ハ左ノ如クデアアル。

卵在胎座内、後成種子、卵大率居子房之中、或有無子房而露生者、得雄粉即成種子、

如松實是也、故此類之花心、受鬚粉最易、卵或有莖、或無莖、卵有胞、或一層、或二層、卵內有胚珠一點、即異日果中之胚也、胚珠先生、胞後生、凡二層之胞、其二層必有附連之處。

文中胎座内トアルハ、胎座上ノ意味デアアル。又、卵有胞ハ皮ノコトデ、卵子ヲ包メル外皮 (Primine) ト内皮 (Zouandine) トデアアル。

寸法ハ、めーとる式ノモノガ最モ宜シク、其ノ尺度モ今日デハ世間ニ普通ニアルカラ得ルコトハ容易デアアル。併シ必ズ之ニセネバナラヌト言フ譯デハナイ。故ニ日本尺度ヲ用キテモ少シモ差支ハナイ。ガ、タ、めーとる式ハ世界的ノモノデアツテ、今日學問界デハ比々之ヲ使用シアレバ、此ノ方ガ便利多キノミナラズ、其ノ度ノ盛リ方ガ如何ニモ中庸ヲ得テ居テ、甚ダ恰好デアアル。即チ我が日本尺度ノ分デハ、粗大ニ過ギ、厘デハ細小ニ過ギル、關典ガアルガ、其ノ場合ニ、みりめーとるハ、丁度其ノ中ヲ得テ居ルノデ極メテ宜シイ。

著者ノ記載用紙ハ、我邦デ今日マデ世ニ出タモノ、中デ、一番完全ナルモノデアルト自ラ信ジ、且ツ人ニモ公言シ得ル理由ガアル。左ニ記載ノ順序ト、其ノ用語トヲ掲ゲル。

尺度ハ、めーとる式  
宜シ

我邦ニ出テ  
タル完全ナル  
記載用紙

### 第一項 記載ノ順序及其ノ用語

#### 第一 常用ノモノ

##### 全相

【生存】 一年生、二年生、越年生、多年生。

【習性】 半灌木、亞灌木、矮灌木、灌木、亞喬木、喬木、纏繞草本、纏繞藤本、攀緣草本、攀緣藤本、左纏、右纏。

【生處】 陸地生、水生、寄生、氣生、托生。

【大小】 高、直徑、周圍。

【特質】 下ノ諸標、微ハ植物全形ニモ用キ、又ハ莖、葉、托葉、苞等、或ハ又花、并ニ萼片、花瓣等ノ花ノ諸部、若クハ向液汁ニモ之ヲ適用スル。

【表面ノ狀】 無毛、帶白、帶霜、灰白色、微白色、斑點アル、細點アル、閃點アル、有斑、疣瘤アル、有腺、糙澁、

【塵毛】 灰白細毛ノ、密軟毛ノ、密軟細毛ノ、疎長毛ノ、長軟毛ノ、鬚毛ノ、綿毛ノ、密氈毛ノ、絹毛ノ、蜘蛛毛ノ、密綿毛ノ、毛白面ノ、腺毛ノ、〔刺モアル〕有針、有刺、芒刺ノ、硬毛ノ、鬚毛ノ、硬尖面ノ、刺毛ノ、螫毛ノ、硬尖糙澁。

【織質】 膜質、革質、肉質、乾膜質、草質、花瓣狀、皺縮、皺曲。

【色彩】 藍色、青色、淡藍色、紫褐色、淡紫色、深紅色、肉紅色、鉛紫色、紅紫色、淡紅紫色、緋色、桃花色、朱赤色、鮮紫色、黃色、鮮黃色、銅色、乳黃色、金黃色、

根

柑黃色、藁黃色、硫黃色、黑色、栗殼色、灰色、暗色、鐵銹色、火色、綠色、帶白色、綠色、淡白色、黃褐色、暗綠色、白色、半透明、有點斑色アル、有線條。

【生存】 一年生、二年生、多年生。

【種類】 地中生、水中生、氣中生。

【主根】 圓錐形、紡錘形、平圓形、分枝。

【側根】 鬚狀(纖維狀)、束集狀、小塊節アル、念珠形、小瘤アル。

【大小】 長、直徑。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

莖

【生存】 一年生、二年生、多年生。

【構成】 節、節間、葉腋。

【習性】 『生長』 雙子葉莖、單子葉莖。

『方向即チ姿勢』 直立、匍匐、傾臥、平臥、斜上、攀緣、纏繞、傾下、繖開。

『分枝』 單一、又分、十字對生ノ、上達、

幹、枝、分幹、纖匐枝、匐枝、吸枝、短匐枝、

卷鬚、刺。

【種類】 『地上莖即チ氣中莖』 稈、草質、

莖、木質幹、蔓本。

『地下莖』 根莖、球莖、鱗莖、塊莖。

【形狀】 中實、管狀、圓柱形(圓壩形)、有稜、

三角形、四角形、多角形、縱起條、縱臥

アル、縱溝アル、咬斷狀ノ。

【大小】 高、長、直徑。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

葉

【生存】 常綠、謝落、早落。

【位置】 『芽襞』 直生、內曲、褶合、褶襞、拳

曲、包旋、內旋、外旋、跨狀、半跨狀、三稜

跨狀。

【生處】 根生、莖生、枝生。

【葉序】 互生、對生、交叉生、輪生、束生、

科生、一螺廻二葉生(1/2生)、一螺廻三

葉生(1/3生)、二螺廻五葉生(2/5生)、三螺

廻八葉生(4/8生)、五螺廻十三葉生(5/13

生)。

【構成】 『脈狀』 中脈、肋脈、支脈、細脈、平

行脈、網狀脈、羽狀脈、三主脈アル、掌

狀脈(射出脈)。

【結構】 無柄、有葉柄、有托葉、無托葉、

卷鬚アル。

【合成】 單葉、複葉、羽狀、單羽狀、奇數

羽狀、偶數羽狀、參差羽狀(錯出羽狀)、

三出、雙生、再羽狀、三羽狀、重複狀、掌

狀、單掌狀、再掌狀、三掌狀、掌狀三出、

掌狀五出、掌狀七出、掌狀九出。

【形狀】 『外形』 絲形、瘦針形、針形、鍼形、

劍形、彎刀形、線形、卵形、披針形、三角

形、圓形、橢圓形、廣橢圓形、長橢圓形、

倒卵形、倒披針形、篋形、楔形。

【葉底】 銳尖形、銳形、鈍形、圓形、截形、

心臟形、耳形、歪形、箭形、戟形、楯形、腎

臟形、抱莖、串穿、聯底、沿下。

【葉頭】 銳尖形、銳形、鈍形、圓形、截形、

微凹形、凹形、二裂、倒心臟形、凸形、微

凸形、刺尖形。

〔葉緣〕反卷、全邊、鋸齒、細鋸齒、牙齒、細牙齒、重鋸齒、重牙齒、鈍鋸齒、細鈍鋸齒、內屈鋸齒、漣波形、鈍波形、深波形、緣毛アル、長緣毛アル、缺刻、條裂、羽狀淺裂、羽狀尖裂、櫛齒形、羽狀深裂、羽狀全裂、頭大羽裂、逆向羽裂、三淺裂、五—七—九淺裂、三尖裂、五—七—九尖裂、三深裂、五—七—九深裂、三全裂、五—七—九全裂。

〔大小〕長、幅(廣)。

〔特質〕(全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

葉柄

〔形狀〕圓柱形、半圓柱形、有溝、有緣、平

扁、假葉、抱莖、包莖、卷絡、管形、縱裂管形、縱起條アル。

〔大小〕長、直徑。

〔特質〕(全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

托葉

〔生存〕(葉)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

〔種類〕袴狀、托葉的卷鬚、針狀ノ、葉前ノ、葉間ノ、沿著ノ、葉狀ノ、刺毛狀ノ。

〔形狀〕(葉)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

〔特質〕(全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

序花

〔位置〕頂生、腋生、根生、直立、點頭、下垂、偏側生。

〔種類即チ型式〕「一花獨生ノ者」頂生、腋生。

〔側生即チ求心的〕穗狀、肉穗、葉莖、總狀、繖房、圓錐、簇集圓錐、繖形、頭狀、

〔頂生即チ遠心的〕聚繖、聚繖圓錐、簇集聚繖、蠟尾狀聚繖、束集聚繖、團集聚繖、輪狀聚繖。

〔附屬器官〕「支柄」長、太サ、花梗、小花梗、花軸、葶。

〔苞〕鱗狀、葉狀、花瓣狀、佛焰苞、小苞、總苞、小總苞、總苞片、小總苞片、穎狀苞。

花

〔根數〕五數花、一數花、二數花、三數花、四數花、六數花、七數花。

〔種類〕無梗花、有梗花、兩性花、兩全花、雄花、雌花、單性花、登花、不登花、中性

花、一家花(雌雄同株)、二家花(雌雄別株、雌雄異株)、雜居花。

〔構成〕二輪花(二被花)、一輪花(單被花)、無瓣花、無輪花(無被花、裸花)、全備花、不備花、端正花、偏形花、等數花、不等數花、離瓣花、合瓣花、萼花冠別樣カ、萼花冠同様ニシテ花蓋ヲナスカ。

〔大小〕直徑、長。

花床 一名 花托。

〔形狀〕平坦、凸出、圓錐形、球形、卵形、陀螺形(洋式獨樂形)、凹入、有柄、撐果柄、單一撐果柄、兩岐撐果柄。

〔大小〕長、直徑。

花盤

【位置】 子房下生、子房周圍生、子房上生。

【形狀】 圓形、平坦、凸面筒形、環形、杯形、瘤形。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

萼

【位置】 子房子位、子房半下位、子房上位。

【構造】 萼片、萼筒、萼裂片、花喉。

【形狀】 『離萼』『合萼』 ノ狀(花冠)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

【大小】 長、直徑。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

【生存】 謝落、早落、宿存、凋遺。

萼片

【員數】 一數、二—三—四—五多數、少數。

【位置】 『蕾襞』 鑷合襞、內向鑷合襞、外向鑷合襞、回旋襞、包旋襞、覆尾襞、交互覆尾襞、交三覆尾襞、有旗襞、褶疊襞、回旋褶疊襞、皺縮襞。

【姿勢】 直立、開出、反曲、無柄、有爪、癒著、內曲。

【形狀】 (葉)ノ下ニ記セル  
モノニ通用スル。

【大小】 長、廣、厚。

花冠

【位置】 子房子生、子房下位、子房周圍生、子房上位、子房上生、子房上位。

【構造】 花瓣、瓣部、花爪、距、花冕。

【形狀】 『離瓣』 十字樣、薔薇樣、石竹樣。

百合樣、蝶形樣 一名蛾形樣、旗瓣、翼瓣、龍骨瓣、繭樣。

『合瓣』 輻形、皿形、鐘形、壺形、漏斗形、盆形、舌形、管形、唇形、兩唇形、兜形、張口形、欠形、假面形、有距、囊形、鼓張形、『邊緣ノ狀』 全邊、截形、有齒、三齒ノ、五齒ノ、…、淺裂、三淺裂、五淺裂、…、尖裂、三尖裂、五尖裂、…、深裂、三深裂、五深裂、…、全裂、三全裂、五全裂、…、不齊齒アル、不齊淺裂、不齊尖裂、不齊深裂。

【大小】 長、直徑。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

【生存】 (萼)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

花瓣

【員數】 (萼片)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

【位置】 (萼片)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

【形狀】 (葉)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

【大小】 長、廣、厚。

牌瓣

【位置】 花ノ前面、後面、傾上、開出、傾下、懸垂、有柄、無柄、他器トノ聯著。

【形狀】 囊形、靴形、鼓張形、籠形、有齒、有長毛、有突起、三裂、有距、有鬚、有斑點。

【大小】 長、廣、厚。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

花冕

【位置】 花冠上、花瓣上、子房上。

【形狀】 杯形、漏斗形、鐘形、邊緣ノ狀、五裂、僧帽形等。



【大小】 長、直徑。  
【特質】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

蜜槽

【位置】 花瓣上、萼筒上、萼片上、花床上。  
【形狀】 蜜點、蜜孔、蜜腺、硬點、獸角形、距形、振歪、杯形、平面、粒アル。

【大小】 徑、長。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

雄蕊

【員數】 定數、不定數、一數、二—三—四—五—多數、少數。

【位置】 互生(隣接ノ他器ト)、對生(同上)、外出(超出)、內在、嵌合、傾上、傾下、子房下生、子房周圍生、子房上生、花瓣上、雌蕊著生、單體、二體、三體、多體、聚葯。

【構造】 無花絲、無葯、二強(二長二短)、四強(四長二短)、感動ノ。

【大小】 長。

花絲

【形狀】 鬚形、絲形、鉞形、平扁、擴張、有齒、單齒アル、二齒アル、距アル、花瓣狀、有毛。

【大小】 長、直徑、廣。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。彈力アル。

葯

【位置】 底著、側著、丁字著、內向、外向、側向、傾下著。

【開裂】 縱裂、橫裂、孔裂、片裂。

【構成】 單胞、二胞、四胞、雙頭形、有芒、有嘴、葯胞ノ狀、葯隔ノ狀。

【形狀】 線形、長橢圓形、箭形、卵形、心臟形、腎臟形、(葉)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

【大小】 長、幅。

【形狀】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

花粉

【形狀】 球形、廣橢圓形、長橢圓形、有稜、有溝、多面體、等。

【大小】 直徑、長。

【特質】 平滑、多刺、有點、有帶、磚花形等、黃色、柑黃色、赤色、白色、藍紫色、等。

花粉塊

【員數】 單獨、一對。

【位置】 縱直、傾下、岐出、水平。

【構成】 無柄、有柄。

【形狀】 棍棒形、球形、橢圓形、平扁、等。

【大小】 徑、長。

【特質】 蠟質、粉質、等、色彩。

雌蕊

【員數】 一數、二—三—四—五—多數、少數。

【構成】 被子、裸子、一心皮生、複心配生。

花柱

【生存】 謝落、宿存、尾狀、羽毛アル、尾細毛アル尾。

【位置】 傾斜、直立、頂生、側生、底生。

【形狀】 棍棒形、絲形、鉞形、圓柱形、無毛、有毛。

【大小】 長、徑。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

柱頭

【位置】 頂生、側生無柄。

【員數】 一數、二—三—四—五—多數。

【形狀】 圓盤形、半球形、球形、頭形、絲形、線形、楯形、淺裂、花瓣狀、羽毛狀、星芒狀、放線狀、有嘴、僧帽形、扇形、膝曲。

【大小】 長、徑、幅。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

子房

【構成】 一心皮生、複心皮生、一室、二室、三室、四室、五室、等、有柄、上位、下位、半上位、隔離ノ狀、胞室ノ狀、室壁ノ狀。

【形狀】 卵形、倒卵形、長橢圓形、歪形、球形、圓錐形、圓柱形、淺裂、有溝、捻曲、壓扁、左右平扁、前後平扁、三稜、凸鏡形、有緣、紡錘形。

【大小】 長、徑。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

【胎座式】 側膜胎座、中軸胎座、特立中軸胎座、胎座ノ姿態。

卵子 今世間一般ニ稱スル胚珠デアアル。

【位置】 直立、傾上、傾下、直垂、水生。

【構成】 直生、倒生、半倒生、彎生、外皮、內皮、卵孔(珠孔)、卵柄(珠柄)、臍、合點、背脊、胚珠(所謂珠心)。

胚珠(所謂珠心)

【形狀】 (子房)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

【大小】 長、徑。

果實

【員數】 一心皮生、一數、二—三—四—五—多數、複心皮生ノ心皮數、二—

三—四—五多數、胞室數一—二—三—四—五—多數。

【開裂】 不開裂、殼片開裂(殼片ノ數二、三、五、十、等ヲ記スル)、胞間開裂、胞軸開裂、胞背開裂、孔竅開裂、胞周開裂。

【種類】 『不開裂果』(一種子一層果皮ノ果實) 瘦果、懸瘦果、下位瘦果、胞果、穎果、翅果、堅果、(一種子二乃至三層果皮ノ果實) 核果、聚核果、二皮核果、(二乃至多種子ノ多漿果、橙汁或ハ多肉ノ果實) 漿果、橙果、瓠果、檜果。

【開裂果】 (胞周開裂) 蓋果、(一心皮殼片開裂) 蓇葖、莢果、節莢、螺旋莢果、(二乃至多心皮ヨリ成ル殼片開裂ノ果實) 長角、短角、蒴果、彈分蒴果。

『一花序ヲ以テ成ル集成果實』 毬

果、肉質毬果(閉合毬果)、肉質集合果、外果皮、中果皮、內果皮。

【形狀】 (子房)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

【大小】 長、徑。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

【附屬器官】 花床、萼筒、苞、殼斗、總苞、花軸、尾。

種子

【員數】 少數、定數、多數、一數、二—三—四—五數、等。

【構成】 有胚乳、單子葉ノ、雙子葉ノ、直生、倒生、半倒生、彎生、胚珠(所謂珠心)、臍、合點、背脊。

【種皮】 外種皮、內種皮、密著(胚珠ト)、疎寬(同上)、細胞質。

【形狀】 (子房)ノ下ニ記セル

【大小】 長、徑。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セル

【附屬器官】 假種皮并ニ其色彩、臍阜

并ニ其ノ形狀 (形狀)ハ(葉)ノ下ニ記セル

小尾、種髮(全面、一端)、種柄、孔阜、翅翼。

胚乳

【大小】 胚ト比較 多量、極度ノ量ヲ示

ス、同量、少量、無胚乳。

【特質】 軟骨質、角質、粉質、肉質、油質、膠

質、錯道質、半透明質。

胚

【位置】 胚乳若シ之レハ位置 中軸生、底

在、離心、側在、周匝。

【形狀】 狹長、平扁、卵形、卵圓形、球形、真

直、彎曲、急曲、環形、盤曲、包旋、側倚、背

倚、包擁、背倚 側倚以下ノ三者ハ之ヲ

【大小】 胚乳若シ之レハ位置 細微、大形、

同大、等。

子葉

【員數】 無一個(單子葉)、二個(雙子葉)、三

乃至數個(多子葉)、四個。

【形狀】 肥厚、扁薄、葉狀、深波形、線形、卵

形、淺裂、半平半凸。

【大小】 種子ト比較 大形、細小、同大。

幼芽

【形狀】 葉狀、芽狀。

【大小】 顯著、不明。

胚軸

【位置】 上向、下向、內向、外向、亂向。

【形狀】 圓柱形、長橢圓形。

【大小】 子葉ト比較 長、短、同長。

幼根

【形狀】 銳頭、鈍頭、圓頭。

第二 大きく科用ノモノ

左ニ記シタル事項ノ他ハ、常用ノモノヲ通用スル。

頭狀花

【種類】 同性花、異性花、一家花 一性上ニ

花ト雌性頭狀花ト 二家花 一性上ニハ

ナ併有スルモノ 唯雌性頭狀

【形狀】 盤狀ノ、放線ノ、層放線ノ。

【大小】 直徑、長。

總苞

【種類】 單列、覆瓦列、葇樣。

【形狀】 卵形、廣橢圓形、圓錐形、陀螺形

(洋式獨樂形)、杯形、皿形、圓柱形、鐘形、

球形、圓底、鈍底、銳底、截底、凹底。

【大小】 直徑、長。

總苞片

【員數】 四數、五—十—多數、少數、不定

數。

【位置】 直立、密接、弛緩、彙狀。

【形狀】 卵形、線形、披針形、銳尖頭、刺尖

頭等 (葉)ノ下ニ記セル

【大小】 長、廣、厚。

【特質】 『織質』 草質、乾膜質、革質。

【色彩】 赤色、紅紫色、黃色、綠色、頭端

綠色、頭端紅紫色、白色 其他ハ(全相)ノ

用ノヲ通  
用スル。

花床一名花托

【形狀】 坦平、凸出、圓錐形、球形。

【大小】 直徑、長。

【特質】 裸出、蜂窠樣、穎狀苞アル、刺毛アル。

穎狀苞

【員數】 少數、多數。

【位置】 直立、花ヲ包擁セル。

【形狀】 (葉)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

【大小】 長、幅。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

舌狀花

【員數】 五數、十—二十—多數、等、一列、

二列、數列

【種類】 兩性花、雄花、雌花、中性花、登花、

不登花。

【形狀】 (花)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。 舌狀、管狀、線

形、舌狀部、長橢圓形、卵形、三齒、五齒、四齒、花冠筒部ノ狀。

【大小】 長、幅。

【特質】 白色、黃色、茶褐色、赤色、紅紫色、藍色、等。

管狀花

【員數】 五數、十—二十—多數、少數。

【種類】 兩性花、雄花、雌花、登花、不登花。

【形狀】 (花)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。 管狀、唇形、四

齒、五齒、花冠筒部ノ狀。

【大小】 長、直徑。

【特質】 (舌狀花)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

冠毛

【生存】 謝落、宿存。

【員數】 二數、五—八—多數、寡少、衆多。

【構成】 同貌、兩貌、有柄。

【形狀】 鬚髮狀、刺狀、羽毛狀、細刺尖アル、鱗狀、芒狀。

【大小】 長、太サ。

【特質】 白色、黃褐色、紫褐色。

花絲

【形狀】 絲狀、眞直、屈曲。

【大小】 長。

【特質】 無毛、平滑、有毛。

聚成葯一名聚葯

【構成】 葯胞、葯胞ノ首尾、葯隔頭。

【大小】 太サ。

【形狀】 圓柱形、長橢圓狀、圓柱形。

【特質】 (舌狀花)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

花柱

【大小】 長、太サ。

【本部形狀】 絲狀、圓柱形。

【本部特質】 有毛、無毛、平滑。

花柱枝

【員數】 二。

【位置】 眞直、內曲、外曲、平開、半開、密接。

【形狀】 圓柱頭、平扁、線形、截形、鉞形、橢

圓形、卵形、鈍頭、銳頭、銳尖頭。

【大小】 長、并ニ幅(舌狀花ノモノ、并ニ

管狀花ノモノ)。

【特質】 硬毛アル、細軟毛アル、乳頭毛ノ線條アル、全面ニ乳頭毛アル、緣

第三 かやつりぐさ科

用ノモノ

左ニ記シタル事項ノ他ハ、常用ノモノヲ通用スル。

稈 常用(葉)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

葉 常用(葉)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。或ハ圓柱形、有隙、無隙。

葉鞘

【形状】 圓柱形、三稜形、截縁口、鈍縁口、圓縁口。

【大小】 長、徑。

【特質】 常用(葉柄)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

花序

【位置】 常用(花序)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

【種類即チ型式】 常用(花序)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

毛アル、頭端ニ縁毛アル、無毛。

柱頭

【位置】 頭末離在、頭末逢著、隔在、接在。

花盤

【形状】 杯形、環形、筒形。

【大小】 長。

瘦果 (即チ下位瘦果)

【形状】 線形、圓柱形、有稜、左右平扁、前後平扁、縱起線アル。

【大小】 長、廣、徑。

【特質】 (全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

胚

【形状】 線形、圓柱形、長橢圓形、等。

【大小】 長。

【大小】 長、直徑。

【附屬器官】 圓錐花穗ノ枝ガ一節上ニ三數、五數、等、圓錐花穗ノ枝ノ互生。

小穗

【員數】 少數、一―二―三―七數等。

【種類】 全部兩性花、全部雌花、全部雄花、一家花、二家花。

【形状】 平扁、圓柱形、卵圓形、卵形、球形、長橢圓形、披針形、圓錐形。

【大小】 長、幅、徑。

【特質】 綠色、褐色、黃褐色、白色、鐵銹色、栗殼色、等。

小軸

【形状】 細長、粗大。

【大小】 長。

【特質】 平滑、有翼、細截痕アル、之字曲。

花

【員數】 花穗或ハ一小穗ニ有スル花數。

【種類】 兩性花、雌花、雄花、登花、不登花、上部ハ登花、中部ハ登花、下部ハ登花。

【構成】 刺狀體(變形セル)アルカ、鱗片體(上)アルカ。

【大小】 長、廣。

穎

【員數】 一、二、三、無シ。

【位置】 覆尾狀、弛緩、離在、二列、三列、數列、開出、斜上、反曲、自立、穗軸ニ癒著。

【形状】 卵形、披針形、長橢圓形、廣橢圓

形等、二裂、三裂、全邊、背脊アル。  
【大小】 穎ト穎トノ比較長、他器トノ比較長。

【特質】 常用(全相)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。

【位置】 斜上、開出、密在、疎在。

【形狀】 常用(子房)ノ下ニ記セ有嘴嘴ノ  
ルモノヲ通用スル。有嘴嘴ノ  
狀、嘴口ノ狀。

【大小】 長、徑、鱗狀小苞トノ比較長、

【特質】 常用(全相)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。

花蓋(變形セル)

【員數】 六數、三—多數。

【位置】 子房下生。

【形狀】 絲狀、毛狀、鬚狀、刺狀、鱗片狀、真  
直、屈曲。

【大小】 長、瘦果トノ比較長、超出。  
【特質】 色彩、平滑、逆刺尖アル、上向刺  
尖アル、緣毛アル。

雄藥

【個數】 一數、二—三—四—五—六—  
八數、十二數。

【位置】 常用(雄藥)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。

【大小】 長。

藥

【位置】 底著。

【開裂】 縱裂。

【構成】 二胞、藥胞ノ狀、藥隔ノ頭末ノ  
狀。

【形狀】 常用(藥)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。

【大小】 長、廣。

【特質】 常用(全相)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。

花柱

【大小】 長。

【本部形狀】 絲狀、基部放大。

【本部特質】 平滑、有毛。

花柱枝

【員數】 二、三。

【位置】 眞直、彎曲。

【形狀】 絲狀。

【大小】 長、花柱本部トノ比較長。

【特質】 無毛、有毛、乳頭嘴多キ。

瘦果

【形狀】 三稜形、凸鏡形、卵形、倒卵形、長  
橢圓形。

【大小】 長、徑、幅。

【特質】 平滑、光澤、有點、粒面、方眼格子  
狀面等、色彩。

【附屬器】 瘤嘴、乳頭狀突起、殼斗狀器。

### 第三 禾本科用ノモノ

左ニ記シタル事項ノ他ハ、常用ノモ  
ノヲ通用スル。

稈 常用(莖)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。

葉 常用(葉)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。

葉鞘

【形狀】 圓柱形、平扁柱形、緣毛口。

【大小】 長、徑。

【特質】 常用(葉柄)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。

小舌

【形狀】 卵形、長橢圓形、半圓形、弦月形、

鈍頭、銳頭、全邊、二裂、多裂、齒緣、毛緣。

【大小】長、廣。

【特質】膜質、革質、無毛、有毛。

花序

【位置】常用(花序)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。

【種類即チ型式】常用(花序)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。

【大小】長、直徑。

【附屬器官】圓錐穗ノ枝ガ一節上ニ  
三數、五數等、圓錐花穗ノ枝ノ互生。

小穗 一名 蠶花

【員數】少數、多數、一—二—三—七數、  
等。

【種類】全部兩性花、全部雌花、全部雄  
花、一家花、二家花。

【形狀】平扁、圓柱形、卵圓形、卵形、球形、

長橢圓形、披針形、圓錐形。

【大小】長、幅、徑。

【特質】綠色、綠褐色、帶紫色、等。

小軸

【形狀】細長、粗大、節ノ狀、節間ノ狀。

【構成】超出。

【大小】長。

【特癥】平滑、糙澁、之字曲、有細毛、有長  
毛。

花

【員數】一小穗ニ有スル花數。

【種類】兩性花、雌花、雄花、不登花、上部  
ハ登花、中部ハ登花、下部ハ登花。

【大小】長、廣。

穎

【特質】平滑、無毛、粗糙、小尖刺アル、綠  
毛アル、絹毛アル、細軟毛アル、綠色、  
褐色、暗色、白色、透明、洋紙質、革質、膜  
質、乾膜質、有脈、無脈、有脊稜、有芒。

【位置】外稃上、內稃上、穎上、不發育ノ、  
背生、頂生。

【形狀】刺毛狀、鬚髮狀、蜘蛛絲狀、回振曲  
縮。

【大小】穎トノ比較長、稃トノ比較長、

【特質】平滑、糙澁、細毛アル、羽毛狀、  
不育花

【員數】一、二、數個。

【種類】中性花、雄花。

【形狀】一小梗ノミノ、一稃ノミノ、一

【員數】一、二、三、無シ。

【位置】覆尾狀、弛緩、離在、二列生。

【形狀】卵形、披針形、長橢圓形、廣橢圓  
形、等、鈍頭、銳頭、銳尖頭、小刺尖頭、二  
裂、三裂、全邊、背脊アル。

【大小】穎トノ比較長、他器トノ  
比較長。

【特質】常用(全相)ノ下ニ記セ  
ルモノヲ通用スル。有芒。

【員數】二、三。

【位置】直立、反曲。

【種類】外稃、內稃。

【形狀】(穎)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

【大小】長、廣、外稃トノ比較長、  
穎トノ比較長。

【形狀】(穎)ノ下ニ記セル  
モノヲ通用スル。

【種類】外稃、內稃。

【大小】長、廣、外稃トノ比較長、  
穎トノ比較長。

芒ノミノ。

【大小】 長。

【特質】 縁毛アル、刺毛アル、毛茸アル、糙澁ノ、平滑ノ、無毛ノ。

鱗被

【員數】 二、三、一。

【形狀】 三角形、扇形、卵形、歪形、杯形、等。

【大小】 長、廣。

【特質】 縁毛アル、肥厚、菲薄、透明、齒縁。

雄藥

【員數】 一數、二—三數、六數。

【位置】 常用(雄藥)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

【大小】 長。

葯

【位置】 丁字著。

【開裂】 縦裂。

【構成】 二胞、藥胞ノ狀。

【形狀】 常用(葯)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

【大小】 長、廣。

【特質】 常用(全相)ノ下ニ記セルモノヲ通用スル。

花柱

【員數】 二、三。

【形狀】 絲狀。

【大小】 長、子房トノ比較長。

【特質】 分立、下部合一、單一、羽毛狀、筆毛狀、糙澁。

穎果

【形狀】 廣橢圓形、橢圓形、長橢圓形、球形、紡錘形、線形、卵形、圓柱形、平扁等。

【大小】 長、廣、徑。

植物記載ト植物確認

植物記載ト術語ノ要求

植物記載ハ術語ヲ知ル捷徑

【特質】 平滑、光澤、有毛、有溝、色彩。

羊齒類ナドノ記載用紙ハ、更ニ別ニ公ニスル積リテアル。

植物ノ種類ヲ研究スルコトヲ専門トシテ居ル人ハ別トシテ、植物ノ記載ハ誠ニ面倒デ、且ツ興味ノナイモノデアアル。故ニ人々ガ進ンデ斯様ナ仕事ヲシナイノモ無理ハナイ。併シ植物ヲ記載スル事ニ就テ得ル所ハ、其ノ記載セラル、植物ノ形態、構造ニ深く通曉シ得ラル、コトデアツテ、精シク其ノ形態、構造ニ通曉セバ、確ト能ク其ノ植物ヲ覺エ込ムコトガ出來、從テ其ノ植物ノ分類上ノ位置モ十分ニ識得セラル、ノデアアル。又此ノ仕事ニ從事シツ、アル間ニ、之ニ使用スル多數ノ植物學上ノ術語ト、其ノ意味トガ分ル様ニナルカラ、植物ノ記載ヲ行フコトハ、一面此ノ如キ術語ニ通ズル捷徑デアアル。此ノ術語ニ通ジナケレバ、決シテ能ク植物ヲ記スルコトガ出來ヌ。之ニ通ジテ後、始メテ植物ヲ記載シテ發表シ得ベキ資格ガ出來ルノデアアル。術語ヲ能ク知ラズシテ行ヒタル植物ノ記載文ハ、世ノ役ニ立タヌコトガ多イ。今日坊間ニ出版セラレタル種ノ書ニハ、此ノ闕典アル行文ヲ見ルコトガ常デアアルガ、是ハ必竟其ノ書ノ著者ガ、術語ノ知識ニ乏シイカラデアアル。故ニ記載セラレ居ル其ノ植物ノ形態、構造ガ十分ニ發



初學者ノ記載

揮サレテ居ナイモノガ多イ。前ニ掲ゲタル記載用紙ハ、初學者ノ用フルモノデアラカラ、一々其ノ記載スベキ事項ガ提記サレテアルガ、段々其ノ業ガ進ンダ後ニハ、此ノ如キ方式ニ據ラズシテ順々ニ記事ヲ進ムルノデアアル。即チ此ノ如キ罫紙ニ記入スルコトナクシテ、白紙ノ上ニ順序ヲ追テ記載スルノデアアル。植物ヲ記載スル専門學者ガ日常ノ行リ方ハ、此ノ乙ノ方法デアアル。

専門學者ノ記載

植物ヲ一ツ一ツ獨立ニ記載スル時ニハ、其ノ植物體ガ表ハシテ居ル事項、即チ標徴ハ漏レナク記載セネバナラス譯デアアル。其ノ精粗ハ記載者其ノ人ニヨリテ一様デハナイガ、粗ナルモノヨリ精密ナルモノガ良イ事ハ、誰モ首肯スル所デアロウ。前ニモ略言セシ如ク、中ニハ頭腦ノ單純ナル人ハ、痛ク精密ナル記事ヲ作ル事ヲ嫌フヨウデアアルガ、此ノ如キ人ハ數世紀モ前ノ昔的ノ人デ、向上進歩、精ハ益々精ニ入ル今日ニハ適シテ居ナイ。併シ精密ト言ウタ所デ、際限モナク精密ニスルニハ及バス(ルケレバ出來)カラ、著者ハ今其ノ記事(文字ニテ書キシ記載文)ヲ讀ミ、夫ニヨリテ、先ヅザツト圖ヲ拵ヘルコトガ出來得ル位ノ程度ニハシテ置キタイモノデアルト思フ。又其ノ記載文ハ、其ノ植物ノ四方八方ニ表顯セル事

記載ハ精ヲ要シ粗ヲ斥ク

植物體表示ノ無視

項、即チ標徴ヲ漏レナク收録シタルモノデナケレバナラヌト思フ。假令バ葉ヲ記スルニシテモ、表面ヲ記シテ裏面ヲ遺スガ如キハ、完全ナル方法トハ言ヘス。必竟中デ漏レタモノ、無イ様ニ記載スルノガ最モ肝要デアアル。

植物ガ精シク記載シ得ラル、所ヲ以テ見レバ、其ノ植物ハ其ノ記載ニ上ルベキ種々ノ事項(標徴)ヲ自體ノ表面ニ表示シテ居ル證據デアツテ、記載ハ其ノ植物體上ノ自然ノ表示ヲ寫スノデアアルカラ、其ノ表示サレテ居ルダケノ事ハ記載シ得ラル、譯デアアル。粗略ニ記載スル人(特ニ制限スベキ必要ノアルトキハ別トシテ)ハ、此ノ植物體上ノ表示ヲ過眼視シテ居ルノデ、換言スレバ其ノ表示ヲ無視シテ居ルノデアアル。

完全ナル記載方式

植物ヲ記載スルニ、始メ其ノ植物ノ同屬中、若クハ類似セル隣ノ品種ト別ツベキ至要緊切ノ特別特徴ヲ提記シ Diagnosis トシテ一段ヲ了ヘ、次ニ委曲其ノ植物ノ一切ノ標徴ヲ記載シ Description トシテ亦一段トスルコトガアル。此レハ誠ニ完全善良ナル方法デアツテ、歐米ノ書ニハ時々此ノ如キ方式ヲ見ルノデアアル。

記載省略ノ許容

多クノ植物ヲ科ニ綜ベ、屬ニ率キテ、一場處ニ記載文ヲ排列シ、夫等ノ植物ヲ整理スルトキハ、科ノ下デハ科タル標徴ニ屬シ居ルモノ、屬ノ下デハ屬タル標徴ニ屬シ居ルモノハ、其ノ種ノ記載文中ニハ之ヲ省キ置ク事ガ例トナツテ居ル。コ

レハ其ノ様ニスルガ當然デアアル。併シ或ル植物ヲ獨立ニ記載スル場合ニ、此ノ様ナ仕方ハ宜シク避クベキモノデアアル。科タルベキ標徴、若クハ屬タルベキ標徴ハ原ト皆一個一個獨立ニ記載セラレタル植物ノ標徴ヲ精査シ、其ノ異同ノ點ヲ稽ガヘ、之ヲ歸納シテ定メシモノデアアルカラ、其ノ歸納用ニ供セラレ得ベキ植物ノ記載ハ、是非トモ各部ヲ遺漏ナク録シテ置カネバナラスコトハ自ラ明カデアアル。殊ニ新種ノ植物ヲ記載スル場合ニ最モ然ル所以ヲ見ルノデアアル。但シ既知ノ普通植物ヲ記載スルトキニハ、此ノ様ニ嚴格ニシナクトモ、其ノ間多少ノ手加減ヲ加ヘテモ宜シイノデアアル。

### 第二項 植物記載用紙

今左ニ年來ノ經驗ニヨリ、最モ適當ナリト信ズル記載用紙ノ實例ヲ掲ゲル。

植物記載用紙ノ實例

用普通 植物記載用紙 (常用) (記者)						
名稱						
和名						
學名						
(所屬綜類)						
(科名)						
全相	根	莖	葉	花序	花	萼

植物記載用紙

種	果	子	柱	雌	葯	雄	花	花	萼
子	實	房	頭	藥		藥	瓣	冠	片

記載原品ノ状態  
(生鮮品)  
(乾腊品)  
(アルコール漬品)  
(フオルマリン漬品)

備考  
(生育地)  
(採集地名)  
(採集時)  
(花候)

普通植物記載用紙 (きく科用) (記者)

全	莖	葉	葉	花	頭	總	總
相		柄	序	花	狀	苞	苞

名稱  
和名  
學名  
(所屬綜類)  
(科名)

餘備考	記載原品ノ状態 (生鮮品) (乾燥品)	胚	瘦果	花盤	花柱枝	聚成葯	冠毛	管狀花	舌狀花	穎狀苞	花床
		(アルコホル液品) (フオルマリン液品)									
(生育地) (採集地名) (採集時)											
(花候)											

普通 植物記載用紙 (かやつりぐさ科用) (記者)

名稱 和名

學名

(所屬綜類)  
(科名)

全相	根	稈	葉	葉鞘	花序	苞	小穗

花	穎	花蓋	雄藥	葯	花柱	瘦果	種子	記載原品ノ状態	備考	除録
								(生鮮品) (乾腊品)	(アルコホル漬品) (フオルマリン漬品)	(生育地) (採集地名) (採集時)
										(花候)

普通植物記載用紙(禾本科用) (記者)

全相	根	稈	葉鞘	葉	小舌	花序	小穗	花

名稱  
和名  
學名  
(所屬綜類)  
(科名)

花	花	托	葉	葉	莖	根	全	<p>全普通式用 植物記載用紙 (常用) (記者)</p> <p>名稱</p> <p>和名</p> <p>學名</p> <p>(所屬綜類)</p> <p>(科名)</p>
序	葉	柄				相		

<p>餘備考</p> <p>(生育地)</p> <p>(採集地名)</p> <p>(採集時)</p> <p>(花候)</p>	<p>記載原品ノ状態</p> <p>(生鮮品)</p> <p>(乾腊品)</p> <p>(アルコール漬品)</p> <p>(フォルマリン漬品)</p>	種子	穎果	花柱	葯	雄蕊	鱗被	不育花	芒	籽	穎

備考	記載原品ノ状態	花柱	柱頭	子房	卵	果實	種子	胚乳	胚	子葉	幼芽	胚軸	幼根
	(生鮮品) (乾脂品)												
	(アルコール漬品) (フオルマリン漬品)												

雌藥	花粉塊	花粉	葯	花絲	雄藥	蜜槽	花冕	牌瓣	花瓣	花冠	萼片	萼	花盤	花床

(生育地)  
(採集地名)  
(採集時)

(花候)

用詳記 植物記載用紙 (常用)

(記者)

名稱

和名

學名

(所屬綜類)  
(科名)

全相

(生存)  
(習性)  
(生處)  
(大小)  
(特質)

葉					莖							根		
(大小)	(形狀)	(構成)	(位置)	(生存)	(特質)	(大小)	(形狀)	(種類)	(習性)	(構成)	(生存)	(特質)	(大小)	(種類)



花				序花			葉托			柄葉					
(大 小)	(構 成)	(種 類)	(根 數)	(附 屬 器 官)	(特 質)	(種 類 即 型 式)	(位 置)	(特 質)	(形 狀)	(種 類)	(生 存)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(特 質)

片萼				萼						盤花			床花	
(大 小)	(形 狀)	(位 置)	(員 數)	(生 存)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(構 成)	(位 置)	(特 質)	(形 狀)	(位 置)	(大 小)	(形 狀)

絲花			藥雄				槽蜜				冕花			
(位)	(特)	(大)	(形)	(大)	(構)	(位)	(員)	(特)	(大)	(形)	(位)	(特)	(大)	(形)
置)	質)	小)	狀)	小)	成)	置)	數)	質)	小)	狀)	置)	質)	小)	狀)

瓣牌				瓣花				冠花						
(位)	(特)	(大)	(形)	(位)	(大)	(形)	(位)	(員)	(生)	(特)	(大)	(形)	(構)	(位)
置)	質)	小)	狀)	置)	小)	狀)	置)	數)	存)	質)	小)	狀)	成)	置)

房子				柱頭					花柱					藥
(特)	(大)	(形)	(構)	(特)	(大)	(形)	(員)	(位)	(特)	(大)	(形)	(位)	(生)	(構)
質)	小)	狀)	成)	質)	小)	狀)	數)	置)	質)	小)	狀)	置)	存)	成)

雌	塊粉花						粉花			蒴				
(員)	(特)	(大)	(形)	(構)	(位)	(員)	(特)	(大)	(形)	(特)	(大)	(形)	(構)	(開)
數)	質)	小)	狀)	成)	置)	數)	質)	小)	狀)	質)	小)	狀)	成)	裂)

胚		芽幼		葉子			胚			乳胚		子		
(形 狀)	(位 置)	(大 小)	(形 狀)	(大 小)	(形 狀)	(員 數)	(大 小)	(形 狀)	(位 置)	(特 質)	(大 小)	(附 屬 器 官)	(特 質)	(大 小)

植物記載用紙

九三

種		實 果							子 卵					
(形 狀)	(構 成)	(員 數)	(附 屬 器 官)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(種 類)	(開 裂)	(員 數)	(大 小)	(形 狀)	(構 成)	(位 置)	(胎 座)

植物記載學後篇

九二

軸	(大 小)	幼 根	記載原品ノ状態 (生鮮品) (乾腊品)	備考 (アルコホル漬品) (フオルマリン漬品)	餘 録	用詳記 植物記載用紙 (きく科用) (記者)	名 稱 和名 學名 (所屬綜類) (科名)
	(形 狀)						

葉	莖	根	相	全	(生 存)	(習 性)	(生 處)	(大 小)	(特 質)	(種 類)	(特 質)	(生 存)	(習 性)	(種 類)	(形 狀)	(特 質)	(生 存)	(位 置)	(構 成)

舌		苞狀穎					床花			片苞總				
(種類)	(員數)	(特質)	(大小)	(形狀)	(位置)	(員數)	(特質)	(大小)	(形狀)	(特質)	(大小)	(形狀)	(位置)	(員數)

苞總			花狀頭			序花			柄葉					
(大小)	(形狀)	(種類)	(大小)	(形狀)	(種類)	(附屬器官)	(種類即型式)	(位置)	(特質)	(大小)	(形狀)	(特質)	(大小)	(形狀)

柱	枝 柱 花					柱 花			藥 成 聚				絲	
	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(位 置)	(員 數)	(本 部 特 質)	(本 部 形 狀)	(大 小)	(特 質)	(形 狀)	(大 小)	(構 成)	(特 質)	(大 小)

花	毛 冠						花 狀 管					花 狀			
	(形 狀)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(構 成)	(員 數)	(生 存)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(種 類)	(員 數)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)

頭	花盤		瘦果		胚	記載原品ノ状態 (生鮮品) (乾腊品)	備考 餘録
	(形)	(大)	(形)	(大)			
	(狀)	(小)	(狀)	(小)	(狀)	(小)	
							(生育地) (採集地名) (採集時)
							(花候)
						(アルコホル液品) (フオルマリン液品)	

用詳記 植物記載用紙 (かやつりぐさ科用) (記者)

名

稱

和名

學名

(所屬綜類)  
(科名)

全		相		根		習性	生存	習性
(習)	(生)	(習)	(生)	(特)	(種)			
(性)	(存)	(性)	(處)	(質)	(類)	(質)	(類)	(性)



花				穗 小				苞				序		
(大 小)	(構 成)	(種 類)	(員 數)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(種 類)	(員 數)	(大 小)	(形 狀)	(種 類)	(員 數)	(附屬器官)	(大 小)

花	鞘 葉			葉						稈				
(種類 子型式)	(位 置)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(構 成)	(位 置)	(生 存)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(種 類)

花	柱花			葯					絲花		藥				
	(位置)	(員數)	(本部特質)	(本部形狀)	(大小)	(特質)	(大小)	(形狀)	(構成)	(開裂)	(位置)	(長短)	(形狀)	(大小)	(位置)

雄	蓋花					壺果				穎					
	(員數)	(特質)	(大小)	(形狀)	(位置)	(員數)	(特質)	(大小)	(形狀)	(位置)	(特質)	(大小)	(形狀)	(位置)	(員數)

餘 備 錄 考	記載原品ノ状態 (生鮮品) (乾腊品)  (アルコール漬品) (フォルマリン漬品)	子 種			果 瘦			枝 柱		
		(大 小)	(形 狀)	(構 成)	(附 屬 器 官)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(特 質)	(大 小)

用詳記 植物記載用紙 (禾本科用) (記者)

全 相					名 稱 和名 學名  (所屬綜類) (科名)	用詳記 植物記載用紙 (禾本科用) (記者)	(生育地) (採集地名) (採集時)	(花候)
(特 質)	(大 小)	(生 狀)	(習 性)	(生 存)				

	穗 小					序 花			舌 小			鞘			
	(形 狀)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(種 類)	(員 數)	(附 屬 器 官)	(大 小)	(種 類 即 型 式)	(位 置)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(特 質)	(大 小)

	葉						稈					根			
	(形 狀)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(構 成)	(位 置)	(生 存)	(特 質)	(大 小)	(形 狀)	(種 類)	(習 性)	(生 存)	(特 質)	(種 類)

被鱗				不育花					芒					
(特質)	(大小)	(形狀)	(員數)	(特質)	(大小)	(形狀)	(種類)	(員數)	(特質)	(大小)	(形狀)	(位置)	(特質)	(大小)

稃				穎					花			小軸		
(形狀)	(種類)	(位置)	(員數)	(特質)	(大小)	(形狀)	(位置)	(員數)	(大小)	(種類)	(員數)	(特質)	(大小)	(構成)



### 第三章 植物記載學用語ノ一斑

#### 第一節 植物記載學術語彙

植物記載學ノ術語彙

我國ニ於テハ、植物記載學ト稱スル一科ハ、未ダ獨立シテ居ラヌ。隨ツテ夫ニ關スル用語、若クハ術語等ノ一定シタモノハナイ。著者ハ本書ヲ公ニスルニ際シテ左ノ如ク思ツタコトモアル。夫ハ本草學時代ヨリシテ現代ニ至ルマデ植物ニ關シテ一種ノ術語ト見做サル、モノヲ蒐集シ、支那和蘭英米獨佛等ノ語ヨリ出デタルモノハ、一々其ノ原語ヲ記シ、夫ニ對スル和譯ハ時代ト書名トヲ註シテ歷史的ノ語彙ヲ編シ、斯クシテ術語ノ使用ハ、各個人ノ自由選擇ニ任セ、自然ノ發達ニ伴ツテ術語ノ淘汰ガ行ハル、様ニシタナラバ、大ニ宜シカラウト。然カシ未ダ其ノ機會ニ到達シ得ヌノヲ遺憾トスル。

#### 第二節 普通術語略解

普通術語ノ略解

然レドモ茲ニ普通ノ術語ニ就イテ略解ヲ附シ、アイウエオ順ニヨリテ排列ス

ルコトヲ試ミタ。是レ固ヨリ完全ナル術語彙トシテ添ヘタノデハナイ。併シ普通ノ術語ハ大抵コレデ知ルコトガ出來ヤウト思フ。之ニヨリテ術語トハ如何ナルモノカ。又如何ナルモノニ如何ナル術語ガ定メラレテ居ルカヲ知ルベク、其ノ一般ヲ窺フコトガ出來ルデアロウ。

#### ア

亞灌木ノ (Suffruticose) 矮生ニシテ其ノ下部灌木質ノモノ。  
亞喬木ノ (Arborescent) 喬木狀ニシテ喬木ヨリ低小ナルモノ。  
亞高山ノ (Alpestrine) 山地植物分布上ノ所謂灌木帶附近ニ好ミテ生ズル植物體ノ一習性ヲ示ス術語。稍々高山植物ノ習性ニ似テ少シク溫和ナルヲ好ム。  
壓伏ノ (Appressed) 植物體ニ毛狀物ノ生シ居ル場合ニ、其ノ毛狀物が恰モ壓伏サレ居ル如キ狀ヲ呈スルモノヲ表示ス。「壓伏サレタ様ナ」ト云フ具合ニ使用サル。例ヘバ「きぬやなぎ」ノ葉裏ニ於ケル絹絲狀毛ノ著

生狀態ノ如キモノ。又密接ノ、ナル意味アリ、「み」ノ處ヲ見ヨ。  
壓扁ノ (Depressed) 上ヨリ壓付ケテ平扁ニナリタル形狀ノモノ。

#### イ

一數ノ (Monomerous) 一ノ數ノモノ。  
一對ノ (In pair) 二個アリテ一對ヲナセルモノ。  
一列ノ (Uniserial) 花器ナドノ一列ニ並マルコト。  
一齒アル (Unidentate) 一ノ齒ノアルモノ。  
一家ノ (雌雄同株ノ) (Monocious) 雌花ト雄花トチ一個體ニ併セ有スルモノ。キ

うリ、たうなす、くり、まつ、すぎ等ハ其ノ著例ナリ。  
一數花 (Monomerous flower) 花器皆各々一ノ數ヨリ成リタル花。  
一輪花 (Monochlamydeous flower) 萼アリテ花冠ナキ花、一ニ單被花ト稱ス。  
一雄藥ノ (Monandrous) かんな、めうが及ビみづはこへ等ノ花ノ如ク、雄藥ハ一花中只一個ノミ存在スルモノヲ云フ。リンドル氏廿四綱分類法ニハ之ヲ第一綱ノモノトセリ。  
一雌藥ノ (Monogynous) 一個ノ雌藥ノモノ。  
一心皮生雌藥 (Simple pistil) 一個ノ心皮ヨリ成リタル雌藥。  
一心皮生子房 (Simple ovary) 一心皮

ヨリ成リタル子房。  
**一種子果實 (One-seeded fruit)** 一種子アル果實。  
**一層皮果實 (One-coated fruit)** 果皮ノ織質全部一樣ナル果實。  
**一日生ノ (Ephemeral)** すべりびゆ、まづばにんじん等ノ花瓣ノ如ク、僅カ一日ノ壽命ヲ有スルモノヲ云フ。  
**一年生ノ (Annual)** 植物本體ガ一年間ヨリ生存セザルモノヲ云フ。個體的ニハ年々枯凋シテ新個體ガ世ヲ嗣グモノ、又植物體ノ或ル器官ニモ此ノ語ヲ用ユ。即チ落葉樹ノ葉ノ如キ又しやくやく、きく等ノ地上莖ノ如キ又一年草本ノ根ノ如キ何レモ一年生ナリ。  
**一年生草本 (Annual herb)** 一年間ニ植物體ノ世代輪番ガ完全ニ遂行サレ、而モ個體的ニハ其ノ植物體ガ枯凋シ年々新シキ植物體ガ生ズル草本ヲ云フ。  
**一稔多年生 (Monocarpic perennial)** リうぜつらん等ノ如ク多年間其ノ生育ヲ營ミ居レドモ、一回花ヲ著ケテ果實ヲ成熟セシムレバ夫レ限リ枯凋スル性質ヲイフ。是レ世代輪番ト個體トノ關係ヨリ見ル時ハ一年

生植物ノ性質ヲ有スルモノト解スルヲ得ベキモノナリ。  
**一縱溝アル (Canaliculate)** 一條ノ縱溝路アルモノ。  
**彙狀ノ (Squarrose)** 開出セル多クノ斗出片アルモノ。  
**一雙 (Twin = Geminate)** 同形同體ノモノハ固ヨリ夫レ自身一個ヨリ外ニ無キコト勿論ナルモ最モ酷似シタル二個ガ相隣接シテ存在スル場合ニ此ノ語ヲ用ユ。そらまめ下部ノ葉ノ小葉、たうごぎノ果實ニアル嘴狀物等ハ何レモ一雙ヲナス。  
**一螺旋 (Cyclic)** 一點ヲ出發シテ進行ヲ續ケテ三元ノ出發點ト同緯度ノ處ニ到着スル如キ行路ヲ一回辿ルト云フ。葉序ヲ花葉輪等ニ於ケル員數ヲ算スル標準度トシテ之ヲ用ユ。是ニ一螺旋二葉 (1/2)、一螺旋三葉 (1/3)、二螺旋五葉 (2/5)、三螺旋八葉 (3/8)、五螺旋十三葉 (5/13) 等アリ。  
**異性花 (Dichinous flower)** 雌葉ノミ發達セル花ト雄葉ノミ發達セル花ト別々ナルモノヲ云フ。ぼうぶら、たうなす、きりり等ノ花ハ即チ其ノ著例ナリ。  
**異性花ノ (Heterogamous)** ふめな、しゆ

んぎく等ニ於ケル如ク兩性小花ト雌性小花トナ頭狀花中ニ有スル如ク、一頭狀花中ニ異性ノ一小花ヲ併セ有スルモノヲ云フ。又たかとうだい、なつとうだい等ノ壺狀花ニ於ケル如ク、一頭ニ雄花ト雌花トナ有スルモノヲモ斯ク呼ブ。  
**異種交精 (Cross fertilization)** 自家受精ニ對スル語。一植物體ハ他植物體ヨリ雄精ヲ受ケテ有性生殖作用ヲ營ミ、又自己ノ雄精ヲ他植物體ニ與ヘテ、彼ニ有性生殖作用ヲ營マシムルコト。又他花受精若シクハ異花受精ト云フ。  
**隱花植物 (Cryptogamia)** 明白ニ識別スベキ花ナキモノヲイフ。コハ花ノ意義ニヨリ一定セザレドモ、在來ハした類、ひかげのかづら類、みづにら類、こげ類、きのこ類、うみくさ類等ノ種類ニ於ケル如ク一般ニ花トシテ知ラレタルモノヲ生セザル植物ヲ云フ。  
**羽片 (Pinna)** 羽狀ヲナセル葉ノ第一ノ分片ヲ云フ。單羽狀ノモノニテモ再羽狀ノモノ

ノニテモ同様ナリ。再羽狀ノモノニテハ其ノ羽片ハ再ビ羽狀ヲナス。三羽狀ノモノニテモ其ノ第一ノモノハ同ジク羽片ナリ。分裂ノ如何ニ關係セズ。  
**羽狀ノ (Pinnate)** 複葉ノ一種ニシテ小葉ガ一中軸ノ兩側ニ羽狀ニ著生スルモノ、小葉ハ通常對生シ兩側ノ數相同ジ。若シ頂端ニ一小葉ヲ著クレバ奇數羽狀トナリ、頂端ガ相對スル二小葉ニテ終レバ偶數羽狀トナル。  
**羽狀脈ノ (Pinniveins)** 葉脈ノ一種ニシテ、一條ノ中脈アリテ大レヨリ側生脈ガ恰モ鳥ノ羽ノ狀態ニ於ケル如ク出ヅルモノ。側生脈ヨリハ又小側生脈出ヅルヲ常トス。ばせな、だんどく等ノ葉ハ最モ明白ナル羽狀脈ヲ有ス。さくら、もも等ノ葉モ主脈ハ羽狀ヲ呈セリ。  
**羽毛狀ノ (Plumous)** 鳥ノ羽毛ノ如キ形ヲナスモノ。  
**羽毛狀柱頭 (Plumous stigma)** 禾本科植物ニ多ク見ル如ク柱頭ガ羽毛狀ヲ呈スルモノ。  
**羽毛アル尾 (Tail feathery)** 羽毛狀ヲナセル尾。

**羽狀尖裂ノ (Pinnatifid)** けし、たんぼぼ等ノ葉ニ於ケル如ク、葉片ガ羽狀ニ分裂シ其ノ裂峰ハ中脈ト葉緣トノ中央邊ニ達スルモノ。  
**羽狀全裂ノ (Pinnatisect)** 全ク中脈イデ羽狀ニ分裂セルモノ。  
**羽狀深裂ノ (Pinnati-3-angled)** 殆ド中脈ノ近クマテ羽狀ニ分裂セルモノ。  
**羽狀淺裂ノ (Pinnati-lobed)** 淺ク羽狀ニ分裂セルモノ。  
**右纏ノ (Sinistrous)** 纏繞莖ガ支柱體ニ纏ヒ著ク狀態ノ一ニシテ、時計ノ針ガ進行スル向ニ生長スルモノヲ云フ。ふぢノ莖ハ右纏ナリ、方向ヨリイヘバ東南西北ト進行ス。「左纏」ノ項參照。  
**圓形ノ (Orbicular)** 植物體ノ諸器官ノ形狀ニシテ、圓キ形狀ヲナシタルモノ。  
**圓棒形ノ (Terete)** めだけ、ただけ、ふとむ、おほむぎ等ノ科ニ於ケル如ク圓キ棒狀ヲナセルモノヲ云フ。  
**圓柱形ノ (圓壘形ノ) (Terete)** 圓キ柱

ノ形ノモノ。  
**圓柱體 (Column)** 植物體ノ或ル器官ニシテ、充實シタル圓柱狀ヲナスモノ、即チ圓柱狀ヲナス體ヲ總稱ス。外形ノミヲ云フニアラズ。  
**圓錐形ノ (Conical)** 圓クシテ一方太ク、一方ニ漸次ニ狹窄セルモノニシテ、其ノ狀圓錐ノ形ヲ呈セルモノ。  
**圓錐花 (Paniculate)** にはほり、すめの、たびら、ちぢく等ノ如キ禾本科植物、れずみもち、なんてん等ノ花穂ノ如ク其ノ外形ガ圓錐狀ノ輪廓ヲナスモノヲ云フ。  
**圓盤花 (Disc)** きく科植物ノ頭狀花内部ノ小花ヲ云フ。  
**圓盤形ノ (Discoid)** 圓キ盤ノ形狀ノモノ上面ハ平坦ナリ、けしノ柱頭等ハ此ノ例ナリ。  
**圓緣口 (Rounded mouth)** 圓形ヲ呈セル葉鞘等ノ口。  
**沿著ノ (Adnate)** 長ク沿ヒテ附着スルモノ。  
**沿下ノ (Decurrent)** はたるぶくろ等ノ葉ニ於ケル如ク、其ノ基脚ガ葉柄ニ添ヒテ發達スルモノヲ云フ。或ル場合ニハ無葉柄ノ



如キ状態ヲ呈スルニ至ル。而シテ一層甚シク發達シタルモノハ枝莖ヲ抱クニ至ル。  
銳形ノ (Acute) 單ニ銳角ヲ呈スルモノニテ尖リタル度銳形ヨリハ弱シ。  
銳尖形ノ (Acuminate) 極メテ尖ドク終リタルモノ、いれ、おほむぎノ葉頭ノ如シ、銳形ヨリハ尖リタル度強シ。

穎 (Glumes) 禾本科植物ノ苞葉ニシテ小穂ノ外部即チ脚部ニアル小葉體。小穂ニ通常ニシテ内部ニアルモノハ、内穎ナリ。  
穎果 (Caryopsis) 特別ニ禾本科植物ノ果實ヲ稱ス。果皮ハ種子ニ緊著シテ離レズ、種子ハ一ツアリ。

穎狀苞 (Pale) きく科植物ノ花床ノ小植物ノ花床ニシテ、小花ノ側ニ鱗狀ノ小苞ヲ著ケルモノヲ云フ。  
穎狀苞花床 (Chaffy receptacle) きく科植物ノ花床ニシテ、小花ノ側ニ鱗狀ノ小苞ヲ著ケルモノヲ云フ。

穎狀苞アル (Chaffy) 頭狀花ノ花床面ニ生シ、其ノ小花ヲ擁スル小苞ノアルコト。  
縁邊 (Margin) 葉片花弁等ノヘリヲ云フ。  
縁毛アル (Ciliate) 邊縁ニ毛アルモノ。  
縁毛口 (Ciliated mouth) 縁毛アル葉鞘

下位子房 (Inferior ovary) 子房が萼片

ヤ花冠ヨリモ下方ニ著セル状態ヲ云フ。即チ子房が萼筒ノ内壁ト著生スルカ、或ハ花床内ニ埋没セル場合ニ用ヰ。なし、りんごノ如キハ、花床が蜜狀ヲナシ、子房ハ其ノ内ニ入ツテ所謂下位ヲ占ム。  
外卵皮 (Primine) 卵子ノ外皮。  
外種皮 (Testa = Episperma) 種子ノ外皮。  
外果皮 (Epicarp) 果皮ノ外層。  
外曲ノ (Recurved) 外方ニ彎曲セルコト。  
外旋ノ (Revolute) 葉芽中ニ於ケル葉變ノ一種ニシテ、葉片ノ兩縁ハ中脈ニ向ヒテ外方ニ卷旋スルモノ、つつじ、ぎしぎしノ嫩葉ニ於テ其ノ好例ヲ見ル。  
外出ノ (Exserted) 他ノ器官ヲ超エテ斗出スルコト、超出モ同シ。  
外向ノ (Extrorse) 雄葉ノ葯ノ方向ニ就キテノ名ニテ即チ葯が花被ノ方ニ向キ開裂スルヲ云フ。あやめ、もくれん、らふばい等ノ葯ハ是レナリ。  
外向鑷合襍ノ (Reduplicate valvate) 鑷合襍ヲナス各片が其ノ縁端外方ニ向ヒ其ノ内側ヲ以テ相接スルモノ。  
外觀 (Outline) 總括的外形ヲ云フ。記相

腋生ノ (Axillary) 葉腋ニ生ズルモノ、例ヘバ腋生芽、腋生花ナドノ如キモノヲ云フ。  
腋生胎座 (Axillary placentae) 腹心皮生子房、腹心皮生果實ニ有ス、即チ中央ノ室隅ニアル胎座、中軸胎座モ同シ。  
越年果 (Biennial fruit) 二年果ト同シ。  
遠心的 (Centrifugal) 中心ヨリ漸次遠ザカル様ニ働クモノヲ云フ。莖枝ノ頂端ニ花ヲ著ケルモノ即チ花序ニ於テハ往々此ノ遠心的状態ヲ呈シ、順次中央ヨリ外ヘ向ヒ花ヲ開クモノアリ。

枝 (Branch) 胚ノ幼芽が正統ニ成長セシ主幹ヨリ分生セルモノニテ、其ノ分生セル枝ヨリモ亦枝ヲ生ジテ幾回モ重複ス、腋生芽若クハ不定芽ノ發達シタルモノ。  
液汁 (Juice = Sap) 生植物ノ汁、中ニハ色アルモノモアリ。

オ

凹入ノ (Concave) 中央ノ窪ミ込ミタルモノ。  
凹頭ノ (Emarginate) さくらノ花瓣ニ於

上ニ必要ナルモノ、即チ輪廓ト云フニ同シ。

外花蓋 (Outer perianth) 花蓋ノ項ヲ見ヨ。花 (Flower) 種子植物ノ生殖器官ノ總稱。  
花冠 (Corolla) 花弁全體ノ總稱。  
花爪 (Unguis = Ungula = Claw) なつし、あぶらな等ノ花瓣ノ狭長ナル部分ヲ云フ。  
花托 (Receptacle) 花床ヲ見ヨ。  
花軸 (Rachis) 總狀花序等ニ於ケルガ如ク花梗ヲ發生スル莖ハ其ノ花梗ノ中央軸ヲナス、之ヲ花軸ト呼ブ。  
花梗 (Peduncle) 花ヲ著生スル柄狀莖ヲ云フ。えんどう、あぶらな等ノ花ニ著例アリ。  
花喉 (Throat) なごし、けふちくたう等ノ花冠ニ於ケル如ク、筒狀部ノアルモノニハ、其ノ筒狀部ノ入口ヲ稱シテ此ノ語ヲ用ヰ。  
花絲 (Filament) 雄葉ニ於テ葯ヲ著ケル柄狀體ヲイフ。  
花序 (Inflorescence) 莖枝ニ花ヲ著生スル状態ニ或ル規律アルモノトシ、是ヲ特ニ花序ト稱ス。即チ變態分枝法ノ事ニテ、或ルモノハ單一ノ花ガ莖枝ノ頂端ニ生ジ、或ル

ケル如ク、其ノ頂端が凹狀ヲナスモノ。葉片花弁等ノ扁平體ニノミナラズ、果實ニモ用キラル。  
横裂 (Transverse dehiscence) 横ニ裂ケ割レルコト。

カ

下底 (Base) 諸器官ノ基部ヲ稱ス。脚部、基部或ハ基部モ同シ。  
下垂ノ (Pendulous) 下ニ垂ルモノ。  
下曲ノ (Reclined) 上方ヨリ下方ニ曲リタルモノ。  
下向ノ (Inferior) 胚ノ胚軸が果實ノ基部即チ底部ニ向フモノ。  
下位萼 (Inferior calyx) 花床ヨリ直接ニ生ズル萼ニシテ、子房ノ下ニ位スルモノヲ云フ。此ノ場合、子房ハ所謂上位子房ヲナス。  
下位瘦果 (Cypselis) 二心皮ガ合生シタル一子房ニ於テ只一個ノ卵子ノ存シ、一種子が、完全ニ發育シテ獨占狀ヲナシタル瘦果ニシテ、きく科植物ノ果實ハ是レナリ。而シテ下位ヲ成ス。

モノハ只葉腋ニノミ生ズ、花序ノ判定ニハ種々ノ議論アリ。

花襞 (Aristation) 萼筒中ノ花器ノ位置。  
花床 (花托) (Receptacle = Torus) 莖枝ノ頂端が特ニ節間短縮シ、所謂花葉(萼・花瓣等)ヲ著ケル部分ヲ云フ。  
花冕 (Corona) 花中ニアル冠冕狀ノ附屬器官。花瓣上或ハ花ノ花喉ニアリ。むらさき科井ニセンノ屬ノ植物ニ其ノ例アリ。  
花盤 (Disk) まさき、にしきぎ、徽形科植物等ノ花ニハ花柱ヲ圍ミテ盤狀體アリ、其ノ他ノ植物ニハ種々ノ形状ヲ呈シ、或ハ萼筒ノ内面ニ在リ、或ハ子房ノ腰部ヲ周圍シ、而シテ蜜液ヲ分泌ス。之ヲ花盤ト稱ス。  
花蓋 (Perianth) 萼ト花冠トハ通常其ノ外觀ヲ異ニシ一見直チニ區別シ得レドモ、中ニハ兩者同形同色ニテ一様ニ見ユルコト、ゆり、すむせん、ひがんばな等ニ於ケルガ如キモノアリ。此ノ如ク外觀一様ナルトキニ便宜ノ爲メ其ノ萼ト花冠トヲ打シテ一體ノモノト見做シ、之ヲ花蓋ト呼ブ。而シテ此ノ場合ニハ萼ヲ外花蓋 (Outer perianth) 花冠ヲ内花蓋 (Inner perianth) ト稱ス。  
花粉 (Pollen) 雄葉ノ葯ヨリ吐出スル粉狀

體ノモノ、有性生殖ヲ營ムベキ小胞子トテ  
單細胞ヨリ成レルモノ、大サト形狀トハ植  
物ノ種類ニヨツテ一様ナラズ。

**花粉塊** (Pollinia = Pollen-mass) らん科、  
いけま科等ノ植物ニ見ルガ如ク花粉ガ塊狀  
ニ團集セルモノヲ云フ。

**花粉塊柄** (Caudicle) らん科、いけま科等  
ノ植物ニ於ケル花粉塊ニ著セル小柄ヲ云  
フ。

**花瓣** (Petal) 花被ヲ二種ニ區別スレバ萼ト  
花冠トナル。花冠ニシテ離生シ、明カニ各  
一片ニナリ居ルトキハ、特ニ之ヲ花瓣ト稱  
ス。

**花瓣アル** (Petalous) 花ニシテ特ニ花瓣ト  
稱スルモノヲ有スルモノヲ云フ。又有瓣ト  
モ稱ス。いはら、なごし、等ノ花ニハ皆花  
瓣ヲ具有ス。

**花瓣狀ノ** (Petaloid) 色彩アリテ花瓣ノ狀  
ヲ呈シタルモノ。

**花瓣上ノ** (Epipetalous) 花瓣ノ上ニ生ズ  
ルト。

**花柱** (Style) 子房ノ上ニ連ナリテ狹長ニナ  
リ居ル部。

セル其ノ枝ヲ云フ。きく科并ニかやつりぐ  
さ科等ノ植物ニ之ヲ見ル。  
**花冠筒部** (Corolla-tube) 合瓣花冠ノ筒部  
ヲ云フ。  
**後花增大ノ** (Accrescent) はほづき、つく  
ばれ等ノ萼ニ於ケル如ク、花ガ終リテヨリ  
特ニ成長増大スルコトヲ云フ。  
**回旋襞ノ** (Contorted) 一方ニ回旋シテ前  
者前者ニ重ナルモノ。  
**回旋褶疊襞ノ** (Supervolute) 縦ニ褶疊  
シタル部ガ皆同ジ方ニ向ヒ、横ニ回旋シタ  
ルモノ。  
**果皮** (Pericarp, Seed = vessel) 果實ノ外圍  
部、即チ成熟セル子房。  
**果實** (Fruit) 通俗ニハ花咲キテ後出來タル  
モノナ一般ニ果實トイフ。植物學上ニテハ  
代表的即チ真正ナル果實ハ子房ガ成熟シテ  
成レルモノナイフ。併シ子房ト融合シテ共  
ニ成熟シタルモノモ、共ニ果實トイフ。リ  
んご、なし、びば、きうり、等ハ其ノ例ナ  
リ。いはらノ果狀壺、并ニ世人ガ俗稱スル  
いちじくノ實、おらんだいちごノ實等ノ食  
フベキ部分ハ真正ノ果實ニ非ラズ。  
**果壺** (Perigynium) すげ屬植物ニ在リテ類

ガ雌葉ヲ包ミ、囊狀體ヲナスモノヲ特ニ斯  
ク云フ。  
**芽襞** (Vernation) 芽中ノ嫩葉ノ排置并ニ  
形相。  
**芽鱗** (Bud-scales) 冬芽等ニ於ケル鱗片。  
**芽狀ノ** (Gemmae) 芽ノ形ヲナシタルモ  
ノ。  
**管形ノ** (Tubular) 管ノ形ノモノ。  
**萼** (Calyx) 明白ニ花部トシテ區別サルル  
其ノ花部ヲ包被スル片狀體ノ内顯然トシテ  
二種ノ別アル場合、其ノ外輪ヲ占ムルモノ  
ヲ萼ト云フ。いはら、むめ等ニ於テハ明白  
ニ之ヲ認ムルヲ得。萼ハ雌雄體ヲ保護ス  
ル一種ノ器官ナリト考ヘラル。  
**萼花** (Calythium) 萼ノ筒部存在シテ雄葉  
并ニ花冠ガ萼ノ喉口部ニ著生スルモノヲ云  
フ。にしきぎ、うめもどき等ノ花是レナリ。  
**萼片** (Sepal) 萼ヲ形成スル小葉片狀ノモノ  
ヲ云フ。離萼ニ於テハ各一片ガ明カニ一葉  
ヨリ成レルモノノ如クニ認メラレ、合萼ニ  
於テハ裂片若クハ口邊ノ齒ニ於テ其ノ萼ヲ  
構成スル片數ヲ知ル事ヲ得。  
**萼樣ノ** (Calyculate) 萼ノ次ニ接シ恰モ第  
二萼ノ狀ヲ呈セル苞ヲ有スルトキニ云フ。

**萼筒** (Calyx-tube) 合萼ノ下部ノ筒ヲナシ  
タル部、假令ハ短クシテ平タクトモ其ノ互  
ニ合體セル部ハ斯ク稱スルナリ。

**萼裂片** (Calyx-lobe = Calyx-segment) 合萼  
ノ裂片。

**乾陽性ノ** (Apricus) 日光ヨク照射シ、而  
モ乾燥シ易キ處ニ生ズル植物ノ一習性。

**管狀ノ** (Tubular) 内部空洞ニテ管ノ形ノ  
モノ。

**管狀花** (Tubular-flower) 頭狀花ヲ構成ス  
ル管狀ノ花、一ニ盤狀花ト稱ス。

**開裂** (Dehiscence) 期至テ自ら開キ綻ブコ  
ト、葯ノ綻ブコト、并ニ果實ノ開クコト等  
ニ用ツ。

**開裂果** (Dehiscent fruit) 開裂スル果實。  
**開口形ノ** (Ringent) 兩唇ヲ開キタル口ノ  
形ノ如キモノ、張口形モ同ジ。

**開出ノ** (Patent = Spreading) 其ノ生ズル  
面ニ直角或ハ略ホ直角ヲナシテ出ヅルヲ云  
フ。枝、葉柄、毛ナドヲ記スルトキニ能ク  
使用スル術語。

**乾膜質ノ** (Sarcious) 乾質ニシテ薄ク且  
ツ無色ノモノ。

**假葉** (Phyllodia) 他ノ器官ガ葉形トナリ

テ葉ノ代理ヲ勤ムルモノ也、相思樹ナドノ  
如キあかしや屬中ノ或ル種類、なきい、だ、  
きじく、くさすき、つら、たちてんも  
んど、等ハ此ノ例ナリ。

**乾腊植物類集** (Herbarium) 乾腊セル  
植物ヲ蒐集シ、之ヲ一定ノ分類ノ下ニ統ベ  
タル、其ノ團集ヲ云フ。

**假種皮** (Aril) まゆみ、つるうめもどき  
等ニ於ケル種子ノ如ク、眞ノ種皮ノ外面ヲ  
被ヘル有色ノ種皮狀ノ被衣ヲ云フ。

**假面形ノ** (Persimile) 兩唇形ノ花冠ガ其  
ノ中部ニ一ノ突起部ヲ有スルトキノ形ノモ  
ノ。

**串穿葉ノ** (Perfoliate) 莖ガ葉ヲ貫キキタ  
ル如ク見ユルモノ、コハ葉ノ底部ガ莖ヲ抱  
キ其ノ邊緣ガ合體セルモノナリ。故ニ莖ガ  
葉ヲ突き通シタル如ク見ユ。

**合點** (Chalazae) 卵子ガ其ノ卵柄ニ著ケル  
部分ヲイフ。

**灰白細毛アル** (Canescent) 細微ナル毛  
ニヨリテ灰白色ヲ呈スルモノ。

**含乳ノ** (Lactescent) 植物體ニ乳液ヲ含有  
セルヲ云フ。

**角質ノ** (Cornuous) 獸角ノ如キ質ノモノ。

**革質ノ** (Coriaceous) さつき、たらえふ、  
つばき、ひとつば等ノ葉ノ如ク、又或ル果  
皮ノ如ク、厚クシテ強靱ナルモノ。

**格外ノ** (Abnormal) 常規ト考ヘラレ居ル  
事ニ適合セザルト。

**科生ノ** (Rosulate) 一處ニ叢生セルモノ。  
核 (Putamen) うめ、もも、さくら、くるみ、  
いちご等ノ果實即チ核果ニ於テ果中ノ最モ  
堅キ一體ヲイフ。是レ内果皮 (Endo carp)  
ナリ。此等ノ植物ニテハ核ハ單ニ一個ナレ  
ドモ、いぬつげ、もちのき、くろうめもど  
き、こーびーノ木等ノ果實ニハ數個ノ核ア  
リ。之ヲ分核 (Pyrenae) ト稱ス、同ジク内  
果皮ナリ。

**冠毛** (Pappus) たんぼほ、のげし、あざみ  
等ノ果實ノ頂端ニ生ズル毛。萼ノ變形シタ  
ルモノナリ。

**卷鬚アル** (Cirrhous) 卷鬚 (Cirrus) ナ有  
スルモノ。例ヘバえんどうノ葉ノ如キモ  
ノ。

**卷鬚** (Tendrils) 蔓性植物體ニシテ自體ヲ  
或ル柱體ニ纏著スルニ鬚狀體ヲ以テ卷付  
ク、例ヘバえんどう、きうり、ぶどう等ニ  
於ケルガ如ク、葉ノ一部分ガ變形シタルモ

ノ(ふんどう)ニテハ小葉、せんに入さうニテハ小葉柄及ビ葉柄、さるとりいばらニテハ托葉等)又ハ枝ノ變形(ふだう、やまぶだう)等アリ。

卷絡 (Collis) 卷キツクコト。例へばせんに入さうノ葉柄が卷鬚ノ代リチナシ他物ニ卷キツクナドナリ。

隔障 (Septum = Dissepiment) 數心皮チテテ合生シタル子房若クハ蒴果ニ於テ室ト室トチ區別スル障壁チ云フ。あさがほノ果實ノ成熟シタルモノチ見ルベシ。

隔在ノ (Apert) 互ニ相距リテ位置チ占メタルコト。

環形ノ (Annular) 圓ク環ノ形チナシタルモノ。

蛾形ノ (Papilionaceous) 今日言フ蝶形ト同シ。

灌木ノ (Fruticous) 灌木テアル所ノモノ。

灌木 (Shrub = Frutex) 餘リニ高カラザル木本植物ニシテ、而モ樹幹ガ地面若シクハ地上部ヨリ分枝スルモノ、ちや、つつじ等ノ樹ノ如キ其一例ナリ。

褐色ノ (Brown) 多少紫ガカリタル茶色ノモノ。

塊莖 (Tuber) じやがたらいもノ食用ニ供スル部ノ如キ塊狀チナス地下莖ノ一種チ云フ。之ガ地下莖ノ一種ナル事ハ、體上ニ葉ノ變形セル鱗片ト其ノ腋ニ芽トチ有スルコトニヨリテ知ラル。

擴張ノ (Dilated) 擴ガリタルモノ。

感動ノ (Irritable) 物ニ觸レテ忽チ動クコト。

蓋果 (Pyxis) おぼば、こぎづる、すべりびゆ、るりはこへ等ノ果實ノ如ク蓋ガ取り去ラレルヤウ開裂スルモノチ云フ。

稈 (Culm) 中空有節ノ莖。たけ、おほむぎ等ノ如キ禾本科植物ノ莖チ特ニ稈ト云フ。

寡少ノ (Sanky) 數ノ極メテ少キモノ。

蠟尾狀聚繖花 (Scorpioid cyme) 花序ノ一種ニテ一側ニ花チ著ケ、始メ拳曲式ニ卷ケルモノ、たびらこノ花穂ノ如キハ一例ナリ、發達上ヨリイフ時ハ一花偏側生繖花序トモ云フベキモノナリ。

牙齒ノ (Dentate) 横方ニ向フタル齒片アルモノ。

靴形ノ (Shoel-shaped) すりつば形ノモノ。

殼斗 (Cupule) おほなら、こなら、みづな

ら、くぬぎ等ノ果實ノ基部ニ著ケル猪口狀ノモノチ云フ。總苞ノ變形セルモノナリ。

殼斗果 (Acorn) 殼斗チ有スル果實。かしなら、しひ、くぬぎ等ノ果實ハ其ノ例ナリ、

殼斗狀器 (Cupule) 殼斗ノ形アル器官。

殼片開裂 (Valvular dehiscence) 果實チ下ノ殼片ニヨリテ開裂スルモノ。

殼片 (Valve) 蒴果ノ開裂片チ云フ。

**キ**

求頂ノ (Acropetal) 所謂無限花序ニ於ケル如ク、下部ヨリ上部ニ進行スル狀態チ云フ。

求心的 (Centripetal) 無限花序ノ開花ノ如ク、中心ニ向フチ進行スル狀態チ呈スルチ云フ。

距 (Spor = Calcar) すみれ、むらさきけまら、おだまき等ノ花ニ於ケル如ク、其ノ背後ニ鳥ノ距ノ如ク突起シタルモノチ云フ。其ノ内部ニハ通常多ク甜液チ有ス。

距形蜜槽 (Spurred nectary) 距狀チナシテ斗出セル蜜槽。

岐出ノ (Diverging) 末益々分レテ出ヅルモノ。

吸枝 (Sucker) 地下ノ本莖ヨリ萌出スル芽苗。

曲縮ノ (Crinkled) 曲リ屈ミテ縮ミタルモノ。

氣中植物 (Air plants = Aerial plants = Epiphytes) 地上ノ物體ニ著生シ、植物體全部チ氣中ニ晒セル植物體。ふうらん、せきんく等ノ如シ。

氣中生ノ (Aerial) 空氣中ニアルモノ。

氣生植物 (Aerial plants) 氣中植物ト同シ。

奇數羽狀ノ (Odd-pinnate) 羽狀葉ノ頂端ニ一片ノ小葉チ著ケルモノ。

逆向ノ (Retorse) 下ニ逆ニ向フコト。やへむぐら、あざれノ莖ノ小刺ナド此ノ例ナリ。

逆向羽裂ノ (Runcinate) 羽裂セル裂片斜メニ下方ニ向ヒタルモノ。

逆刺尖アル (Retorse-spinulose) 逆向セル小尖刺アルモノ。

記名法 (命名法) (Nomenclature) 植物若クハ動物ノ名稱チ學術的ニ定ムルニ、瑞典ノリンド氏ハ約百八十年前ニ於テ屬(Genus)チ先頭ニシ、次ニ種 (Species)チ考

定シ、而シテ終リニ考定者ノ署名チ必要トセリ。是チ二命名法ト稱ス。現行ノ記名法ハ即チ是ナリ。

急曲ノ (Bent abruptly) 突然急ニ屈曲セルモノ。

球莖 (Corm) 圓キ實セル球形ノ地下莖、一ニ實質鱗莖 (Solid bulb) ト稱ス。こんじやく、てんなんしじょう、からすびやくノ地下ノ塊ハ即チ是ナリ。

球形ノ (Spherical = Globose) 立體球ノ如キ形狀。

球體 (Sphere) 立體球ノ如キモノ。

寄生ノ (Parasitic) 他ノ植物ノ上ニ生ジ、其ノ寄主ヨリ養液チ資テ生長スルモノ。

喬木 (Tree) 喬木ノ (Arboreous) 數丈ニ成長スル樹。

基部 (Base) 下底ト同シ。

基脚部 (Base) 基部ト同シ。

脚部 (Base) 基部ト同シ。

莢果 (Legume) えんどう、そらまめ、なんきんまめ、さげ、さいかち等ノまめ科植物ノ果實チ云フ。果實ハ成熟後心皮ノ縫線ニ於テ開裂スルチ常態トス。

錐果 (Cone = Strobile) せう、たか、ひのま

等ノ果實ノ如ク、鱗片ニテ種子チ覆ヘルモノ。

橢果 (Pome) 不開裂果ノ一、外部ハ花床井ニ萼筒癒着シ、多肉果トナルコト、りんご、なしノ如キモノ。

狭長ノ (Obovate) 狭リ長キモノ。

鋸齒ノ (Serrate) 葉ノ如キ扁平ナル部分ノ縁邊ニ於ケル形狀ノ一、鋸ノ齒ニ似タル刻ミアルモノ、けやきノ葉縁ノ如キ其ノ例ナリ。

偽果 (Pseudocarp) 副果ノ項チ見ヨ。

旗瓣 (Vexillum) えんどう、そらまめ、ぶぢ等ノ花ニ於ケル最も闊大ナル上部ノ一花瓣。

刺毛 (Stings) 刺毛チ見ヨ。

**ク**

屈曲ノ (Curved) 曲リチ眞直ニアラザルモノ。

偶數羽狀ノ (Equally pinnate = Abruply pinnate) 羽狀葉ノ末端ニ頂生ノ一小葉チキモノ。

ケ

欠形ノ (Ringent) 欠チ爲セル口ノ如ク、其ノ兩唇ヲ開キタル形ノ如キモノ、張口形ト同シ。

堅果 (Nut-plans) へし、しひ、くり等ノ果實ノ如ク、果皮堅固ニシテ成熟スルモ開裂スル事ナク、而モ乾燥シタルモノ。

劍形ノ (Basiform = Enstate) あぢめ、はなしやうぶ、たうしやうぶ等ノ葉ノ如キ形狀ヲ云フ。即チ刀劍ノ形狀ヲ呈スルモノ。

顯著ノ (Conspicuous) 大キクシテ著シク見ユルモノ。

缺刻アル (Incised) 深ク刻マンテ大小不齊ノ尖齒トナルモノ。

弦月形ノ (Lunate) 弦月ノ形ノモノ。

舷部 (Limb) 合瓣花冠等ノ外縁部ヲ稱ス。筒部、花喉ヲ除キテ其ノ外ノ縁部ナリ。又時トシテハ花瓣面并ニ葉片ニモ此ノ名ヲ用ユ。

傾斜ノ (Declinate) 斜メニ傾キタルモノ。

傾下ノ (Declinate) 斜上セルモノガ上部漸次ニ下方ニ傾下スルモノ。

傾下著ノ (Pendulous) 葯ニ就テ言フ、い

ちやくさう類ノ夫レノ如ク上端ヲ以テ附著シ而シテ下ニ懸垂スルコト。

絹毛ノ (Zericoous) 絹絲ノ如キモノノ。

戟形ノ (Hastate) 底部ノ耳、尖リテ横ナ指スモノ。

拳曲ノ (Circinate) 一二盤旋ト云ヒ、拳ノ如ク内方ニ巻キ込ミタルモノ。

懸瘦果 (Crenocarp) せり、にんじん、ししうど等ノ果實ノ如ク、成熟スレバ二個ノ小果ニ分離シテ果軸ニ懸垂スルモノ。

懸垂ノ (Suspended) 眞上ヨリ垂ルモノ、直垂ニ同シ。

鎌形ノ (Falcate) 草刈鎌ニ似タルモノ、ゆかり樹、井ニシタ類等ノ葉ニハ此ノ形狀ノモノアリ。

楔形ノ (Wedgeform = Cuneate) 上部廣ク下部漸次ニ狭クナリ恰モ木匠ノ使用スル楔ノ側面ニ似タル形ヲ云フ。葉ノ下部ノ形狀ニ往々之ヲ見ル。

ク

五ノ數ヲ以テ構成スル花。

五尖裂ノ (5-lobed) 五ニ尖裂セルモノ。

五淺裂ノ (5-lobed) 五ニ淺裂セルモノ。

五深裂ノ (5-parted) 五ニ深裂セルモノ。

五齒アル (5-toothed = 5-dentate) 瓣端ナドガ五ノ小齒ニ分裂セルモノ。

五雌藥ノ (Pentagynous) 五個ノ雌藥ノモノ。

互生ノ (Alternate) 互ヒ違ヒニ出テタルモノ。

孔裂 (Poral dehiscence) 孔ヲ以テ開裂スルモノ。

孔阜 (Strophiole) 種孔ヨリ起リテ高クナリタル細胞ノ隆起。

孔竅開裂 (Porous dehiscence) 小孔ヲ以テ開裂セルモノ。

合瓣 (Sympetal) 花瓣ノ合生シタルモノ、あさかば、ききむうノ花瓣ノ如シ。

合瓣ノ (Gamopetalous) 合瓣ヲ有スルモノ。

合葉ノ (Ganophyllous) 合體セル葉片ヲ以テ成リタルトキニ斯ク云フ。

合萼ノ (Synsepal) なす科、こまのはぐさ科植物ニ於ケル萼ノ如ク、萼片ガ合體シ居

ルモノヲ云フ。

合著ノ (癒著ノ) (Cohesent = Connate) 同性器官ガ隣接セル二個以上互ニ發育ノ初期ヨリ其ノ組織連結癒合シ、一體トナルモノヲ云フ。Cohesent ハ此ノ如ク同器ノ合著ヲ云ヒ、之ニ對シテ Adherent ハ異器ノ合體スルヲ云フ。

合點 (Chalaz) 卵子ノ皮ト胚珠即チ所謂珠心ト合體セシ場所。

合生子房 (Coalescent ovary) 子房ノ合生シタルモノ、おとぎりさうノ子房ノ如キモノ。

交叉生ノ (Decussate) 正シク左右ニ對生シ層ナレバ十字ノ形ニ見ユルモノ。

交三覆瓦襞ノ (Triquetrous) 三片ヲ以テ成リ、一片外ニ位シ、一片内ニ位シ、其ノ中間ニ一片アルモノ。

交五覆瓦襞ノ (Quincunial) 五片ヲ以テ成リタル單純ノ覆瓦襞、其ノ二片ハ外ニ位シ又二片ハ内ニ位シ、其ノ中間ニ一片アルモノ。

光澤アル (Shining) 平滑ニテ光澤ノアルモノ。

高山性ノ (Alpine) 温度低ク氣候ハ激變

シ、而シテ日射力強ク、日照時長ク、而モ比較的乾燥シ易キ高山ニアリテ、ヨク繁茂スル植物ノ特性ヲ云フ。又或ル場合ニハ高山ニ於ケル通有性(例ヘバ前述ノ如キモノ)ヲモ云フ。

咬斷狀ノ (Prenorsae) 突然終止シテ恰モ咬ミ切りタル如キモノ。

根莖 (Root stock = Rhizome) 地下ノ莖ニテ土中ヲ横行シ、根様ヲ呈スルモノ。其ノ體ヨリ眞ノ細根ヲ發出ス。先端ハ地上ノ莖トナリ、花并ニ葉ヲ生ズルヲ通常トス。

根數 (Radical number) 原ニナル數、べんけいさうノ花ハ其ノ之ヲ構成スル器官ガ五ノ數根ヲ有スルモノナリ。

根生ノ (Radical) 地上部ノ基脚即チ根モト并ニ地下ノ莖部ヨリ生ジテ地上ニ出デシモノ。

骨質 (Osseous) 骨ノ質ノモノ、じゆずだまハ其ノ一例ナリ。

後面ノ (Posterior) 花軸ニ對スル位置ヲ明カニ表示スルニ用ウル語。即チ正當ニ其ノ花ガ花軸ニ面スル部位ヲ云フ。此ノ後面ト反對ノ方ヲ前面 (Anterior) ト稱ス。

廣楕圓形ノ (Oval) 楕圓形 (Elliptical)

ノ廣キモノ。

廣楕圓體ノ (Ovoid) 廣楕圓形ノ體ヲナセルモノ。原語ハ卵形體ト同様。

黃褐色ノ (Tawny) 黄色ヲ帶ビタル褐色ノモノ。

硬點 (Callosity) 葉并ニ花瓣ノ邊緣ナドノ硬結點。

硬尖面ノ (Mucronate) 硬尖アリテザラザラシタルモノ。

硬尖糙澁ノ (Strigous) 尖リタル硬毛ノ密生セルモノ。

壺形ノ (Ureolate) あせび、どうだんつじ等ノ花冠ノ如ク壺ノ如キ球形ヲナセルモノ。

構成 (Plan) 花ナドノ構成。

棍棒形ノ (Clavate) 頭太キ棒ノ形ノモノ。

袴狀托葉 (Ochreae) たて科植物ニ於ケル如ク托葉ガ莖枝ヲ包圍シテ鞘狀ヲナスモノ。

膏癭 (Follicle) ぼたん、しやくやく、とりかぶと、しきみ、ががいも等ノ果實ノ如ク一心皮ヨリ成レルモノ。腹縫線ノミニテ開裂シ、内部ニ二個乃至多數ノ種子ヲ有ス。

鼓張形ノ (Inflated) 大鼓腹ノ如ク膨脹シテ圓クナリタルモノ。

跨狀ノ (Equitant) 芽鬚ノ一ニシテ、はなしやうぶ、つきつばた等ノ如ク摺合セルモノカ相對シテ二列ニ生シ、外者ハ内者ヲ掩擁スルモノヲ云フ。

瓠果 (Pepo) 不開裂果ノ一、果皮硬質ニシテ内部ハ柔ナリ。多種子アリ。ほうぶら、たうなすハ其ノ例ナリ。

穀果 (Grain) 穎果ト同シ。

莖 (Stem = Canlome) 顯著ナル普通植物體ノ中樞體ヲナセル部分ヲ云ヒ、葉・花・果實ヲ著ケ、又根ヲ生ズル能力アルモノヲ云フ。

最モ狭キ意味ニテハ地上ニ生ズル柱狀體ヲ云フ。併シ學術的ニハ通俗ニ解スルモノト少シク異ナリ、生理上及ビ組織系統上ノ事實ヲ基礎トシテ植物體ノ莖部ヲ判定スル事トナス。

莖類 (Herbs) 植物形態學上ノ判定ニヨレル莖ノ系統ニ屬スルモノヲ總括シテ云フ。尋常莖ト變形シタル莖トアリ。

莖生ノ (Cauline) 莖ノ地上部ヨリ出ダセシモノ。

鉤形ノ (Hamate = Hooked) ぎまひら、

やへむぐら等ノ葉及ビきんみづひきの果實等ニ生ゼル下方ヲ向キタル鉤狀體ヲ云フ。

サ

三裂ノ (Trifid) 三ツニ分裂セルモノ。

三尖裂ノ (Trifid) 三ツニ尖裂セルモノ。

三淺裂ノ (Trilobate) 葉片ガ淺ク三ツニ分裂セルモノ。

三深裂ノ (Tripartite) 三ツニ深ク分裂セルモノ。

三三深裂ノ (Trinerous-tripartite) 葉片ナドガ三深裂ヲ三度重ル事ヲ云フ。即チ最初三深裂シタル一部ガ再ビ三深裂シ、ソノ一小部ガまた三深裂セル狀態ヲ云フ。

三出ノ (Ternate) 三葉ノ (Trifoliate) ト同シ。

三葉ノ (Trifoliate) はぎ、くず、さいげ、うまごやし等ノ葉ニ於ケル如ク三小葉ヨリ成レル形狀ヲ云フ。

三小葉ノ (Trifoliate) 小葉三片アル復葉。かたばみ、はぎ、みつばあけび等ノ葉ハ一例ナリ。

三列生ノ (Tristichous) 三列ニ排ラフコト。

三主脈ノ (Tripli-veined = Triplinerved) 三條ノ大ナル主脈アルモノ、にくけい、しるだも等ノ葉ハ其ノ好例ナリ。

三稜ノ (Trigoneus) 銳稜ヲ有スル三角柱形ノモノ。

三稜形ノ (Triangular) 三ツノ稜角ノアルモノ。

三稜跨狀ノ (Trigoneus) 三方ヨリノ跨狀ニテ三稜ヲ呈セルモノ。

三稜柱形ノ (Prismatic) 三稜アル柱形ノモノ。

三體ノ (Triadelphous) 三ツノ集合セル體ヲナセルモノ。

三數ノ (Trimerous) 三ノ數ノモノ。

三角形ノ (Deloid) いしみかハ葉ノ外形ノ如ク三角形ヲナセルモノヲ云フ。即チ三角形ヲ標準ニシテ植物體ノ諸部ノ形狀ヲ判定シタル術語。

三羽狀ノ (Triplinate) 葉片ガ羽狀ニ分裂スル事三回即チ最初羽狀ニ分裂シタル裂片ガ又羽狀ニ分裂シ、其小羽片ガ又々羽狀ニ分裂セルモノ、した類ニ例多シ。

三掌狀ノ (Triplimate) 三回ニ重複セル

掌狀ノモノ。

三數花 (Trimerous flower) 花器皆各々三ノ數ヲ以テ構成スル花。

三齒アル (3-toothed = 3-dentate) 瓣端ナドガ三ツノ小サキ齒ニ分裂セルモノ。

三雌藥ノ (Trigynous) 三個ノ雌藥ノモノ。

三層皮ノ果實 (3-coated fruit) 果皮ノ織質ガ三層トナリタル果實。

叉狀ノ (Furcate = Forked) 一點ニ於テ同様ナルモノニ兩岐スル狀態ヲイフ。ぜんまい、いてふ等ノ葉ノ側脈ニ於ケルハ、其ノ例ナリ、又分ト同シ。

又分ノ (Furcate = Forked) 平等ニ兩岐セルモノ、又狀ト同シ。

叉狀脈 (Forked vein) 葉脈ガ叉狀ニ分レルヲ云フ、ぜんまい、いてふ等ノ葉脈ハ即チ是レナリ。

左右平扁ノ (Compressed) 左右兩側ヨリ壓扁セラレタルモノ。

左右相稱ノ (Zygomorphic) 即チ兩側等勢 (Bilateral symmetry) ヲナスモノ、えんどう、きり、つば、等ノ花冠ノ如ク、中點ヲ貫ク假線ニヨリテ同様ノ二半面ニ分チ得

ルハ只一方向アルノミナルヲ云フ。

左纏 (Dextrorse) 纏繞莖ガ或ル支柱物ニ纏ハル場合ニ、あさがほノ如ク、東北西南ノ方向ニ發育スルモノヲ云フ。即チ左ヘ左ヘト巻キツ、生長シ行クナリ。是レ通語ノ左巻キニシテ時計ノ針ノ進ムノト反對ノ方向ヲ示ス。原語ノ Dextrorsus ハ右ト云フ字ト同轉ト云フ字ガ合シテ成レルモノニシテ、字面通り譯セバ右纏トナルベケレドモ、其ノ意味ハ右ヨリ左ニ同轉スルコトナリ。

故ニ日本ノ慣語ニテ言フトキハ、左巻キ即チ左纏ナリ。即チ西洋ニテハ上ノ「右カラ左ヘ」ノ上半ヲ用キテ右ヨリ廻リ來ル意ニテ呼ビ、我が邦ニテハ其ノ下半ヲ用キテ左ヘ廻リ去ル意ニテ呼ブナリ。

再羽狀ノ (Bipinnate) 第一ノ羽片ガ再ビ羽狀ニ分レ第二ノ小羽片ニナリタルトキノモノ。

再掌狀ノ (Bipalmate) 掌狀ノ分片更ニ再ビ分レテ掌狀ヲ呈セシモノ。

散生ノ (Disperse) 散在シテ生ゼルモノ。散生花、散生葉ノ例アリ。

細脈 (Venules = Venules) 支脈或ハ主脈ヨリ分レタル細小ナル小脈。

細長ノ (Slender) 瘦セ長キモノ。

細微ノ (Minute) 極メテ細小ナルモノ。

細毛アル尾 (Tail pubescent) 細毛ノ生シ居ル尾。

細軟毛アル (Downy) 植物體ノ表面ニ於テ細微ノ柔軟毛ヲ布クモノヲイフ。はこべ、おきなぐさ、すはまそう等ノ幼芽ハ其ノ例ナリ。

細點アル (Punctate) 葉花瓣其ノ他ノ部分ニ於テ點狀ノ斑紋若クハ透明斑點アルヲ云フ。みかんノ葉、いたどりノ嫩キ莖等ハ其ノ例ナリ。

細刺尖アル (Barbed) 尖リタル細カキ刺アルモノ。

細截痕アル (Scarred) かやつりぐさ科ノひごりノ屬植物ニ見ル如ク其ノ小種ノ小軸面ニ刻ミ目ノ様ニ穎ノ脱落セル痕跡アルガ如キモノ。

細牙齒ノ (Denticulate) 細小ナル牙齒ノアルモノ。

細鋸齒ノ (Serrulate) 葉等ノ縁邊ノ形狀ニテ細小ナル鋸齒ノ如キ刻ミアルモノ。

細胞質ノ (Cellular) 細胞粗大ニシテ、明カニ此ニヨリテ成リタルコトニ見ユルモノ。

雜居花 (Polycamous flower) 一種ノ植物ニシテ兩性花ト單性花ヲ有スルモノアリ。此ノ如キ花ヲ總稱シテ斯ク云フ。

錯道質ノ (Ruminated) 蟲ノ物ニ喰込ミシ如ク不齊ニ亂レ込ミタルガ如キ質ノモノ。

繖形花 (Umbel) 花軸ノ花ヲ著ケル部分ノ節ガ極度ニ短縮シ、恰モ莖ノ頂端ヨリ殆ド同長ノ花梗ガ簇生セル様ヲナセル花序ヲ云フ。單繖形、複繖形ノ二様アリ。

繖形ノ (Umbellate) 繖形ヲ構成スルヲ云フ。

繖房花 (Corymb) 主軸ヨリ生ズル側生花梗ノ上面ガ一樣ニ平坦狀ヲナスカ、或ハ多少凸面ヲナスモノニテ其ノ構造ハ總狀花種ト同シ。

繖房花ノ (Corymbose) 繖房花序式ノモノヲ云フ。

蒴果 (Capsule) 果實ノ一種ニテ二個以上ノ心皮ノ合成シタル子房ガ成熟セルモノ、果皮ハ乾燥シテ開裂性ノモノヲ云フ。其ノ開裂法ハ植物ノ種類ニヨリテ異ナル。

撒開ノ (Difuse) 四方ニ平タク擴ガレモノ。茶褐色ノ (Fulvous) 赤色ト黄色ト暗色トガ混合セシ色。

シ

十字花冠 (Cruciform corolla) 花冠ガ難生シタル四枚ノ花瓣ヨリ成リ、而モ夫等ノ四片ガ十字狀ニ排列セル花ヲ云フ。あぶらな、だいこん等ノ十字科植物ノ花ハ著シキ一例ナリ。

十字對生ノ (Bracteate) 開出セル對生ノ枝アルモノ、上ヨリ見レバ其ノ枝ガ十字形ニ層ナルモノ。

小舌 (Ligule) 禾本植物ノ葉鞘ノ口ニアラ特別ノ小片。

小花 (Floral) きく、まつむしさう等ノ如ク多數ノ花ガ密聚シ、恰モ一大花ノ如クナリタル場合、其ノ單花ヲ小花ト稱ス。

小尾 (Cauda) 種子其ノ他ノモノニ聯生セル小形ノ尾狀體ヲ云フ。

小軸 (Raehilla) 禾本科、かやつりぐさ科植物ノ小穗 (Spikete) ノ中軸。

小苞 (Bracteoale = Bractel) 花ニ最も接近セル最上ノ苞ヲ云フ。即チ小梗ニアレモノ是レナリ。

小粒アル (Tuberculato) 小サキ粒狀ノ突起多キコト。

小葉 (Leaflet) 複葉ヲ構成スル分片ヲ云フ。普通節ヲ以テ葉軸ト接合ス。其ノ小葉ノ腋ヨリハ決シテ出芽スル事ナシ。

小穗 (Spikete) 一般ニ禾本科并ニかやつりぐさ科ノ花穂ハ重複ス。其ノ最終ノ一部分ヲナス小サキ穗狀體ヲ小穗ト稱ス。小穗ハ或ハ只一個ノ花ノミ完全ニ發達セルモノアリ、又或ハ數個ノ花ガ發達セシモアリ、禾本ノ小穗ニハ下部ニ常ニ穎ヲ具フ。

小瘤アル (Tubercular) 其處此處ニ小瘤アルモノ。

小刺尖ノ (Spinulose) 尖リタル小キ刺ノ形ノモノ。

小花梗 (Pedicel) 又小梗トモ稱ス、花穂中各々ノ花ヲ支フル柄ヲ云フ。

小羽片 (Pinnule) 羽片 (Pinna) ノ分裂シタル各片、即チ第二羽片ヲ云フ。

小托葉アル (Stipulate) 恰モ葉ニ托葉ガアルト同シク、複葉ナル小葉ニ小托葉アルヲ云フ。

ノ小繖形花ニ於ケル總苞ヲ小總苞ト稱ス。

小塊節アル (Nodulous) 諸處ニ小塊ヲナセル節アルモノ。

小鱗莖(珠芽) (Bulbet) おにゆり、こもちまんれんぐさ等ノ地上莖ニ在ル葉腋ニ生ズル鱗莖式ノ小體ヲ云フ。

少數ノ (Few) 二三個ノ少數ノモノ。

七數ノ (Heptamerous) 七ノ數ノモノ。

七數花 (Heptamerous flower) 花器皆各々七ノ數ヲ以テ構成スル花。

七淺裂ノ (7-lobed) 七ニ淺裂セルモノ。若シ九ニ淺裂スルトキハ九淺裂ト云フ。

七深裂ノ (7-parted) 七ニ深裂セルモノ。若シ九ニ深裂スルトキハ九深裂ト云フ。

七尖裂ノ (7-td) 七ニ尖裂セルモノ。若シ九ニ尖裂スルトキハ九尖裂ナリ。

子葉 (Cotyledons) 胚ニ有スル第一ノ葉。通常二片アリ。又一片又ハ數片ノモノアリ。

子房 (Ovary) 雌葉ノ一部分ニテ卵子ヲ包藏セル處。

子房上位ノ (Superior) 子房ノ上ニ生ゼシモノニテ、子房上生ト云フニ同シ。

子房半下位ノ (Half-inferior) 半度ノ下位ニテ萼ナドガ子房ノ上部ヲ殘シテタマ下

部ニノ混合著セルトキ斯ク云フ。必竟半上位 (Half-superior) ト云フニ同シ。

子房上生ノ (Epigynous) 子房ノ上ニ生ゼタルモノ、元來ハ子房ノ下ニアレベキナレドモ、其ノ下部ガ子房ノ周圍ニ癒合シテ上リ、其ノ上頭ニ至リテ子房ト離レ居ル故其ノ狀恰モ子房ヨリ出デタル狀ヲナス。

子房下生ノ (Hypogynous) 子房ノ下ニ生ゼタルモノ。

子房周圍生ノ (Perigynous) 子房ノ外壁ト花床若クハ萼筒トガ殆ド全部合着シタル場合、雄葉若クハ花被等ノ位置ヲ表示スルニ此ノ語ヲ用ウ。ゆきのした、うつき等ノ雄葉ノ位置ハ即チ是レナリ。

子房下生花冠 (Hypogynous corolla) 子房トノ比較ニヨリテ上下ヲ別チ、子房ノ下位ニ位スル花冠トイフ意味。即チ子房ハ花冠ノ著生セル部處ヨリモ上方ニ著生セル狀態ヲイフ。

子囊群 (Conus) 囊堆ヲ見ヨ。

支柄 (Stalk) 何ノ器官ニテモ之ヲ支持スル柄ヲ斯ク云フ。

支脈 (Veins) 中脈或ハ主脈ヨリ分派スルノ枝脈ヲ云フ。

上向ノ (Superior) 胚ノ胚軸ガ果實ノ頭末ノ方ニ向フモノ。

上向刺尖アル (Antorse-spinulose) 前方ヲ指ス小尖刺アルモノ。

上位子房 (Superior ovary) 子房ノ位置ガ雄葉若クハ花冠等ノ上部ニアル時ニ云フ。上位ニアル子房ト云フ意。此ノ場合、雄葉、花冠、萼ハ下位ニアリテ、子房下位即チ子房ノ下位ト稱ス。

上生萼(上位萼) (Epigynous calyx = Superior calyx) りんご、あびな等ノ花ニ於ケル萼ノ如ク、子房ノ上位ヲ占ムルモノヲ云フ。

上達幹 (Excurrent) すぎ、もみ等ノ如ク梢末マテ達スル幹ヲ有スルモノ。

四胞ノ (Four-celled) 四室ノモノ。

四數ノ (Tetramerous) 四ノ數ノモノ。

四數花 (Tetramerous flower) 花器皆各々四ノ數ヲ以テ構成スル花。

四強ノ (四長二短ノ) (Tetradynamous) 十字科植物ノ花ニ於ケルガ如ク六本ノ雄葉ノ中二本ダケ短ク、四本ガ長キヲ云フ。

四角形ノ (四稜形ノ) (Quadrangular) 四角ノ形ノモノ。

**四齒アル** (4-toothed = 4-dentate) 瓣端ナ  
 ドカ四ツノ小サキ齒ニ分裂セルモノ。  
**四雌蕊ノ** (Tetragynous) 四個ノ雌蕊ノモ  
 ノ。  
**四長二短ノ** (Tetrandynamous) 四強ノト  
 同シ。  
**主根(直根)** (Tap-root = Axial root) 胚ニ  
 於ケル幼根ノ直系ニ屬スルモノヲ云フ。に  
 んじん、かぶ、だいこん等ノ根ハ其ノ著例  
 ナリ。  
**心皮** (Carpel) 卵子ヲ生ズル所謂大胞子葉  
 ノ一種ニシテ、卵子ヲ全ク包藏スルモノナ  
 リ。即チ子房ヲ構成スル胞子葉ヲ表示ス。  
**心臟形ノ** (Cordate = Cordiform) しなの  
 き、たちつばすみれ等ノ葉ノ如ク、恰モと  
 らんぶノはりとノ紋ニ似タル形状ヲ有スル  
 モノ。  
**枝生ノ** (Ramial) 枝ニ出デシモノ。  
**枝分幹** (Solvent = Deliquescent) 枝ニ分レ  
 了セル幹ヲ有スルモノ。  
**自立生ノ** (Free) 自體ガ他ノ體ト聯著ス  
 ル點ナク全然自立セルモノ。  
**色彩** (Colour) 種々ノ色ヲ云フ。而シテ色  
 ノ種類ハ極メテ多ク、從テ其ノ名稱モ甚ダ

夥シ。今其ノ主ナルモノヲ擧ゲレバ左ノ如  
 シ。  
 藍色○淡藍色○紫褐色○深紅色○肉紅色○  
 淡紫色○鉛紫色○紅紫色○淡紅紫色○緋色  
 ○桃花色○朱赤色○鮮紫色○鮮黃色○銅色  
 ○乳黃色○金黃色○柑黃色○薑黃色○硫黃  
 色○黃色○黑色○栗殼色○灰色○暗色( )鐵  
 銹色○火色○綠色○帶白色○灰白色○暗綠  
 色○淡白色○黃褐色○白色  
**真直ノ** (Straight) 直クシテ曲ラザルモ  
 ノ。  
**室壁** (Cell-wall) 胞室ノ周圍ノ壁。  
**刺** (Spine = Thorn) 枝、時トシテハ、葉柄、  
 托葉等ノ葉ノ變形、又稀ニ芽鱗ノ變形刺狀  
 體ニテ木質組織ガ比較的能ク發達シテ硬ク  
 成リタルモノヲ云フ。さいちち、からたち、  
 ゆず等ノはりハ此ノ好例ナリ。タゞ表皮ヨ  
 リ生ジタル針 (Prickle) トハ別ナリ。  
**刺毛** (Bristle) はまなす、たけいばら等  
 ノ莖面ニ生ズルモノ如キモノ、即チ強硬ノ  
 毛ヲ稱ス。  
**刺毛アル** (Bristly) 強キ毛即チ刺毛ノ毛  
 アルコト。  
**刺狀ノ** (Scleraceous) 刺ノ形ノモノ。

**刺尖ノ** (Spinose) 末端一ノ刺トナリテ  
 尖レルモノ。  
**刺尖頭ノ** (Aristate) 小刺ノ斗出セルモ  
 ノ。  
**刺毛狀ノ** (Bristle-form) 刺毛ノ如キ形状  
 ノモノ。  
**刺狀體** (Setae) 刺ノ形状ノモノ。  
**耳形ノ** (Auriculate) 葉ノ底部若クハ萼片  
 ノ外部ニ附著セルモノノ形状等ガ、吾人ノ  
 耳葉ニ似タルヲ云フ。さといも等ノ葉ノ底  
 部及ビすみれノ萼等ニ於ケル形状ハ即チ耳  
 形ナリ。  
**周匝ノ** (Periphratic) 周圍ノ場處ニ位スル  
 モノ。  
**舟形ノ** (Boat-shaped) 小舟ノ形、其ノ背  
 ハ脊ヲナスモノト否ラザルモノトアリ。  
**種子** (Seed) 子房中ノ卵子ガ受胎シ後チ發  
 育シテ胚ヲ藏スル一種ノ器官ト變成シタル  
 モノニテ、卵皮ハ後ニ種皮ト變ジ、其ノ他  
 ノ局部モ相當ニ變質シ、成熟スルマデハ母  
 植物體ニヨリテ養ハル。  
**種皮** (Integument) 種子ノ皮。  
**種柄** (Funiculus) 種子ノ柄。  
**種髮** (Coma) 種子ニ生ゼシ長キ毛。種子ノ

全面ニ生ズルコトわたノ如キモノト、其ノ  
 一端ニ生ズルコト、いけま、がいにノ如  
 キモノトアリ。  
**指狀ノ** (Digitate) あげび、むべ、うこぎ  
 等ノ葉ニ於ケル如ク數小葉ガ葉軸ノ頂端ニ  
 著生シ、掌狀ヲ呈セルヲ云フ。  
**針形ノ** (Acerous) あさまつ、くろまつ等  
 ノ葉ノ如ク、恰モ針ノ如キヲ云フ。  
**針狀托葉** (Spinous stipules) 針形ヲナセ  
 ル托葉、はりふんじゆ等ニ之ヲ見ル。  
**斜上ノ** (Erect-patent) 其ノ生ズル面ニ斜  
 メニ上向セル角度ヲ以テ出ヅルモノ、枝ヲ  
 下チ記スルトキ能ク用ウ。  
**絲形ノ** (絲狀ノ) (Filiform) 絲ノ形ヲナ  
 シタルモノ。  
**射出脈ノ** (Radiate-veined) 一點ヨリ射  
 出セルモノ。掌狀脈 (Palmi-veined) ト同シ  
 場合モアリ。  
**射出頭狀花** (Radiate capitulum) よめ  
 な、こんぎく、しゆんぎく等ノ花序ニ於ケ  
 ル如ク、射出花即チ所謂舌狀花ヲ有スル外  
 輪ノ小花ト筒狀花ヲ有スル中部ノ小花(中  
 心花)トヨリナル頭狀花ヲ云フ。  
**掌狀ノ** (Palmate) 掌ヲ展ゲタル如ク一點

ヨリ發生シテ分レタル形ノモノ。  
**掌狀脈ノ** (Palmi-veined) かへて、やつ  
 べ、つばき等ノ葉ニ於ケル脈ノ如ク、同  
 様ノ主脈ガ葉柄ノ頂端ヨリ數筋分生シタル  
 モノヲ云フ。  
**掌狀二葉ノ** (Palmi-2-foliolate) 三小葉ヲ  
 以テ成レル掌狀ノモノ。  
**掌狀五葉ノ** (Palmi-5-foliolate) 五小葉ヲ  
 以テ成レル掌狀ノモノ。  
**掌狀九葉ノ** (Palmi-9-foliolate) 九小葉ヲ  
 以テ成レル掌狀ノモノ。  
**掌狀七葉ノ** (Palmi-7-foliolate) 七小葉ヲ  
 以テ成レル掌狀ノモノ。  
**掌狀深裂ノ** (Palmi-partite) もみぢあふ  
 ひ、かへて等ノ葉ノ如ク、掌狀脈ニ沿ヒテ深  
 ク分裂セルヲ云フ。  
**珠芽** (Bulblet) 小鱗葉ト同シ。  
**珠心** (Nucellus = Nucelus) 今日普通ニ此ノ  
 如ク稱ス、此ノ譯語ハ元來ハ胚珠ナラザル  
 ベカラズ。  
**衆多ノ** (Copious) 數ノ極メテ多キコト。  
**宿存ノ** (Persistent) 萼、花柱等ガ果實ノ時  
 ニ至ルモ尙ホ生存シ、又ハ葉ガ冬ヲ凌ギテ  
 尙枯死セズ生存スルトキ等ノ場合ニ此ノ語

ヲ使用ス。  
**宿存鞘** (Persistent sheath) たて類、つや  
 つりくさ科並ニ禾本科ノ植物ノ如ク或ハ宿  
 存セル鞘狀(袴狀)托葉或ハ宿存セル葉鞘ヲ  
 有スル時ニ此ク云フ。  
**謝落ノ** (Deciduous) 發生シテヨリ年内適  
 當ナル時期ニ、葉或ハ托葉ガ散落スル性質  
 ナモ、又ハ花丁レバ直チニ脱落スル萼、花  
 瓣等ノ性質ヲモ共ニ謝落トイフ。  
**深裂ノ** (Parted = Partite) 葉片ナドノ深ク  
 分裂スルモノ。  
**深波形ノ** (Sinuate) 葉片ナドノ縁邊ニ於  
 ケル形状ノ一、深く出入セル波狀ノモノヲ  
 云フ。  
**條裂ノ** (Laciniate) 狭長ナル裂片ノ排ブ  
 モノ。  
**常綠ノ** (Ever-green = Semperverent) 葉ガ  
 一周年以上ノ宿存性ヲ有シテ、四季綠色ヲ  
 呈スル狀態ヲ云フ。かし、ゆづりは、つば  
 き、もちのき、もみ、かうやまさ等ハ其ノ  
 一例ナリ。  
**蠶花** (Locusta) 禾本科植物ノ小穗 (Spikulet)  
 ノ一名。  
**唇形ノ** (Labiate) うつぼくさ、あきぎり、

等ノ花冠ノ如ク、恰モ上下二層ノ如キモノ  
 ナ有スル形状ヲ云フ。  
 唇瓣 (Lip = Labellum) らん科植物ノ花中  
 ニアル特別ノ一片。一ニ瓣ト稱ス。  
 鐘形ノ (Campanulate = Bell-shaped) つり  
 がねにんじん、ほたるぶくろ等ノ花冠ノ如  
 ク、釣鐘若クハ風鈴ニ似タル形状。  
 漿果 (Berry) ぶどう、あひなす、ほぼづ  
 き等ノ果實ノ如ク、種子が漿肉中ニ埋没セ  
 ルモノヲ云フ。  
 鍼形ノ (Subulate) 廣キ針ノ形ノモノ。  
 膝曲ノ (Geniculate) 急ニ屈曲セルコト膝  
 ノ如キ状ノモノ。  
 紫褐色ノ (Purplish brown) 紫ヲ帯ビタ  
 ル褐色ノモノ。  
 翅翼 (Wing) 種子ナドニアル翼。ゆり、  
 きぼうし、やまのいも等ハ其ノ例ナリ。  
 翅果 (Samara) すべて屬ノ植物ニ於ケル  
 果實ノ如ク翼狀ヲ有スルモノヲ云フ。か  
 へてニ在リテハ其ノ果實ハ成熟スレバ二個  
 ニ分離ス。  
 上位等 (Superior calyx) 上生等ト同シ。  
 聚葯ノ (Syngeneious) 聚成葯ト同シ。  
 聚成葯ノ (聚葯ノ) (Syngeneious) きく

科植物ニ於ケル葯ノ如ク、隣接セルモノト  
 相互ニ連結セルモノヲ云フ。  
 聚核果 (Elaeio) 核果ノ集合シテ一團ト  
 ナリタルモノ。いちじく屬 (Rubus) ノモノハ  
 其ノ例ナリ。  
 聚繖花序 (Cyme) 有限花序ノ一ニシテ、  
 遠心的ニ開花シツ、擴ガレモノヲ云フ。  
 聚繖圓錐花 (Cymous panicle) 疎漫ナル  
 聚繖式ノ圓錐花。  
 雌花 (Pistillate flower) 雌葉アリテ雄葉ナ  
 キ花。  
 雌葉 (Pistil = Pistillum) 卵子ヲ生ズル心  
 皮ガ更ニ卵子ヲ包藏スル構造トナリ變形シ  
 タルモノニテ、卵子ヲ藏スル部分ハ子房ト  
 ナリ、花粉ヲ受クベキ裝置アル部分ハ柱頭  
 トナリ、子房ト柱頭トノ中間ニハ往々花柱  
 ト稱スル部分ガ發達スルコトナリ。  
 雌雄合體ノ (Gynandrous) らん科植物ノ  
 花ニ於ケル如ク、雄體ト雌體トガ大部分合  
 體シテ一ト成リタルヲ云フ。  
 雌雄異株ノ (Dioecious) 二家ノト同シ。  
 雌雄別株ノ (Dioecious) 二家ノト同シ。  
 雌雄同株ノ (Monoecious) 一家ノト同シ。  
 雌雄花併有花序ノ (Androgyneous) 一

花序中ニ雌花ト雄花トナ併有スルモノ、た  
 かとうだい、とうだいぐさ等ハ其ノ一例ナ  
 リ。  
 雌器 (Gynoecium) 花ニ於ケル雌葉全體ノ  
 總稱。或ル場合ニハ雌雄異株ノ雌花ヲモス  
 ク云フ。  
 腎臟形ノ (Reniform) 縦ヨリハ横ニ長ク  
 シテ、下ハ凹入シ腎臟ノ形ヲ呈セルモノ。  
 藍荷微果 (Gynarthodium) 外觀真正ノ實ニ  
 酷似スレドモ、其ノ實ハ深凹セル花床ガ壺  
 ノ如クナリテ内部ニ瘦果ヲ包藏ス。即チい  
 ばら屬 (Rosa) ノ實ハ是ナリ。是等ノ外壁ハ  
 花床ノ變形シタルモノニテ、内部ノ種子狀  
 ナセルモノガ、真正ノ果實即チ前述ノ瘦  
 果ナリ。  
 褶合ノ (Conduplicate) 縦ニ中央ヨリ疊マ  
 レテ其ノ兩側ノ表面ガ相接スルモノ。  
 褶疊ノ (Plicate) しゅうろノ尋常葉あさが  
 は、おしろいばな等ノ種子中ニ於ケル子葉  
 ノ如ク褶ヲ有スル状態ヲイフ。  
 撐果柄 (Carpophore) 子房若クハ果實ヲ  
 支撐スル柄。なごし、井ニふうてふさう科  
 ノ植物ニ其ノ例アリ。  
 縦直ノ (Vertical) 上下ノ方向ニ位置ヲ取

ルモノ。  
 縱溝アル (Grooved = Channelled) 縦ニ溝  
 路アルモノ。有溝モ同シ。  
 縱條アル (Striate) 細カキ縱線アルモノ。  
 縱紋モ同シ。  
 縱畝アル (Striate) 隆起セル細カキ縱線  
 アルモノ。縱條モ同シ。  
 縱起線アル (Striate) 縦ニ隆起セル線條  
 アルモノ。縱紋モ同シ。  
 縱裂 (Longitudinal dehiscence) 縦ニ裂ケ  
 割レルコト。  
 縱裂葉鞘 (Split sheath) 禾本類ノ葉鞘ノ  
 如ク一方ノ縱裂セル葉鞘。  
 皺曲ノ (Crispate) 高低アツテ皺ノ如ク疊  
 ミタルモノ。  
 皺縮ノ (Bugous) 皺ノアルモノ。  
 皺縮皺ノ (Crumpled = Corrugate) 縮ミテ  
 皺ヲ呈セルモノ。  
 獸角形蜜槽 (Horned nectary) 獸ノ角ノ  
 狀ヲナセル蜜槽、はないかりノ花等ニ見ル。  
 織質 (Texture) 諸器官ノ組織質ヲ云フ。  
 硬、軟、粗、密等ノコトハ之ニ屬ス。  
 莖莖花 (Ament = Catkin) 鱗片并ニ殆ド  
 無花梗ナル單性花ノミカ密生シテ、特相ア

ル穗狀ヲナセルモノヲ云フ。やなぎ、くり、  
 はしばみ、いらんば、やしやぶし、はんの  
 き、くまして等ノ花ニ其ノ實例アリ。  
 鋤合巖 (Valvate aestivation) 蕾中ニ於ケ  
 ル花被發狀ノ一ニテ、釘拔井ニ毛拔ノ嘴ミ  
 合ス如キ状態ニ相隣接スル各片ガ向キ合ヘ  
 ルヲ稱ス。相互ニ覆ヒモ覆ハレモセザルヲ  
 云フ。  
 襲重鱗莖 (Imbricated bulb) たまねぎ、ら  
 っきょう等ノ食用ニ供セラレル部分ノ如  
 ク、白色ノ多肉鱗片ガ、層ヲナシ、完全ニ  
 包圍ヲナスヲ云フ。すゐせんノ球モ此ノ種  
 類ナリ。其ノ襲重セルモノハ葉ノ基部部ノ  
 多肉ニナリタルモノナリ。  
 鬚毛ノ (Hirsute) 長クテ寧ろ粗クキ強キ  
 毛ノモノ。  
 鬚狀ノ (Filiform) 纖維狀即チ鬚狀ノモノ。  
 鬚髮狀ノ (Capillary) 細キコト鬚ノ如キ  
 又鬚ノ如キ形状ノモノ。  
 之字曲ノ (Flexuous) 左右ニ反覆シテ屈  
 曲スルコト。恰モ之ノ字ノ如キモノ。其ノ  
 度合ハ種々アリ。  
 參差羽狀ノ (Interruptedly pinnate) 又  
 錯出羽狀ノ譯語アリ。羽片大小相錯ハリテ

高低參差タルモノ。きんみつびき、じやが  
 たらいもノ葉ハ其ノ一例ナリ。  
 櫛齒狀ノ (Pectinate) 葉ノ緣邊ガ櫛ノ齒  
 ノ如ク裂ケ居ルモノ。  
 薔薇形花冠 (Rosaceous corolla) いばら  
 ノ花ヲ代表物トシテ、是ニ似タル形貌ヲ呈  
 セルヲ云フ。  
 楕形ノ (Peltate) 楕ノ如ク其ノ中央ニ柄  
 ノ著キタルコト、はず、じゆんさい、のう  
 ぜんはれんノ葉ノ如キモノ。  
 捻振ノ (Twisted) れぢれタルモノ、即チ  
 捻レタルモノ。  
 刺アル (Spinous) 刺ノアルモノ。  
 針 (Prickle) 刺 (Spine) ニ似タレドモ、タ  
 ダ外皮ヨリ生ズ。いばら、いちご等ノはり  
 ハ即チ是ナリ。  
 水生ノ (Aquatic) 水中ニ生ヘルモノ。  
 水平ノ (Horizontal) 眞直ニ横ノ位置ヲ取  
 ルモノ。  
 數列生ノ (Pleuristichous) 數列ニ排ラフ  
 コト。

ス



穗狀花 (Spike) おほぼこ、おのこづち、はへとりさう、くまつら等ノ花穂ノ如ク伸長セル花軸ニ無柄ノ花ガ著セル花序ヲ云フ。  
數列 (Several rows) 花器ナドノ數個ノ列ニ並ベルコト。即チ同種ノ器官ガ數列ニナレルトキ用フ。

七

全備花 (Complete flower) 花ノ代表的形式トシテ中心部ニ雌雄アリ、其ノ周圍ニ雄葉ノ輪層アリ、其ノ又周圍ニ花冠ノ占ムル輪層アリ。而シテ最外層ニハ萼ノ輪層アルモノヲ完全ナリトス。此ノ完全ナル代表的形式ニ相當セル構造ヲ有スル花ヲ全備花ト稱ス。  
全裂ノ (Divided) 底部ニ達シ全然分裂スルモノ。  
尖裂ノ (Cleft) 中部邊マデ分裂スルモノ。中裂ト譯スル方適當ノ様考ヘラル。  
尖帽形ノ (Mitriform) 道化者ノ被ル圓錐形ノ帽子ニ似タルモノ。蘇帽ニヨク此ノ形ノモノアリ。

舌狀ノ (Ligulate) 舌ノ形ノモノ。  
舌片 (Ligule) きつ、えぞぎく、しんん、てんぢくばたん等ノ放線小花ノ花冠主部ノ如ク長キ舌ニ似タル形状ノ片。

舌狀花 (Ligulate flower) 頭狀花ヲ構成スル花ノ一、花冠ガ舌狀ヲナセルモノ。一ニ放線花ト稱ス。  
石竹様花冠 (Caryophylloids corolla) なごし、おらなごし等ノ如キ型式ノ花冠。

全邊 (Entire) 葉等ノ縁邊ニ缺刻、鋸齒等ナク、全ク平縁ナルヲ云フ。  
前面ノ (Anterior) 花ノ方向ニ關シテノ名、其ノ花ガ花軸ニ背キタル方位ノ部ヲ此ク云フ。若シ花軸ニ苞アレバ花ハ其ノ苞腋ヨリ出ヅルヲ以ツテ真正ニ花ノ其ノ苞ニ向フタル部ガ前面ナリ。らん類ノ花ノ如ク小梗ノ終振ニヨリテ前後ガ轉倒シ、真正ノ後面ハ外觀上ノ前面トナリ、真正ノ前面ハ亦外觀上ノ後面トナリタルモノアレドモ、此ノ場合ニハ其ノ外觀上ノ位置ヲ採ラズシテ真正ノ位置ニヨリテ前後ヲ定ム。らん類ノ花ハ幼キ蕾ノ時之ヲ檢スレバ皆尙ホ正當ナル位置ヲ亂サズ居ル故其ノ眞ヲ見ルコトヲ得。

前後平扁ノ (Obcompressed) 前後ヨリ壓トナル。  
臍阜 (Caruncle) 種子ノ臍并ニ其ノ邊ノ部ガ高ク隆起セルモノ。

扁セラレタルモノ。  
前葉體 (扁平體) (Prothallium) 羊齒植物群ノ胞子萌發シテ有性生殖器官ヲ生ズル所謂有性世代ノ植物體トナレルモノヲ云フ。  
星芒狀ノ (Zollate) 星ノ光芒ノ四方ニ射出セル如ク周邊ニ車輻狀ニ出デシ形状ノモノ。

淺裂ノ (Lobed) 淺ク分裂スルモノ。  
扇形ノ (Fanlike) 擴ゲタル扇ノ如キ形状ノモノ。  
線形ノ (Linear) リウのひげ、ほくろ等ノ葉ノ如ク、狹長ニシテ其ノ兩縁平行セルモノ。

閃點ノ (Pellucid-punctate) 透光スル油點アルコト、みかん、こくさき等ノ葉ノ如キモノ。  
節 (Node) 莖枝ニ於ケル維管束ノ特ニ結集シタル局部、普通葉ヲ生ズル處、たけ類ノふしハ最モ顯著ナルモノナリ。

節莖 (Node) むすびとはぎ、ふぢかんざう、みそなおし、くさむね等ノ果實ノ如ク節ヲ有シ、成熟スレバ、其ノ節ヨリ折離スル莖ヲ云フ。

疎在ノ (Loose) まばらニ在ルコト。  
疎寬ノ (Loose) 寬キモノ。疎在ト同ジ。  
疎長毛ノ (Pilous) 餘リ密ニ生ヘズシテ多少強キ長キモノノモノ。  
側根 (Axial root) 中軸ヨリ側方ニ出ヅル根。  
側生ノ (Lateral) 側方ニ生ジタルモノ、或ハ側方ヲ云フ。  
側在ノ (Lateral) 中央ヲ離レテ側ニ在ルモノ。  
側向ノ (Lateral) 側ニ向フモノ。例ヘバ側向葯ハ内ニモ外ニモ向カズシテ、タゞ側方ニ向ヒ開裂スルモノ。うまのあしがた科植物ニ其ノ例多シ。  
側倚ノ (Accumbent) 胚軸ガ横ミテ子葉ノ邊縁ト觸接セルモノ。十字科ノ植物ノ中ニ見ル。  
側著葯 (Adnate anther) 葯ノ外側又ハ内側ニ花絲ガ著セル如ク見ユルモノヲ云フ。葯ガ全長ヲ通ジテ葯隔ニ側著セルモノナリ。  
側膜胎座 (Parietal placenta) 一室ノ子房并ニ果實ニ在ル處、室ノ周邊ニ位スル胎座。  
僧帽形ノ (Cucullate) 上方圓ク、下方狹

節間 (Internode) 節ト節トノ間ヲ此ク稱ス。  
接在ノ (Closed) 互ニ相接近シテ位置ヲ占メルコト。  
箭形ノ (Sagittate) 底部ノ耳尖リテ下ヲ指スモノ。  
纖匍枝 (Runner) 根モトヨリ出デタル細長ナル枝ニテ地上ニ横ハリ其ノ節ヨリ根ノ出ヅルモノ。  
螫毛 (絨毛) (Sting || Stimulus) いらくさノ葉莖ニアルモノ如ク、其ノ尖端ハ堅クシテ而モ脆ク、ヨク物ヲ刺セドモ直チニ折レ易キモノニテ、毛ノ内ニハ發酸性ノ液體ヲ含ミ、尖端折ルレバ夫レヨリ溢レ出ヅ。是等ノモノハ人體ニ觸ルレバ膚ヲ刺シテ其ノ瘡口ニ含液ヲ注ギ入レ堪ヘ難キ疼痛ヲ與フ。  
截形ノ (Truncate) 葉片等ノ頂若クハ基部ガ中脈ト直角ニナル様ニ平坦狀ヲ呈スルヲ云フ。即チ其ノ部ヨリ斷然ト截リ去リタルガ如ク見ユルモノヲ云フ。  
臍 (Hilum) 卵子ノ著點ノ後ニ、種子ノ臍

東生ノ (Fasciculate) 一處ニ東ネテ生ズルモノ、叢生ト云フモ同ジ。  
東集狀ノ (Fasciculate) 東生又叢生ト云フト同ジク一處ニ叢生スルコト、恰モ東ネ集メタル如キモノ。  
東集聚繖花 (Fascicle) 直立セル花ヨリ成リシ密集聚繖花デアル。  
早落ノ (Caducous || Eufucous) 本然ノ時期ヨリ早ク脱落シ去ルモノ。  
粗大ノ (Stout) 太キモノ。  
草本植物 (Herbaceous plant) 草質莖ヲ有スル植物ニシテ、木本ニ對シテ言フ、唯便宜上ノ語ナリ。  
草質ノ (Herbaceous) 木質組織ノ發達セザル植物體ヲ云フ。  
草質莖 (Herbaceous stem) 木質組織ノ殆ド發達セザル柔軟ノ莖、即チ草本ノ莖ヲ云フ。

第三卷 植物記載學用語ノ一斑

窄セル被衣形ノモノ。  
 雙生ノ (Binate) タゞ一對ノモノ。  
 雙子葉ノ (Dicotyledonous) 二個ノ子葉ノモノ。  
 雙頭形ノ (Dimittate) 平等ニ兩分サレテ一對チナスモノ。  
 雙子葉莖 (Dicotyledonous stem) 雙子葉植物ノ莖。  
 糙澁ノ (Scabrous) 手ニ觸レテザラザラセル表面ノモノ。  
 接合ノ (Connivent) 周圍ヨリ相集リテ接在セルモノ。  
 瘦果 (Acheneum) 果皮ガ成熟スルモ開裂スル事ナク、革質若クハ木質チナシ、内部ニタゞ一個ノ種子ヲ藏スルモノヲ云フ。ゼんにんさう、きつれのぼたん等ノ果實ハ其ノ例ナリ。  
 瘦針形ノ (Acutular) 瘦セタル針ノ形ノモノ、針形ヨリハ細狭ノモノ。  
 層放線頭狀花 (Radiant capitulum) 管狀花ナク悉ク舌狀花ナル頭狀花チイフ。たんぼ、のげしハ一例ナリ。  
 簇集圓錐花 (Thyrs) 密集シテ圓錐形タル圓錐花。

簇集聚繖花 (Cymus thyrs) 密簇セル聚繖花ナリ。  
 叢生ノ (Fasciculate) 一個處ヨリ二體以上ノモノガ集リ一緒ニ生ズル狀態ヲ云フ、おほむぎ、こむぎ、ついで等ノ莖幹ハ其ノ例ナリ。  
 叢生一家花ノ (Clustered monocious) 雌花若クハ雄花ノミガ特ニ叢生スルチ云フ、まつ、すぎ、ほつぷ、たうごま等ノ雄花叢若クハ雌花叢ノ如キ其ノ例ナリ。  
 總苞 (Involucre) きく科植物等ノ頭狀花ノ周圍ヲ包ム鱗片狀ノモノ及ビ繖形科植物ノ繖形花ノ花梗ノ分岐スル部處ヲ圍ム鱗片狀等ノ如キモノノ總稱。  
 總狀花 (Raceme) 主軸ハ無限ニ生長シ、求頂的ニ側生枝ヲ出シ、各枝ノ頂端ニハ一花ヲ着クルモノヲ云フ。サレバ最モ古キ花ハ主軸ノ頂端ヨリハ最モ距リタル下部ニアリテ花ノ發育順序ハ求心的ナリ。ふぢ、あぶらなノ花穂ノ如キ其ノ一例ナリ。  
 總苞片 (Involucral scales) きく科、繖形科等ノ植物ニ於ケル總苞ヲ構成スル各鱗片ヲ云フ。

大形ノ (Large) 大ナル大サノモノ。  
 托葉 (Stipule) 葉柄ノ基部ニ存スル小片ヲ云フ。發生系統ヨリ言ハバ葉ノ一部チナスモノナリ、其ノ位置、形狀等ハ植物ノ種類ニヨリテ種々異ナレリ。  
 托葉卷鬚 (Stipular tendrils) 托葉ノ位置ヲ占メシ卷鬚、さるとりいばらハ其ノ適例ナリ。  
 坦平ノ (Flat) 高低ナク凸凹ナク其ノ面ノ平ラカナルモノ。  
 多葉ノ (Polyphyllous) 分立セル多クノ葉片アルモノ。  
 多數ノ (Many = Numerous) 澤山ノ數ノモノ。  
 多體ノ (Polypetalous) 相集リテ多體トナレルモノ。  
 多子葉ノ (Polycotyledonous) 三個若シクハ夫レ以上ノ子葉アルモノ。まつナドハ好例ナリ。  
 端正花 (Regular flower) うめ、ぼたん、はす、ききやう、あさがお、おしろいばな等ノ如ク、花形端正ニシテ歪邪ナラザルモノ。

多面體ノ (Polyhedral) 多面ヲ有スル體形ノモノ。  
 多雄藥ノ (Polyandrous) いくつゝばや、うめ等ノ雄藥ノ如ク廿個以上アリテ、而モ一定數ヲ示サマルモノ。  
 多年生草本 (Perennial herb) 草本植物ニシテ、多年間營養作用ト生殖作用トヲ營ム個體ヲ云フ。  
 多心皮果實 (Many-carpellary fruit) 多數ノ心皮ヨリ成リタル果實。  
 多岐聚繖花 (Platichasium) おみなへし、かのこさう等ノ花序ニ於ケル如ク、複雜ニシテ不規律ナル聚繖狀ヲ呈スルモノヲ云フ。  
 單一ノ (Simple) 單位ノモノ、即チ單形ヲ表セルモノ。  
 單列ノ (Uniserial) 一列ニ排ブコト。  
 單葉 (Simple leaf) タゞ一枚ノ葉片アル葉ニシテ、基部ニ一ノ關節ナキモノ。みかん類、めぎ、へびのぼらず等ハ葉片タゞ一枚ノ葉ナレドモ、下ニ關節アルチ以テ複葉ニ入ルベキモノトス。  
 單子葉ノ (Monocotyledonous) 一個ノ子

葉アルモノ。  
 單子葉莖 (Monocotyledonous stem) 單子葉植物ノ莖。  
 單獨ノ (Single) タゞ一個ノモノ。  
 單體ノ (Monolephous) 相集リテ一ノ體ヲナセルモノ。  
 單胞ノ (One-celled) 一室ノモノ。  
 單掌狀ノ (Unipalmate) タゞ一回分レタル單一ノ掌狀ノモノ。  
 單性花 (Imperfect flower) 雄花、雌花ノ總稱。  
 單被花 (Monochlamydeous flower) 一輪花ト同シ。  
 單繖花 (Simple umbel) 單一ナル繖形ノモノヲ云フ。らぎやうノ花穂ハ其ノ一例ナリ。  
 單一擇果柄 (Entire carpophore) 單一ニシテ分岐セズ擇果柄。  
 胎座 (Placenta) 心皮内ニアリテ卵子ガ著生スル處。其ノ位置ニヨリ、側膜、中軸、獨立中央等ノ別アリ。  
 胎座式 (Placentation) 胎座ノ狀。  
 陀螺形ノ (洋式獨樂形ノ) (Turbinate) 圓錐形ヲ倒ニシタル形ノモノ。

對生ノ (Opposite) 二者ノ位置ガ向キ合ヒタルコト。  
 短 (Short) 短キモノ。  
 短角 (Stipule) 十字科ノなづな、ぐんばいなづなニ有スル如キ短闊ノ果實ヲ云フ。  
 短匐枝 (Offset) 繁殖用ノモノニテ株側ニ出ツル短キ匐枝。  
 彈力アル (Elastic) 彈力カノアルコト。  
 帶白ノ (Glaucous) 白色ヲ帶ビタル綠色。例ハぼたん葉ノ色ノ如シ。  
 帶霜ノ (Pruinous) 白粉ヲ以テ覆ヒシモノ、嫩キはちくノ稗、すももノ果實ニ見ル。  
 帶紫色ノ (Purplish) 極淡キ紅紫色ノモノ。  
 彈分蒴果 (Regma) 蒴果ノ一種。熟スルヤ其ノ心皮相分離シ彈力アル柄ニヨリテ扛起シ種子ヲ飛バス。ふうろさうハ其ノ一例ナリ。  
 彈環 (Annulus) わらび、いねわらび、おのもとさう等ノ胞子囊ヲ檢スレバ、一列ノ特別細胞ガ帶狀チナシタルチ見ルベシ、コレチ彈環ト云フ。  
 楕圓形ノ (Elliptical) 長楕圓形ノ今少シ其ノ邊緣ノ張り出タルモノ。

團集聚繖花 (Glomerule) 頭狀ノ如ク圓ク團集セル聚繖花。  
磚花形ノ (Chequered) 市松形ノモノ。

子

中軸 (Raehis) 中央ノ軸ニテ複葉ノ場合ニハ小葉ヲ著ケル中軸部ヲ指シ、花穂ノ場合ニハ花ヲ著ケル中央ノ軸部ヲ指ス、花穂ノ時ニハ花軸トモ云フ。  
中軸生ノ (Axial) 正中即チ中軸ニ當ル處ニ位スルモノ。  
中軸胎座 (Axial placentia) 腋生胎座ト同シ。  
中脈 (Midrib) 葉面ノ中軸ヲ占ムル大脈ヲ云フ。普通單葉ノ場合ニ用ウ。  
中實ノ (Solid) 内部空處ナク實ノ實セルモノ。  
中性花 (Neutral flower) 雌雄モ雄雌モ共ニ之レナキ花。  
中果皮 (Mesocarp) もも、あんず、うめ等ノ核果ニ於テ果皮ノ多肉ナル部分ヲ云フ。  
長 (Long) 長キモノ。  
長角 (Siliqua) 十字科ノだいこん、あぶら

な等ノ長形ノ果實ヲ云フ。  
長軟毛ノ (Villose) 長キ軟カキモノノ、其ノ毛ハ往々臥セリ。  
長楕圓形ノ (Oblong) 楕圓形 (Elliptical) ノ狭ク長キモノ、其ノ兩側縁ハ多少相平行ス。  
長縁毛アル (Fimbriate) 邊縁ニ粗大ナル毛片アルモノ。  
長楕圓狀圓棒形 (Oblong-terete) 長楕圓形ヲ帶ビタル圓棒形。  
直根 (Tap-root) 主根ト同シ。  
直立ノ (Erect) 上方ニ直立スルモノ。  
直生ノ (Orthotropous) 卵子并ニ種子ガ直立シテ斜メナラズ、其ノ卵孔ガ隣ニ對シテ正シク反對ノ位置ヲ取りシモノ。  
直垂ノ (Suspended) 眞上ヨリ垂レ下ガルコト、懸垂ト同シ。  
直垂卵子 (Suspended ovule) 卵子ガ子房内ノ上壁ヨリ生ジテ、眞直ニ下垂セルモノ。  
柱頭 (Stigma) 或ハ下ニ花柱ヲ有シ、或ハ直チニ子房上ニ坐シ、雌葉ノ花粉ヲ受ケル場處、形狀種々アリ。  
地中生ノ (Underground = Hypogean) 地

ノ中ニアルモノ。  
超出ノ (Exserted) 他ノモノヲ超エテ出ヅルコト。外出ト同シ。  
張口形ノ (Ringent) 開キタル兩唇形ノ花冠ノ如ク、開口セル如キ形ノモノ。開口形、欠形モ同シ。  
弛緩ノ (Loose) 互ニ密接セズシテ寛クナリタルモノ。  
凋遺ノ (Withering = Marcescent) 落チズニ凋ミテ遺レコト。  
蝶形様花冠 (Papilionaceous corolla) 蝶形ノモノニテまめ科ノ特別ナル花冠。蝶形ハ始メ蛾形ト呼ビタリ。  
蜘蛛狀ノ (Fossanifer) 蜘蛛ノ絲ノ如ク極ク細クシテユラユラセルモノ。  
蜘蛛毛ノ (Velvety) 蜘蛛ノ絲ノ如キモノ。  
塵毛ノ (Pulverulent) 極メテ細微ノ毛アルモノ。  
重牙齒ノ (Doubly dentate) 牙齒ノ齒ガ再ビ牙齒ヲ有セルモノ。  
重複狀ノ (Decomposed) 分裂ニ分裂チ重ネ、幾回モ重複セルモノ。  
重鋸齒ノ (Doubly Serrate) さくざくざん、

はしばみ及びさくらノ葉等ノ縁邊ニ於ケル如ク、大鋸齒ハ更ニ小鋸齒ヲ有スルモノヲ云フ。即チ鋸齒重複ス。

テ

丁字著葯 (Versatile anther) ゆり、めたけ、まだけ、いれ等ノ葯ノ如ク、其ノ背部ノ中央ニテ花絲ガ著生シ、恰モ丁ノ字形ヲナシ轉動シ得ルキモノヲ云フ。  
定數ノ (Definite) 一定セル數アルモノニテ、通常二十數ヲ超ヘズ。  
底部 (Base) 諸器官ノ底部ヲ云フ。又基部、脚部、基部ト稱ス。  
底着ノ (Innate) はす、ぼたん等ノ雄葉ニ於ケル如ク、花絲ガ葯ノ基部ニ著生セル状態。  
底在ノ (Basilar) 底部即チ基部ニ位スルモノ。  
底生花柱 (Basilar style) むらさき科、唇形科等ノ植物ノ花柱ノ如ク子房ノ基底ニ生ズルモノヲ云フ。  
點頭ノ (Nodding = Cernuous) 傾キテ傍チ向クモノ。

葶 (Stipe) 葉ヲ著ケザル根生ノ花莖ヲ云フ。ひがんばな、れぎ、すむせん、さくらさう等ニ其ノ例ヲ見ルベシ。  
鐵銹色 (Ruginous) 鐵器ノ表面ニ生ズル赤銹ノ如キ色ヲ云フ。  
纏繞ノ (Twining = Volute) 蔓チナミタル莖ガ他物ニ纏繞シテ卷キ上ルモノ。  
纏繞草本 (Twining herb = Volute herb) 莖ガ蔓チナシテ他物ニ纏繞スル草本。  
纏繞藤本 (Twining shrub = Volute shrub) 莖ガ蔓チナシテ他物ニ纏繞スル灌木。  
頂部 (Apex) 諸器官ノ頂端ナリ。又頂末、頂末、頂端ト稱ス。  
頂末 (Apex) 頂部ト同シ。  
頂生ノ (Terminal) 莖或ハ枝ノ頂末ニアルモノ。  
同大 (Hiltsize) 同シ大サノモノ。  
同性花ノ (Homogamous) きく科植物中ニガな、あざみ等ノ如ク、一個ノ頭狀花ハ總ベテ同性ノ小花ノミヨリ成レルヲ云フ。  
同貌ノ (Simple) 例ハバ冠毛ノ全體皆同

様ノ形貌ヲ有スル時斯ク言フ。  
同數花 (Isomerous flower) 等數花 (Symmetrical flower) ト同シ。  
同名異物 (Synonym) 同シ事物ニ對シ、人ニヨリ往々稱呼チ異ニスルコトアリ、此ノ名稱ヲ同物異名ト稱ス。  
凸鏡形ノ (Lenticular) 兩面凸ニシテれんズノ形ヲナセルモノ。  
凸出ノ (Convex) 中央ノ隆起セルモノ。  
凸頭ノ (Cuspidate) 突然狹窄シテ狭長ナル小尖トナリタルモノ。  
筒形ノ (Tubular) 筒ノ形ノモノニテ、管形ト同シ。  
頂末 (Apex) 諸器官ノ頂上ノ部ヲ云フ、頂部ト同シ。  
頂末逢著ノ (Closed at apex) 頂末ノ部ガ相互ニ接シタルコト。  
頂末離在ノ (Apart at apex) 頂末ノ部ガ互ニ離レタルコト。  
頭形ノ (Capitate) 壓扁セヨレタル球形ノモノ。  
頭領 (Collum = Collar) 根部ト莖部ト聯合スル部分ヲ云フ。  
頭狀花 (Capitulum = Head) きく科植物ノ

花ニ於ケル如ク、其ノ大ナル花床面ニ多數ノ無柄小花ヲ集メテ頭狀ヲシタルモノヲ云フ。

**頭大羽裂ノ** (Lysiate) 羽裂シ其ノ頂末ノ一裂片最大ナルモノ。

**頭端綠色ノ** (Green-tipped) 頂末ガ綠色ヲ呈スルモノ。

**特立中央胎座** (Pre-central placentia) 子房并ニ果實ノ室ノ中央ニ在リ特立シテ他部ト關聯セザル胎座。

**獨生ノ** (Solitary) 唯一ツ獨立シテアルモノ。

**兜形ノ** (Galeate) 兜ノ形アルモノ。

**倒生ノ** (Anatropous) 卵子并ニ種子ガ引クリ反リテ其ノ卵孔ガ臍ノ側ニ來リタルモノ。

**倒卵形ノ** (Obovate) 卵形ノ倒ニナリタルモノ。

**倒卵圓形ノ** (Obovoid) 卵圓形ヲ倒ニセシ形状。

**倒心臟形ノ** (Obcordate) かたばみノ小葉ノ如キ形状ヲ云フ。即チ心臟形ヲ轉倒シタル形ナリ。

**倒披針形ノ** (Oblanceolate) 披針形ノ倒ニ

ナリタルモノ。

**登花** (Fertile flower) 花後果實ヲ結ブ花。

**等數花** (Symmetrical flower) 花中ノ各圈ニアル花器ノ數ノ同一ナル花、一ニ同數花 (Isomerous flower) ト稱ス。

**橙果** (Hesperidium) 不開裂果ノ一、果皮ハ韃皮質、内部ハ數室ニ分ル。だいたい、みかんハ其ノ一例ナリ。

**透明ノ** (Hyaline) 質ノ透キ通リタルモノ。

**鈍形ノ** (Obtuse) 鈍角若シクハ鈍圓ノ狀アルモノ。

**鈍波形ノ** (Undulate) 屈曲スルコト連波形ニ同シト雖モ、其ノ畝ハ鈍形ヲナシ角度ナキモノ。

**鈍緣口** (Obtuse mouth) 鈍形ヲ呈セル葉鞘ノ口。

**鈍鋸齒ノ** (Crenate) 葉緣ナドニ於ケル鋸齒ニシテ圓頭ナルヲ云フ。マタ之ヲ雲頭齒ト譯セル人アリ。重覆シタルモノハ重鈍鋸齒ト云フ。

**莖** (Scape) 葎ヲ見ヨ。

**内曲ノ** (Incurved) 内方ニ彎曲セルコト。

**内向ノ** (Centripetal) 胚ノ胚軸ガ早實ノ中軸ノ方ニ向フモノ。

**内向葯** (Introre) 花ノ中央ニ面シテ開裂スル葯。

**内旋ノ** (Involute) 兩緣ガ内方ニ卷クモノ。

**内在ノ** (Included) 周圍ノ他ノ器官ヲ超エテ超出セズモノ。

**皮内種** (Egumen = Endopleura) 種子ノ内皮。

**皮内卵** (Scemaline) 卵子ノ内皮。

**軟骨質ノ** (Cartilaginous) 軟骨ノ如キ質ノモノ。

**内花蓋** (Inner perianth) 花蓋ノ項ヲ見ヨ。

**内向鑷合袋ノ** (Induplicate valvate) 鑷合袋ヲナス各片ノ緣端内方ニ向ヒ、而シテ其ノ外側ヲ以テ相接スルモノ。

**捻曲ノ** (Twisted) 捻タルモノ。

**二列** (Two rows) 花器ナドガ二ツノ列ニ並ブコト、即チ同種ノ器官ガ二列セルトキ用フ。

**二列生ノ** (Distichous) 兩側ニ二列ヲナシ

テ排ブコト。

**二數ノ** (Dimerous) 二ノ數ノモノ。

**二胞ノ** (Two-celled = Bilocular) 二室アルモノ。

**二家ノ** (Dioecious) 雌雄異株ノ、雌雄別株ノ (Dioecious) やなき屬、いてふ、あき、はうれんさう等ニ於ケル如ク、雌花ト雄花ト別別ノ株ニ生ズルモノヲ云フ。故ニ同種中甲ノ株ニハ雌花ノミヲ生ジ、乙ノ株ニハ雄花ノミヲ生ズ。

**二葉ノ** (Bifoliate) じやうれんりさう等ノ複葉ニ於ケル如ク、唯二個ノ小葉ガ對生狀ヲナシタルモノヲ云フ。

**二強ノ** (Didynamous) 四雄蕊アリテ中二者ハ長ク、二者ハ短キモノ、又二長二短ト稱ス。

**二裂ノ** (Bifid) ニツニ分裂セルモノ。

**二體ノ** (Diadelphous) 相集リテ二體トナルモノ。

**二齒アル** (Bidentate) 二個ノ齒アルモノ。

**二年果** (越年果) (Biennial fruit) まつ屬ノ果實ノ如ク、春季受粉作用ヲ遂グルモ、翌秋ニ至ラザレバ、成熟セザルヲ云フ。

**二形果ノ** (Heterocarous) 一株ノ果實ニ

二種類アルモノ、即チひとつはたごニ於ケルガ如シ、此ノ樹ハ大小二種ノ果實ヲ生ジ、大ナルモノハ發芽力強クレドモ、小ナルモノハ發芽力殆ド全クナキガ如シ。

**二數花** (Dimerous flower) 花器皆各々二ノ數ヲ以テ構成スル花。

**二被花** (Dichlamydeous flower) 二輪花ト同シ。

**二輪花** (Dichlamydeous flower) 萼ト花冠トヲ併有スル花、一ニ二被花ト稱ス。

**二雌蕊ノ** (Digynous) 二個ノ雌蕊ノモノ。

**二皮核果** (Tryma) 稍乾ケル核果ニテ、外皮ハ柔ク或ハ硬キ纖維質、内皮ハ骨質ナリ。又多クハ二室、二心皮ヨリ成ル。くるみハ一例ナリ。

**二層皮ノ果實** (2-coated fruit) 果皮ノ識質二層トナリタル果實。

**二心皮果實** (2-carpellary fruit) 二心皮ヨリ成リタル果實。

**二長二短ノ** (Didynamous) 二強ノト同シ。

**肉質ノ** (Succulent) 液汁ヲ含ミ且ツ多肉肥厚ノモノ。

**肉穗花** (Spadix) まむしぐさ、てんなんせう、こんびやく、しやうぶ等ノ花軸ノ如ク、

肉質肥厚ノ柱體ニ、花ガ密著シテ穗狀ヲナセルモノ。

**肉質毬果** (Galeatus) 特別ナル毬果ニシテ鱗片多肉、開カザルモノ、いぶき、れす、はひれすノ毬果ハ其ノ例ナリ。

**肉質聚合果** (Sorosis) あななす等ノ果實ニ於ケル如ク、多數ノ果實ガ聚合シテ多肉一個ノ果實狀ヲ呈セルモノ。

**乳頭狀ノ** (Papillose) 乳房頭ノ狀ヲナセルモノ。

**乳頭狀毛** (Papillose hairs) 乳房頭ノ如キ頭ヲ有スル細毛。

**示**

**根** (Radix = Root) 普通ノ根ハ植物體ノ養料トナル水溶物質ヲ吸收シ、且ツ錨著スル用ヲナス。

**念珠狀ノ** (Moniliform) 數珠ノ形ヲナセルモノ。

**粘質ノ** (Mucilaginous) 粘ル質ノモノ。

**囊形ノ** (Saccate) 短ク圓クシテ囊形ナナセルモノ。  
**囊堆(子囊群)** (Sorci) 羊齒植物群ノ植物體上ニ見ルガ如ク、孢子囊ガ群生セル場合、其ノ群ヲ云フ。  
**囊括果** (Hypanthodium = Sycotium) いくじクニ見ル如ク、其ノ花軸著シク陷凹シテ深ク窪ミ、其ノ凹處ニ多數ノ花ヲ生ツテ肥厚ノ壁之ヲ包ミ一緒ニ成熟シテ多肉ニ成リタルモノ。

ハ

**半圓形ノ** (Semiobovate) 圓形ヲ半截シタル其ノ半部ノ形狀ノモノ。  
**半圓柱形ノ** (Semitere) 圓柱形ヲ縱ニ半截シタル形ノモノ。  
**半透明ノ** (Pelucid) 半透明ナルモノ。  
**半倒生ノ** (Amphitropous) 卵井ニ種子ガ半倒ニナリシモノ、即チ其ノ臍ガ卵孔ト合點トノ半ノ處ニ來リタルモノ。  
**半球形ノ** (Hemispherical) 球ヲ半截セル形狀ノモノ。  
**半跨狀ノ** (Obovate) 各葉ガタタ其ノ半

部ヲ以テ他ヲ抱擁スルモノ。  
**半灌木ノ** (Subfruticose) 灌木質ヲ帶アルモノ。即チ多少灌木ノ狀アルモノ。  
**半平半凸ノ** (Plano-convex) 一ノ半面ハ平タリ、一ノ半面ハ凸ニナリタルモノ。  
**半透明質ノ** (Translucent) 半透明ナル質ノモノ。  
**反曲ノ** (Recurved) 背後ニ反曲セルモノ。  
**杯形ノ** (Cup-shaped) べつぷ形ノモノ。  
**背生ノ** (Dorsal) 背ニアルコト。  
**背脊** (Rhaphé) 倒生卵子ニ見ル所ニシテ、其ノ卵柄伸ビテ其ノ背ニ沿附シ、脊ヲナセルモノ。  
**背倚ノ** (Incurvant) 胚軸ガ撓ミテ一方ノ子葉ノ背ニ來リタルモノ、十字科植物ノ中ニ見ルベシ。  
**背脊アル** (Carinate) 背ニ隆起セル脊梁アルモノ。  
**胚** (Embryo) 卵細胞ガ受胎後發育シテ極メテ幼稚ナル植物體トナレルモノ、種子植物ニ於テハ卵子内ニテ其ノ完全ナル發達ヲナス。

**胚乳** (Albumen) 有胚乳ノ項ヲ見ヨ。  
**胚珠** (Nucellus = Nucleus) 卵子ノ皮内ノ體、今日普通ニ言フ所ノ珠心。  
 今日謂フ所ノ胚珠ハ須ラク卵子トスベキモノナリ、然ルニ一植物學者ノ誤譯ニ誤ラレテ以來、一人ノ反正者ナキ爲メ、今ハ普通ニ Ovary ノ譯語トナリ了レルモ、元來ハ今日言フ所ノ珠心 (Nucellus) ナリ。  
**胚軸** (Hypocotyl) 胚ノ子葉ノ下ニ連ナル中軸體。  
**斑色アル** (Variegated) 交リタル色ノアルコト。  
**斑點ノ** (Dotted) 油點又ハ黑點アルモノ。  
**牌瓣** (Lobatum) 唇瓣ト同シ、らん科植物ノ花中ノ特別ナル一片。  
**蓓蕾** (Alabastrum = Flower-bud) 花トナルベキ芽即チ花芽ト同シ。世人花蕾ト書ス者アレドモ、蕾ハ花ノ未開者ノ專稱ナレバ、之ニ花ヲ加フルハ恰モ氷ヲ凍氷ト言フガ如ク不必要ナル字ヲ添加シ却テ語ヲ成サズ、故ニ、花蕾ト云ハズ、花芽ト云フベシ。  
**薄質ノ** (Thin) 質ノ薄キモノ。  
**盤曲ノ** (Coiled) 渦ノ如ク卷キタルモノ。  
**盤旋ノ** (Circinate) 拳曲ト同シ。  
**盤狀花** (Disk-flowers) 頭狀花ヲ構成スル管狀ヲナセル花、一ニ管狀花ト稱ス。

**盤狀頭狀花** (Discoid capitulum = Discoid head) タタ管狀花ノミニテ舌狀花ヲ缺如セル頭狀花ヲ云フ。ふき、よもぎハ一例ナリ。  
**攀緣ノ** (Climbing = Scandent) 蔓ヲナシタル莖ガ卷鬚等ノ器官ニヨリテ他物ニ攀ナサルモノ。  
**攀緣草本** (Climbing herb = Scandent herb) 莖ガ蔓ヲナシ卷鬚ヲ以テ他物ニ攀ナル草本。  
**攀緣藤本** (Climbing shrub = Scandent shrub) 莖ガ蔓ヲナシ卷鬚、或ハ氣根、或ハ葉柄ヲ使ヒ他物ニ攀ソル灌木本。  
**反卷ノ** (Revolvute) 背面ノ方ニ卷キタルモノ。

ヒ

**肥厚ノ** (Thickened = Massive) 分ノ厚キモノ。  
**尾狀ノ** (Caudate = tailed) 尾ノ形狀ノモノ。  
**筆毛狀ノ** (Pencilate) 筆ノ毛ノ如ク毛ガ一處ヨリ出テタルモノ。  
**被子雌蕊** (Closed pistil) 心皮アリテ卵子ヲ包ミタル雌蕊。

**披針形ノ** (Lanceolate) 長楕圓形ヨリハ狭ク、而シテ兩端尖リタルコト、恰モ披針ノ如キ形狀。  
**菲薄ノ** (Thin) 質ノ薄キモノ。  
**微凸頭ノ** (Mucronate) 中脈線端ヨリ微ニ斗出シテ小尖ヲナシタルモノ。  
**微凹頭ノ** (Raduse) 平タクシテ少シク凹入セルモノ。  
**微白色ノ** (Incanous) 淡キ白色ノモノ。  
**百合様花冠** (Liliaceous corolla) びり類ノ如キ型式ノ花冠。

フ

**不明ノ** (Inconspicuous) 細微ニシテ著明ナラザルモノ。  
**不定數ノ** (Indefinite) 數ノ確定セラレ居ラズモノノ場合ト、又ハ容易ニ計算スルコトノ出來×程澤山アル場合トニ此ノ語ヲ用フ。  
**不發育ノ** (Rudimentary = Rudimentary) 器官ノ十分ニ發育セヌコト。  
**不開裂ノ** (Indehiscent) 果實ナドノ期ニ及ビ尙ホ開裂セヌモノ。

**不開裂果** (Indehiscent fruit) 開裂セヌ果實。  
**不齊齒アル** (Unequal-toothed) 大小不齊ノ齒アルモノ。  
**不齊淺裂ノ** (Unequal-lobed) 大小不齊ニ淺裂セルモノ。  
**不齊深裂ノ** (Unequal-parted) 大小不齊ニ深裂セルモノ。  
**不齊尖裂ノ** (Unequal-cleft) 大小不齊ニ尖裂セルモノ。  
**不登花** (Sterile flower) きく科ノ頭狀花中ニハ特ニ種子モ果實モ生ゼザル所謂中性ノ花アリ、又木本植物ノ花ニモ斯ノ如キ性質ノモノアリ。此等ヲ不登花ト稱ス。  
**不備花** (Incomplete flower) 花器ノ或ルモノヲ缺キタル花。  
**不育花** (Rudimentary flower = Abortive flower) 完全ニ發育セヌ花。  
**不等數花** (Unsymmetrical flower) 花中ノ各箇ニアル花器ノ數ノ不同ナル花。  
**分核** (Pyrenae) 核 (Pitamen) ノ項ヲ見ヨ。  
**分枝ノ** (Ramosus) 枝ヲ分チタルモノ。  
**分性偽瘦果** (Schizocarp) たびら、等ノむらさき科ノ植物、しそ、えごま等ノ唇形

科植物等ノ果實ノ如ク、成熟スレバ數個ニ分裂シ、其ノ二箇一箇ガ中ニ一種子ヲ容レテ、恰モ瘦果ノ狀ヲ呈シタルモノ。

**武裝セル (Armed)** 植物體ノ表面ニ刺毛 (螫毛)・針・刺或ハ硬毛 (剛毛) 等ヲ生ゼル事。其ノ狀恰モ動物ノ追害ニ備フルガ如ク、武士ガ戰場ニ甲冑ヲ著クルガ如シ、是レ此ノ術語アル所以ナリ。

**粉質ノ (Farinaceous)** 粉ノ質ノモノ。

**附著ノ (Adherent)** 別種ノ器官ガ隣接シテ生長發育スルトキ、往々兩者ノ組織癒合スル事アリ。例ヘバシノノキ、ほだいじゆ等ノ花梗ト苞葉ノ中脈トニ於ケルガ如シ。此ノ狀態ヲ示スニ用ワ。

**附屬器官 (Appendages)** 他ニ附加シテ生ジタル器官或ハ他ヲ補助スル爲メニ生ジタル器官ナリ。

**匍枝アル (Stoloniferous)** 根モトヨリ出デタル枝、即チ匍匐枝、吸枝、纖匐枝等ノアルモノ。

**副果 (Anthocarpous fruit)** おらんだいち、へびいち、コノ花床并ニしらたまのきの等ノ如キハ真正ノ果實ニ代リテ外觀特ニ果實ノ様ヲ裝フ、コレヲ副果ト稱ス。此ノ如ク真正ノ果實ナラザルヲ以テ時トシテ偽果 (Pseudo-fruit) ト稱ス。

ク真正ノ果實ナラザルヲ以テ時トシテ偽果 (Pseudo-fruit) ト稱ス。

**副萼 (Calyculus)** きじむしろ、へびいち、おらんだいち、コノ花部ニ於テ、萼ニ接近シテ生ズル苞葉ガ萼狀ヲ呈セルモノ。

**輻形ノ (Peltate)** 裂片四方ニ開出シテ車軸ノ狀ヲ呈セルモノ。

**佛燄苞 (Spathe)** 肉穗花ヲ擁スル苞ニテ多クハ闊クシテ色アリ、又狭クシテ綠色ノモノアリ。又篋狀苞ト譯ス。

**複葉 (Compound leaf)** 元來一個ノ葉ナルモ、分裂セル狀ヲ呈シ、而モ其ノ小葉ハ葉軸ニ節ヲ以テ接著セルモノヲ云フ。めぎ、みかん、ふぢ、さんせい、なんてん等ノ葉ハコノ實例ナリ。

**複繖花 (Compound umbel)** 繖形第一ノ繖梗ガ更ニ繖形ヲナシテ重複スルモノ。にんじん、はなうど、ししうど等ハ其ノ一例ナリ。

**複心皮生子房 (Compound ovary)** 二個以上ノ心皮ヨリ構成サレタル一個ノ子房。複心皮生雌蕊 (Compound pistil) 二個以上ノ心皮ヲ以テ一個ノ體ヲナセル雌蕊。蕪菁形ノ (Napiform) 平圓形ト同シ。

**籽 (Peltate)** 禾木類ノ花ノ苞ノ一種、穎ノ上ニアレモノ、通常二片アリ外者ヲ外籽、一名花穎ト稱シ、内者ヲ内籽又單ニ籽ト稱ス。

**覆瓦列ノ (Imbricately seriate)** 覆瓦狀即チ互ヒ違ヒニ相層リテ排列シタルコト。アブラムシノ (Imbricated) 互ヒ違ヒニ重ナリタル花葉。

**平坦ノ (Plane)** 凹凸ナク平タキモノ。

**平扁ノ (Compressed)** 兩方ヨリ壓セラレ、扁平トナル形状。すゐくわノ種子ハ其ノ一例ナリ。

**平面ノ (Plane)** 表面平坦ニシテ凹凸ナキモノ。平坦ト同シ。

**平臥ノ (Prostrate)** 地面ニ平臥シテ生長セルモノ。

**平行脈ノ (Parallel-veined)** 脈ノ平行セルモノ。

**平扁柱形ノ (Compressed-terete)** 平扁ナル柱ノ形ノモノ。

**平圓形ノ (Napiform)** 蕪菁ノ如ク、圓クシテ平タキ形ヲナセ

ルモノヲ云フ。

**片裂ノ (Valvate)** めぎ、いりりさう、くす、しろだも、にくけい等ニ於ケル葯ノ如ク、小片ニヨリテ開裂スルヲ云フ。

**片裂葯 (Valvate anther)** くす科植物、めぎ屬植物等ノ雄蕊ニ於ケルガ如ク、葯ガ小片ニテ開裂スルモノ。

**扁平體 (Prothallium)** 前葉體ト同シ。

**偏側生ノ (Secund)** 一個ノミニ偏シテアルモノ。

**偏形花 (Irregular flower)** 形状端正ナラザル花、唇形ノ花ナド是レナリ。

**柄 (Stipe)** 種々ナル器官ノ柄ヲ指シタルモノ、齒ノ柄ノ時ハ齒柄ト稱シ、しだ類ノ葉ノ柄ノ時ハ葉柄ト稱シ、子房ノ柄ノ時ハ子房柄ト稱ス。

**閉合毬果 (Galbulus)** 肉質毬果ト同シ。

**篋狀苞 (Spathe)** 佛燄苞ノコト。

**篋形ノ (Spathulate)** 長楕圓形ノ下部漸次ニ狹窄シ、外科醫ノ用ウル篋ノ形ヲナセルモノ。

**皿形ノ (Sarcinate = Acrotubiform = Saucer-shaped)** 合萼ヤ合瓣花冠ニ於ケル形状ノ一ニテ、皿ノ形ヲナセルヲ云フ。但シ離生シ

タルモノニテモ、其ノ外觀ニヨリ此ノ語ヲ用ウルコトアリ。

ホ

**方眼格子狀ノ (Tessellate)** 碁盤ノ目ノ如ク粗ミタル格子ノ形状アルモノ。

**包莖ノ (Sheathing)** 莖ヲ包擁セルモノ。

**包旋ノ (Convolute)** 芽中ノ葉ノ變狀及ビ花被ノ變狀ニ於テ、其ノ各片ハ其ノ内部ニ位スル全部ノ片ヲ包擁スルモノヲ云フ。

**包擁セル (Involute)** 内方ニ抱擁スルコト。

**包擁背倚ノ (Conduplicate)** 背倚 (Incumbent) ト同シ。併シ其ノ子葉ハ平坦ナラズ多少胚軸ヲ包ミ擁シタルモノ、十字科植物ノ中ニ見ル。

**苞 (Bract)** 花ニ接近シ、又花ノ下ニアツテ通常小形トナリタル葉。

**苞アル (Bracteate = Bracted)** 苞ノアルコト。苞膜 (Indusium) しじだ、へにしだ等ノ蕨堆、即チ子囊群ヲ掩盖スル膜片。

**抱莖ノ (Chasing)** 無柄ノ葉ガ其ノ底部ニ莖ヲ抱キタルモノ。

**放大ノ (Enlarged)** 他ヨリ太クナリタルコト。

**放線狀ノ (Radiate)** 四周ニ射出セル線アル如キ形状ノモノ。

**放線花 (Ray = Ray-flower)** 頭狀花ヲ構成スル花ノ一、舌狀花冠ヲ有シ、放線狀ヲ呈スルモノ。一二舌狀花ト稱ス。

**放線頭狀花 (Radiate capitulum)** 周邊ニ放線花即チ舌狀花ヲ繞ラシ、中部ニ管狀花ヲ具フル頭狀花。よめな、えぞぎクハ一例ナリ。

**孢子 (Spore)** 植物體ガ有性生殖ヲ營ム第一歩トシテ、無性世代ノ植物體ヨリ無性的ニ成生スル一種ノ器官。普通單細胞體ニシテ囊狀體ノ内ニ生ズ。萌發後雌雄器ヲ一體ニ具備スルモノト、雌器及ビ雄器ヲ別々ノ體ニ具備スルモノトアリ。又植物ノ種類ニヨリ一種ノモノノミ生ズルモノト、二種ノモノノミ生ズルモノトアリ。

**孢子囊 (Sporangia)** 羊齒植物及ビ種子植物兩群ニ於テハ、無性世代ノ植物本體ニ無性的ニ生ズルモノニテ、孢子ヲ生ズル囊狀體ノ器官ナリ。葯、卵子等モ芽胞囊ノ一種ト考ヘラル。孢子ノ性質ニヨリ其ノ形同シ

カラズ。  
**胞果** (Uricle) 小サキ胞囊狀ノ果實、内ニ一種子アリ。  
**胞室** (Cell = Loculament) 子房、果實并ニ葯ノ分室。  
**胞周開裂** (Circumscissile dehiscence) 横方ニ開裂スルモノ。  
**胞間開裂** (Septicidal dehiscence) 果實ノ胞室ノ隔障ヲ以テ開裂スルモノ。  
**胞背開裂** (Loculicidal dehiscence) 果實ノ胞室、背ガ開裂スルモノ。  
**胞軸開裂** (Septifragal dehiscence) 果實ノ殻片ガ隔障ヨリ離レテ開裂スルモノ、胞背的ニナルモノト、胞間的ニナルモノトノ二種アリ。  
**匍匐ノ** (Creeping) 臥シテ横方ニ生長スルモノ。  
**匍匐莖** (Creeper) 地面ニ匍匐スル莖。  
**盆形ノ** (Salverform = Salver-shaped = Hy-pocraterimorphous) 上部急コ四方ニ擴ガリテ中央ノ下ニ細筒アル形ノモノ。  
**蜂巢様ノ** (Alveolate) 表面ガ蜂ノ巢ノ如ク稜アル小凹窠アルモノ。  
**紡錘形ノ** (Fusiform) 中部最モ太ク、其

兩端ノ方ニ漸次ニ狭クナリタルモノ。  
**芒** (Awn) 毛刺狀ノ附屬器官、いれ、むき等ニ有スルガ如キのき。  
**芒刺アル** (Echinate) 長キ芒ノ如キ刺アルモノ。  
**蔓木** (Vine) 莖ノゆるニナルモノ。  
**膜質ノ** (Membranous) 薄キ質ノモノ。  
**蜜腺** (Honey gland) 蜜液ヲ分泌スル腺、往々毛ヲ以テ周匝サル。  
**蜜孔** (Honey-pore) 鱗片ニテ、蓋ハレタル密槽。  
**蜜槽** (Nectary) 蜜液ヲ分泌スル處ノ總稱。  
**蜜點** (Honey-spot) 點狀ナナル蜜槽、裸出ス。  
**密在ノ** (Close) 密ニ近接シテ在ルコト。  
**密著ノ** (Conformet) 密ニ接著セルモノ。  
**密接ノ** (Appressed) 甲ノ器官ガ乙ニ密接スル時、又ハ同種ノ器官ガ相互ニ密接スルコト、或ハキク科植物ノ總苞片ニ見ルガ如キ

ナ云フ。此ノ語ハ又場合ニヨリテ「隱伏ノ」ト云フ譯語ヲ用ワ。  
**密綿毛ノ** (Floccous) 極メテ密集セル綿毛ノモノ。  
**密氈毛アル** (Tomentous) 密生セル綿毛ノモノ。  
**密軟毛ノ** (Pubescent) 密ニ生ヘシ軟カキ短毛ノモノ。  
**密軟細毛ノ** (Puberulent) 細カキ密軟毛 (Pubescent) ノモノ。  
**脈狀** (Nervation = Venation = Framework) 葉片等ニ通ズル維管束ハ脈ヲナス、此ノ脈ノ分派スル狀ヲ脈狀ト稱ス。中軸ヲナスモノハ特ニ中脈ト稱シ、夫ヨリ支脈ガ分生シ支脈ヨリ細脈ニ分ル、脈ニハ其ノ狀態ニヨリ並行、羽狀、掌狀等ノ名稱アリ。  
**無柄** (Essile) 柄ナキモノ。  
**無毛ノ** (Glabrous) 毛或ハ刺ナドノ全ク之レ無キモノ。之ヲ平滑ト譯スルハ非。平滑ハ Smooth ニテ其ノ面滑カナルモノナリ。Levigate モ同シ。Glabrous ハ毛ノナキモ

ノ、其ノ場處ガ平滑ナルト否トニ關係ナシ。  
**無托葉** (Exstipulate) 托葉ナキモノ。  
**無胚乳** (Exalbuminous) 胚乳ノナキモノ。  
**無被花** (Achlamydeous flower) 無輪花ト同シ。  
**無輪花** (Achlamydeous flower) 萼ト花冠トヲ缺如セル花、又無被花ト稱ス。  
**無瓣花** (Apetalous flower) 花冠或ハ内花蓋ヲ缺如セル花。  
**無隔障** (Jointless) 葉中ニカウがいせきしヨリ、くるくわむノ如キ隔障ナキモノ。  
**綿毛ノ** (Lanuginous) 綿ノ如キモノ。  
**モ**

**網狀脈ノ** (Reticulate-veined = Net-veined) 網ノ目ノ如ク相連絡スル脈ノモノ。  
**葯** (Anther = Pollen-sac) 花粉ヲ生ズル器官 所謂種子植物ニ於ケル小胞子囊ノ事。  
**葯胞** (Anther-cells) 葯ノ胞室ニテ花粉ヲ包ミタル囊。普通一ノ葯ニ二ツノ葯胞アリ。  
**葯隔** (Connective) 葯ノ胞室ヲ聯合セシメタル場處ヲ稱ス。  
**葯隔頭** (Connective-tip) 葯隔ノ頂末ニテ往々葯ヨリ上ニ超出ス、キク科植物ノ葯并ニすみれ屬植物ノ葯ニハ甚ダ分明ナリ。  
**有毛** (Hairy) 毛ノアルコト、併シ斯ク單ニ有毛トノミニテハ毛ノ性質ハ表ハレズ。  
**有莖** (Cauliscent) 所謂尋常莖ヲ有スル植物體ニ使用スル語。地下ニ生ズル莖、短縮シタル莖、或ハ其ノ他ノ變形莖ヲ有スル事ニハ用キズ。  
**有柄** (Stipod) 柄ノアルモノ。孰ノノ器官

ニモ用ツ。  
**有爪** (Unguiculate = Clawed) 花爪 (Claw = Unguis) 花瓣ニ花爪アルコト。  
**有距** (Sporred = Calcarate) 距ノ如キ斗出部アルモノ。  
**有針** (Prickly) 針 (Prickles) アルモノ、いばらノ枝ナドハ其ノ一例ナリ。  
**有斑** (Variegated) 斑紋アルモノ。  
**有稜** (Angular) 稜角アルモノ。  
**有腺** (Glandular = Adenophorous) ため、せんぶり、ぶどう等の花及ビむしとりすみれ、まうせんこけ等ノ葉ニ於ケル如ク液汁ヲ分泌スル腺體ヲ有スルモノヲ云フ。  
**有溝** (Furrowed) 植物體ノ莖、枝、花梗、葉柄及ビ其ノ他ノ部分ニテ溝狀ヲ呈スルモノ。  
**有芒** (Awned) 禾本科植物ノ花ニ於ケル如クのぎ(芒)ヲ有スルモノ。  
**有刺** (Aculeate) 植物體ニ於ケル刺狀體ニハ表皮、葉及ビ枝等ノ變形シタルモノアリ。總ベテ是等刺狀體ヲ有スルモノヲ表ハスル語。  
**有脈ノ** (Veiny = Nerved = Nervose = Nervate) 脈ノアルコト。  
**有帶** (Banded) 帶線ノアルモノ。

**有嘴** (Beaked) 嘴狀ノ突起アルモノ。  
**有斑** (Spotted) 斑點アルモノ。  
**有縁** (Marginated) 縁ニ翼ナドアリテ、縁リ取りニナリタルモノ。  
**有鬚** (Bearded) 鬚狀毛ヲ著生スルニ云フ。  
 類花ニ世チ有スルモノハ其ノ外觀疎髯チ生ズルガ如ク、又うめばちさうノ花ニ於ケル密腺様ノ如キモ鬚狀チ呈スルモノニテ、其ノ他東生毛チ有スル場合ニ此ノ語チ用リ。  
**有旗** (Vexillary) えんどう、やぎげ等ノ花ノ如キ所謂蝶形花冠ノ如ク旗瓣チ有スルモノヲ云フ。  
**有長毛** (Fringed) 縁ニ長キ毛アリテ排アルモノ。  
**有托葉** (Stipulate) 托葉アルモノ。  
**有葉柄** (Petiole) 葉柄アルモノ。  
**有斑點** (Spotted) 斑點アルモノ。  
**有線條** (Striped) 地色ト異リタル色ノ線アルモノ。  
**有胚乳** (Albuminous) 一般種子ニ於テ胚以外ニ胚ノ養料物質チ含有スルモノ、胚乳トハ形態學上ノ内乳ト周乳トヲ總括シタル名稱。  
**有翼莖** (Alate stem) れんりさう、ひれあ

ざみ等ノ莖ニ於ケル如ク翼狀片ヲ著クルヲ云フ。  
**有隔障** (Jointed) かいがいせきしよう、くるぐわぬノ葉ノ如ク葉中ニ隔障アルモノ。  
**有爪花瓣** (Ungulate petal) なごし、あぶらな等ノ花瓣ノ如ク扁平部(片)ト爪トニ分チ得ルモノ、爪トハ花爪ノコトニテ花辦ノ下部ノ狭長ナル部分チ云フ。  
**雄花** (Staminate flower) 種子植物群ニ生ズル花ニシテ、只雄葉ノミ完全ニ發育シテ雌葉ハ全ク之チ缺クカ或ハ發育不完全ニシテ其ノ特性チ失ヒタルモノヲ云フ。  
**雄葉** (Stamen) 種子植物體ニ於ケル小胞子チ生ズル所謂胞子葉チ云フ。小胞子即チ花粉チ生ズル囊狀體チ一名粉囊ト呼び、是ニハ往々柄狀體チ存、是チ花絲ト云フ。普通ノ雄葉ハ葯ト花絲トヨリ成ル。  
**癒合** (Coherent) 癒着ト同シ。  
**油質** (Oily) 油チ含メル質ノモノ。  
**疣瘤** (Verrucous) 疣ノアルモノ。  
**癒著** (Coherent) 合著チ見ヨ。  
**疣狀突起アル** (Verrucose) 疣ノ形狀アル突起アルモノ。

**E**  
**幼芽** (Plumule) 胚ノ子葉ノ上ニ出ヅル芽チ云フ。  
**幼根** (Radicle) 種子中ノ胚ニ於テ子葉ノ反對ノ極ニアルモノニテ、生長シテ根部トナルモノヲ云フ。  
**洋紙質** (Chartaceous) 葉等ノ硬質及ビ厚質ガ西洋紙ノ如キモノ。  
**葉** (Leaf) 普通ノ葉ハ綠色チ呈シ、莖枝ノ節ヨリ生ジ、同化作用ト呼吸作用及ビ蒸騰作用等チ營ム器官ナリ。植物ノ種類ニヨリテ其ノ形狀、性質チ異ニス。又變形シタル葉ニハ枚舉ニ違ナキ程多種アリ。  
**葉片** (Blade) 葉ノ扁平ニシテ比較的廣大ナル部分チ云フ。コハ葉柄ト明白ニ區別サル、場合ニ特ニ的確ニ知ルコトチ得。  
**葉柄** (Petiole) 葉片チ莖枝ニ接著セシメタル如ク見ユル柄狀體チ云フ。  
**葉序** (Phylloxy) 莖枝上ニ於ケル葉ノ著生狀態ニ見ル規律チ云フ。一ニ螺旋二葉、一ニ螺旋三葉、一ニ螺旋五葉、等ノ分數式ニヨリ表示ス。

**葉間** (Interfoliaceous) 對生セル葉ノ中間ニアルモノ、例ハバあけ科植物ノ葉間ノ托葉ノ如キモノ、此ノ如キ葉間托葉 (Interfoliaceous stipules) ト稱ス。  
**葉狀** (Foliateous) 一般ニ尋常葉ト認めラル、綠色ノ扁平體形ノモノニ似タル場合ニ用フル語。  
**葉前** (Intrafoliaceous) 葉ノ前方ニアルモノ、例ハびるむしろ、ふびも等ノ托葉ノ如キ是レナリ。此ノ如キ葉前托葉 (Intrafoliaceous stipules) ト稱ス。  
**葉腋** (Axill) 葉ト之チ生ゼル莖枝トノ上腋隅ニテ銳角チ呈スルモノ多シ。  
**葉痕** (Scar = Cicatrix) 葉ノ脱落セル痕。  
**葉鞘** (Sheath) 禾本科植物ノ葉ハ一般ニ葉片ノミ展開シ、葉柄ニ相當スル部分ハ莖枝チ包ミテ鞘狀チナス。此ノ鞘狀部ハ決シテ兩縁ガ縫合サル、事ナクシテ重ナリ合フチ常トス。是チ葉鞘トイフ。又やつりぐさ科ノモノハ全然筒狀チナシ、裂目チ見ザルモ亦葉鞘ト稱ス。又單ニ葉柄本ノ擴張開展シテ莖チ抱擁スルトキモ亦此ノ廣闊部チ葉鞘ト名ヅク。  
**翼瓣** (Alae = Wings) まめ科植物ニ有スル

**ラ**  
 蝶形花冠中ノ兩側ニアル二花辦。其ノ位置ハ旗瓣ト龍骨瓣トノ間ニアリ。  
**卵子** (Ovule) 通常子房内ニ在テ後ニ種子トナル小體。胚珠ト誤譯セラル。  
**卵孔** (Micropyle) 卵子ノ頂ニアル小孔。  
**卵柄** (Funicule) 卵子ノ小柄、此ノ小柄ハ胎座ニ連ナル。  
**卵形** (Ovate) 卵ノ外形アルモノ、下半ガ上半ヨリ廣シ。  
**卵圓體** (Ovoid) 卵形ノ體チナセルモノ。原語ハ廣楕圓體ト同様。  
**亂向** (Vague) 胚ノ胚軸ノ方向一定セヌモノ。  
**裸出** (Naked) 他物ノ生ズルコトナク其ノ部ノ全ク露出セルコト。  
**裸子雌葉** (Nude leaf) 果皮ナク卵子チ露出セル雌葉。  
**裸子植物** (Gymnosperms) 裸出シテ子房チ有セメ卵子チ生ズル植物、此ノ卵子ハ後チ同ジク露出セル種子トナル、そつ、ま、すき、いてふ等之ニ屬ス。

**リ**  
**螺旋莢果** (Coelha) 螺旋ニ卷キタル莢果。うまごやしハ其ノ一例ナリ。  
**蘭樣花冠** (Orchidaceous corolla) らん科植物ノ花ノ如キ型式ノ花冠。  
**兩性花** (Perfect flower) 一花ノ中ニ雌雄ノ兩葉チ具備シタル花。  
**兩貌** (Double) 例ハバ一花ノ冠毛ニ兩樣ノ形貌チ有スルトキ斯ク言フ。  
**兩唇形** (Bilabiate) 上下ノ兩唇ハツクリシテアルトキ稱ス。  
**兩歧撐果柄** (Porked carpophore) 兩ツニ分岐セル撐果柄、繖形科ノ植物ニ其ノ例多シ。  
**陸地生** (Terrestrial) 陸上ニ生ヘルモノ。  
**綠褐色** (Greenish brown) 綠色チ帶ビタル褐色ノモノ。  
**輪生** (Verticillate) 一ノ節ヨリ三乃至數片車輪狀ニ出ヅルモノ。  
**輪狀聚繖花** (Verticillaster) 對生シテ生ゼル聚繖花ニシテ、一ノ輪チ形チツクルモノ



ノ。唇形科ノ植物ニ之ヲ見ル。  
**離在ノ** (Remote) 兩者ガ互ニ相離レ隔タリテ在ルコト。  
**離心ノ** (Eccentric) 中心ヲ離レテ位スルモノ。  
**離萼** (Polysepalous calyx) 萼片ガ全ク合生スル事ナク、一片々々ニ離レタル萼ヲ云フ。べんけいさう、まつばにんじん、あぶらな等ノ萼ハ其ノ例ナリ。  
**離離ノ** (Polypetalous) 花瓣ガ一片々々ニ離生セルモノ、例ヘバさくら、うめ、あぶらな等ノ花瓣ノ如キモノヲ云フ。  
**離瓣花** (Polypetalous flower) 花瓣ノ分立セル花、合瓣花 (Gamopetalous flower) ニ對シテ云フ。  
**鱗莖** (Bulb) 地下ノ短莖ナリ。之ニ鱗片或ハ衣片ヲ生ズ。此ノ鱗片ハ地下ノ變形葉ニテ、衣片ハ葉ノ基部ナリ。其ノ鱗片アルモノハ鱗次鱗莖、衣片アルモノハ鱗重鱗莖ナリ。  
**鱗被** (Lodiculae) 禾本類ノ花ニアル小鱗片ニテ、花瓣ノ變形セシモノ、二片アルモノト、三片アルモノトアリ。  
**鱗片** (Scales) 小形ノ片體ヲ云フ。

**鱗片狀ノ** (Scauly) 鱗片ノ形ノモノ。  
**鱗狀ノ** (Scaly) 鱗片狀ト同シ。  
**鱗次鱗莖** (Scauly bulb) ゆり屬ノ如キ植物ノ鱗莖ヲ云フ。コレニ有セル鱗片ハ葉ノ變形物ニシテ、覆瓦狀ニ重疊ス。  
**龍骨鱗** (Keel = Carina) 蝶形花冠中ノ最下ノ二花瓣。  
**振歪ノ** (Distorted) 振レテ歪形ヲ呈セルモノ。  
**裂緯** (Sinus) 分裂片ト分裂片トノ間隙ヲ指シテ稱ス。  
**連波形ノ** (Repund) 屈曲スルコト微風度ルトキノ連波ノ如ク其ノ畝角度ヲナシ、其ノ狀亦蝙蝠傘ノ縁ニモ似タルモノ。  
**聯底ノ** (Connate) 對生セル葉ノ底ガ相合體シ、莖ガ之ヲ貫キシ如クニ成リタルモノ。  
**六數ノ** (Hexamerous) 六ノ數ノモノ。  
**六數花** (Hexamerous flower) 花器皆各々

六ノ數ヲ以テ構成スル花、併シゆリナドノ花ハ三數花ニテ其ノ六ノ數ハ三ノ重ナリタルモノナリ。  
**六雌藥ノ** (Hexagynous) 六個ノ雌藥ノモノ。  
**蠟質ノ** (Waxy) 蠟ノ性質ノモノ。  
**漏斗形ノ** (Funnelform = Infundibuliform) 上部漸次ニ擴ガリテ其ノ狀恰モ漏斗ノ如キ形ノモノ。  
**肋脈** (Ribs) 葉中ノ大脈即チ主脈ヲ云フ。  
**彎生ノ** (Campylotropous) 卵子井ニ種子ガ多少其ノ自體ヲ彎曲セシメタルモノ。  
**彎曲ノ** (Curved) 彎形ニ曲リタルモノ。  
**矮灌木** (Undershrub) 丈ノ甚ダ低キ灌木。  
**歪形ノ** (Oblique) 左右同大ナラズ、大小アリテ爲メニ歪ミタルモノ。  
 終

### 質疑規定

- 一、本會會員にして本講義録中に疑義あるときは質問することを得。
- 二、質疑の用紙は半紙を用ひ楷書にて明確に認め一疑問毎に用紙を別とし初めに質疑の要點を記入し其の疑點は本講義録の何ページにあるかを附記し、用紙を替ふる毎に、毎紙に、住所氏名を明記すべし。
- 三、然るときは、講師は右用紙の餘白に明晰なる應答を與へて返送すべし。但し其の期日は時により多少遅るゝ場合あるべし。
- 四、質疑は返信用郵券參錢を封入し、宛名は『東京市神田區錦町一丁目十九番地大日本博物學會質疑係』とすること。
- 五、而して質問者は熟讀反覆して全く不明なるものをのみ質疑すべく、普通一般の參考書にて事足りるもの等は、なるべく夫れに頼られんことを望む。去れば質疑の内容により或は應答せざるこゝある場合もあるべし。

### 植物名稱應答規定

- 一、本會會員にして植物の名稱を知らんと欲するものあるときは其の腊葉を送附し來れば一々鑑査應答すべし。
- 二、標品は同一種類二個を採集し、同一の番號を附し其の一を手許に留め置き他の一(完全なるものに限る)本會に送附すべし。
- 三、標品には一々採集地名(府縣郡市町村大字等)採集年月日、採集當時の狀態、採集者氏名を明記せる小紙片を添ふべし。而して其の植物の名稱に方言あるものは之を附記すべし。
- 四、標品は成るべく大形のものを選び、一々新聞紙の間に挟み、上下には厚紙(ボール紙)を當て、其の上を油紙にて包裝し、破損せぬやう留意して發送すべし。
- 五、而して返信用郵券(百種迄參錢二百種迄六錢)を封入し、宛名は『東京市神田區錦町一丁目十九番地、大日本博物學會標品部』とすること。但し送附し來れる標品は返附せず。

東京市神田區錦町一丁目十九番地  
大日本博物學會

牧野氏植物學講義第二卷

大正二年六月廿八日印刷  
大正二年七月一日發行

植物記載學後篇

定價金五拾錢



著者 牧野富太郎  
 發行者 矢島一  
 發行所 大日本博物學會  
 印刷者 矢島懿德  
 印刷所 東洋印刷株式會社

發賣所 東京市神田區錦町一丁目  
 (振替東京四一二三番) 中興館書店

理學博士 三宅驥一先生  
 理學博士 草野俊助先生

共譯 本書圖版

は總て獨逸原書出版會社特製の圖版を購入したる者なれば、日本に於て複製せしむる者同一視す可からず

# ストラスブルガー植物學

上卷第一册 形態學の部

判大型倍二六四  
 本製美牢堅綴布總  
 錢拾七圓壹金  
 錢貳拾料包小

原書は獨逸大學程度教科書にして斯界の碩學ストラスブルガー先生が各自專攻の部門を分擔執筆せられたる者にして學說の妥當、敘述の精確、圖版の精密多量なる世界に定評あり。獨逸に於て版を重ねるに在りて歐米各國に譯出され、世界共通の教科書として斯界に推せられたる人、本書の譯述には親しく又先生の命を帯びて來る草野博士と共相協賛して力を盡すこと前後四年、今や上卷第一册を出版するに至り、斯界に於る位置は世界に定評あり、能く本書の如く各部門を均等に而かも精密に究めたる者あるなく、概ね本書の譯述は實に我が學界の一大缺陷を補ふ者といふべく、通弊の拮据費牙の嫌なく、能く平易に、明快に、一大名著を移し、然らざるや、實に理想的翻譯の模範を示すに足る。教科書として自習書として參考書として、豈斯界此書の右に出づる者あらんや。

全四册 總紙數一千頁  
 三色版電氣版  
 等七百有餘圖

植物學大辭典として觀る  
 専門大家座右の備忘録！理、農、醫各大學、高等學校生徒の完全なる教科書！各種高等專門普通學必備の參考書！  
 發兌元 東京市京橋區南錦町一丁目二番地 隆文館  
 振替口座東京八五三番

植物記載學後篇

定價金五拾錢

大正二年六月廿八日印刷  
大正二年七月一日發行

著作者 牧野富太郎

東京市神田區錦町一丁目十九番地

發行者 矢島一三

東京市神田區錦町一丁目十九番地

發行所 大日本博物學會

東京市神田區錦町一丁目十九番地

印刷者 矢島懿德

東京市芝區愛宕町三丁目二番地

印刷所 東洋印刷株式會社

發賣所

東京市神田區錦町一丁目  
〔振替東京四一三三番〕

中興館書店



理學博士 三宅驥一先生  
理學博士 草野俊助先生

共譯

本書  
圖版

は總て獨逸原書出版會社特製の圖版  
を購入したる者なれば、日本に於て  
複製せ同一視す可からざる者

# ストラスブルガー植物學

## 上卷第一冊 形態學の部

判大型倍二六四  
本製美牢堅綴布總  
錢拾七圓壹金  
錢貳拾料包小

原書は獨逸大學程度教科書にして斯界の碩學ストラスブルガー先生が各自專攻の部門を分擔執筆せられたる者にして學說の妥當、敘述の精確、圖版の精密多量なる世界に定評あり。獨逸に於て版を重ねるに在りて歐米各國に譯出され、世界共通の教科書と推稱せらる。而して譯者三宅先生は親しく又先生の下に在りてれば歸來草野博士と共に相協戮して力を盡すこと前後四年、今や上卷第一冊の植物學書を觀るに至れり。本書の小分に於る位置は世界既に定評ある能く本書の如く各部門を均等に而かも精密に究めたる者あるなく、概ね本書の實に我が學界の一大缺陷を補ふ者といふべく、若し夫れ博士が故々數年の努力は、當に此一大名著を移出したりといふのみに止まらず、譯語亦専門の學に通弊の拮据贊牙の嫌なく、能く平易に、明快に、大著の直に釋然たりしむ。實に理想的翻譯の模範を示すに足る。教科書として自習書として參考書として、豈斯界此書の右に出づる者あらんや。

全四冊

總紙數一千頁  
三色版電氣版  
等七百有餘圖

植物學大辭典として觀る  
斯學上の事項を網羅し盡して餘蘊なし

發兌元

東京市京橋區南鍋町一丁目二番地

隆文館

振替口座東京八五三番

専門大家座右の備忘録！理、農、醫各大學、高等學校生徒の完全なる教科書！各種高等專門普通學必備の參考書！

著大の位高最上學物植

東京帝國大學 農科大學教授 理學博士 池野成一郎先生著

植物系統學

四六倍判洋裝特製全一册  
總頁數七百數十頁  
正價金五圓五拾錢  
普通小包料金拾六錢  
臺朝小包料參拾五錢  
樺清

口繪植物界系統樹の圖 挿圖版 各植物繁茂の實景圖 挿圖 各說明精巧木版圖  
(精巧銅版彫刻一版) (精巧コロタイプ版三版) 一千百數十個

植物の形態を記述し、所屬を定め、種類を甄別するは、植物記載學を能くすべきも、植物の系統的親縁を探索し、併せて其進化の歴史を溯討するに至つては、植物系統學に待たざる可らず。然るに從來我國に公刊せられたる植物學上の著書は、概ね植物記載學に止る、本書は現今の最も進歩せる植物分類學を記述するを以て目的とす。故に普通植物學を學習せる初學者には往々解し難き所あるべく、就中、細胞學に關する事項は難解ならんも、晩近の分類學は細胞學の恩恵に由り、其歩武を進めたること鮮なからず、故に此等の事項を全然省略すること、「現今の最も進歩せる植物分類學を記述する」に當りて、到底爲し難き所なり。但初學者と雖も、書中挿入せる圖畫により、其説く所を精讀すれば、大綱に通せんことは、敢て不可能に非ざるべしと信ず。

是れ本書緒言の一節なり、以て本書に對する著者の抱負を見るべし。尙卷末に添ふるに邦語索引、學名索引、英獨佛和對譯術語辭彙を以てせり。實に我植物學界空前の大著なり。

書考參るな切親最てしに確正最

參考植物學講義

東京高等師範學校教授 理學博士 齋田功太郎 共著  
學習院教授 佐藤禮介

定價金貳圓五拾錢  
小包料拾貳錢

上製春片美本  
全一册  
插畫總計四百  
印刷鮮明

本書は植物學研究者の好參考たらんことを期し斯界の泰斗なる齋田博士と斯道の研究に熱心にして學殖豐富なる佐藤教授との共力の下に成るものにして記述の順序は専ら中學校教授細目に準據し普通植物學の要項を網羅し之に詳細なる説明を加へ深遠なる理論につきても明晰に理解し易き様解釋を施されこれが實驗の方法をも説示し一讀植物學全般に互る學理及び應用の最新最近の知識を得せしめ懇篤に記述せられたるもの而して卷中の挿畫は著者幾多の苦心を以て巧妙なる畫工をして特に實物に就いて寫生せしめこれを皆精緻なる西洋木版に彫刻したるもの其數實に約四百個の多きに及び且附録には植物名學術語の和英對照表の索引を附したる等研究者の便を計り細心の注意を以て成れりされば有趣味なる植物學研究の好指針として時勢の要求に應ずる一大良書たるや必せり

東京日本橋本町 寶文館 振替東京二八〇番  
大阪東區淡路町 寶文館 振替大阪四三番

發行所 東京市日本橋區十軒店 電話番 〇七 華裳房

● 誌雜好一唯界術學代現 ●

THE SCIENTIFIC GAZETTE

學科之代現

次目要主 號五第 卷一第

論說	日本産のサルバ(一)..... 理學博士 丘淺次郎
	原産星雲説の前途..... 理學博士 松原行一郎
	本邦産活物寄生顯花植物の分類(二)..... 理學博士 早田清次
海外論叢	礦物に現はれたる量(一)..... 理學士 安達禎
	生物界に於ける生殖の方法..... 理學士 奥村多忠
	光學説明用の新装置(二)..... 理學士 小倉伸吉
最近研究	天 文
	引力は吸収せらるゝか、太陽紅焰の數其他五件
	地 學
	猪苗代湖水の定常振動●地震と月との關係其他三件
	生 物
	家蠅の發育及生態●橈脚類の垂直分布其他數十件
	理 科
	物質の創造●高湿度に於ける比熱測定に用ひらるゝ新熱量計
	應用科學
	豊人教養の新方法●比較顯微鏡其他六件
現象	●學界彙報●學界記事●新著紹介、其他
内容豊富	

發行所 東京市本區橋本區十軒店(電話本局番一七) 裳華房

陸軍教授 安東伊三次郎 共著  
安藤秋三郎

生物の進化と勢力の經濟

全一冊 上製美本  
定價壹圓五拾錢  
送料金八錢

●本書は生物一般について概ね次の如きことを論述したるもの、小中學校の博物教材取扱上の參考書たり。幸に一本の備附を請ふや切なり。

×生長、蕃殖、遺傳等は如何にして行はるゝものか。  
×生物の進化の根本的意義は如何か。  
×人類が最高等の發達を遂げたのは如何に勢力の經濟に通ずる故であるか。  
×生物間に於ける社會が第一次より第三次に進む有様は如何か。

國文學に現れたる植物考

全一冊 上製美本  
定價壹圓五拾錢  
送料金八錢

●古の植物學と現今の植物學とは、一致せざるもの多くして、之が解説に苦むこと少からず。●本書は此等の解説を詳にし、而かも一々根據ある考證を掲げたり。●挿畫頗る多く國文學に現はれたる植物は悉く網羅せられて、多數の曖昧なる植物は直に解決せらるべし、請ふ机上の友とせられんことを。

東京帝國大學 農科大學教授 理學博士 白井光太郎校閱 編譯協會 學校講師 松山亮藏著

發行所 東京市本區橋本區十軒店(電話本局番一七) 寶文館

●文檢豫備試驗眼前に迫る...本書の講讀は焦眉の急務！  
 小島美津次先生新著 ▲本會會員の注文に對しては郵税を要せず

文部省  
 教員檢  
 定試驗

# 博物學研究指針

上製美本全冊  
 紙數三百餘頁  
 圖版四十六個  
 正價金九拾錢  
 郵税 八錢

## 次目容内

第一章 博物學の性質	第二章 博物學の研究法	第三章 受檢に際する注意	第六章 文檢博物科問題解義
第一節 植物の實習法	第一節 動物及生理學の實習	第一節 筆答の際に於ける注意	第一節 最近五ヶ年問題植物科
第二節 植物學の實習法	第二節 動物學の實習法	第二節 口答に際しての注意	第二節 最近五ヶ年問題動物及生理學
第三節 參考書の選擇	第三節 必要なる補助學科	第三節 實験に對する注意	第三節 最近五ヶ年問題礦物科
第四節 (各科に互りて書名を掲げ内容の梗概を述べ)	第四節 受檢者感想談	第四節 檢定試驗委員談	第四節 最近五ヶ年問題豫備及本試驗問題
第五節		第五節 植物科に就て：藤井理學博士	
		第六節 動物及生理科に就て：渡瀬理學博士	
		第七節 礦物科に就て：佐藤理學博士	

『本書によりて研究すれば、百人が百人必ず合格する』と、著者は確信を以て斷言して居る。併し此の位懇切に丁寧な指導した書物は、殆んどあるまい。確かに博物學研究指導書として、唯一のオソリチーである。  
 而して、著者が熱血を注ぎたる最近五ヶ年の問題解義は、眞に模範的の解義であつて、唯に文檢受檢者のみの讀み物ではない。

# 讀んで直ぐ應用の出來は恐らく本書のみで

## 美陰 理化實驗器械製作法

東京府青山瀧澤菊太郎先生序 東京府青山師範學校校長 大森乙五郎先生著

上製美本全壹冊  
 挿圖貳百貳拾餘  
 定價壹圓貳拾錢  
 郵税金 八錢

著者の作りたる簡易器械

を模範となすために、青山師範を參觀する人漸く多く、本書を一讀せる者は一躍して實験の妙手となり得るに吃驚しつゝあり

▲最も完全に最も巧妙に理化實驗を爲し得る新著

△本書は文部省の理科書に準據し、之に加ふるに普通最も緊要なる理化實驗法を、二百二十餘の挿圖により、一讀直に應用し得るやう最も懇切に詳説したるものなり。  
 △而して其の器械の製作法は、著者年來の苦心に成れる獨特の新法にして、日常有り觸れたる器具材料を以て、最も完全に、容易に、且つ簡便に、經濟的に製作し得る方法を精細に講述したるものなり。  
 △されば、一度び本書を手になんか『あゝかくまでに理化實驗は容易に面白く、出來るもの』かと何人も一驚を喫するならん。

著新るせ納歸りよ際實

色特の書本

▲注意各府縣師範學校に參考用書として採用せられ第四版を發行

館興中 目丁一町錦區田神市京東 所行發  
 (番三二一四京東替振)

館興中 目丁一町錦區田神市京東 所行發  
 (番三二一四京東替振)

3151  
81

眞面目なる努力の結晶

●師範中學校生自習用及小學校教員檢受驗用書●  
兵庫縣師範學校校長野口援太郎先生序  
兵庫縣師範學校教諭阪田閨藏先生新著

新系統的ニ  
 刊排列スル  
**四則應用問題**

上卷發賣  
 定價四拾五錢  
 郵税金六錢  
 ▲下卷近刊▼

著者が多年實際教授に當り應用したるものにして、算術の力を絶對に扶植せしめんことを期したるもの、一々實例を擧げて解釋を與へ、原理を説き解方の注意を附し、更に多くの應用問題掲げたるものなり。既に各府縣の中學一二年級、高等小學の一二年級生徒の自習用書として、又各種補習學校青年夜學會用書として、採用せられ好評を博しつゝあり。

算術の力が、どうも成績の不良なる苦心せる教師諸君は速に本書一部を携帶するの要がある

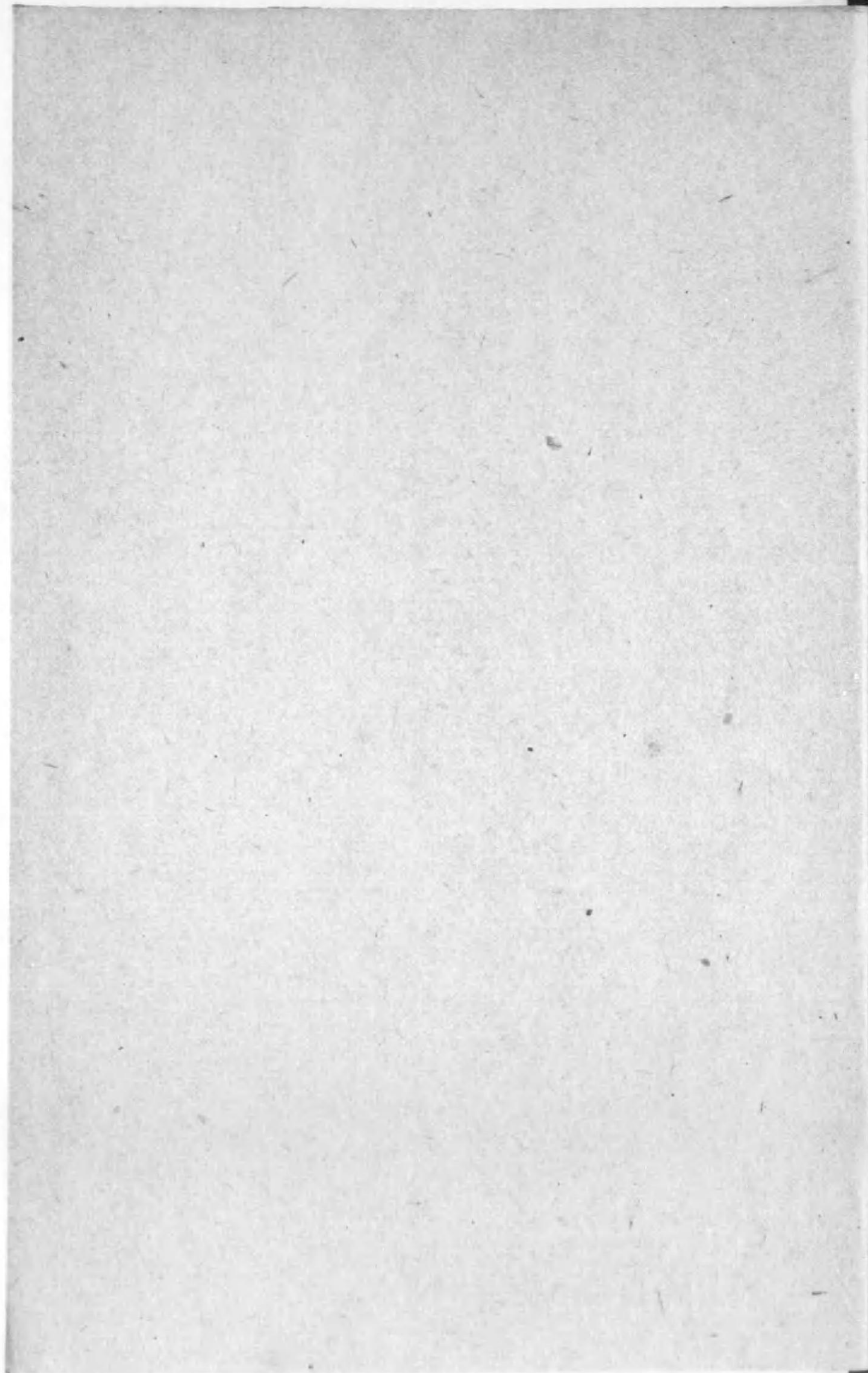
東京府豊島師範學校教諭 天谷秀先生監修 音樂教育研究會編

音階圖說

洋裝美本全壹册  
 定價金四拾五錢 郵税金六錢

短音階及び長音階を一々圖によりて説明したるもの、各府縣師範學校生徒參考書として、又小學校教師諸君は勿論、オルガン獨習者の必ず一本を備ふべきものなり。蓋しオルガンの上達を期せんとする者には、最も分り易き、親切なる指導書として、唯一無二の新著なり。

發行所 東京市神田區錦町一丁目 中興館 (番三二一四京東替振)





315
81

終